

東芝デジタル複合機

設定管理ガイド






はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機操作パネルの〔設定/登録〕ボタンや〔カウンタ〕ボタンから行う操作や設定について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

-  **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
-  **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
-  **注意** 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
-  **補足** 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
-  関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

- *1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- *2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
- *3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO5520C/6520C/6530C	e-STUDIO6530C Series
e-STUDIO2330C/2830C/3520C/4520C	e-STUDIO4520C Series
e-STUDIO255/355/455	e-STUDIO455 Series
e-STUDIO655/755/855	e-STUDIO855 Series

e-STUDIO455 Seriesおよびe-STUDIO855 Seriesでは、スキャン機能およびプリント機能はオプションです。お使いの機体によっては、すでにオプションが装着されている場合があります。

□ 本文中の操作パネルとタッチパネル画面について

- 本書に掲載している操作パネルとタッチパネル画面は、e-STUDIO455 Seriesを例にしています。
e-STUDIO4520C Series、e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesの操作パネルとタッチパネル画面は、各部名称や機能は共通です。e-STUDIO6530C Seriesの操作パネルとタッチパネル画面は、操作パネルの形状とボタンの配置、タッチパネル画面のサイズが他機種と異なりますが、各部の名称や機能は共通です。
- タッチパネル画面はオプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

□ 商標について

- Windows 2000の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating Systemです。
- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、TrueTypeおよびLaserWriterは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

目次

はじめに.....	1
-----------	---

第1章 設定項目（ユーザ設定）

ユーザ設定メニューに入る.....	8
機器設定	9
オートクリアモード.....	9
言語切替.....	10
白黒画面反転.....	11
明るさ調整.....	13
自動階調補正.....	14
位置合わせ.....	15
トナーカートリッジ交換.....	16
コピー設定	18
ファクス設定	24
スキャン設定	25
ファイリングボックス設定	30
リスト印刷	31
カセット	34
アドレス帳	37
アドレス帳の管理.....	37
グループの管理.....	51
Eメール確認	67
Bluetooth BIP	68

第2章 設定項目（管理者設定）

管理者設定メニューに入る.....	71
機器設定	73
機器情報.....	73
メール通知.....	75
管理者パスワードの変更.....	77
日付／時刻.....	79
節電モード.....	81
表示レベル.....	87
ポップアップ.....	88
ステータスメッセージ.....	89
自動階調補正.....	90
位置合わせ.....	95
パネルキャリブレーション.....	97
オプション.....	99
ネットワーク設定	100
TCP/IPの設定（IPv4）.....	100
TCP/IPの設定（IPv6）.....	104
IPX/SPXの設定.....	112
NetWare設定.....	114
SMBの設定.....	116
AppleTalkの設定.....	118
HTTPの設定.....	120

Ethernetの設定	122
LDAP、SNMPおよびフィルタリング機能の設定	123
IPセキュリティの設定	125
ユーザ証明書の復号	127
ネットワーク状態確認	129
コピー設定	132
ファクス設定	134
記録モードの設定	134
ファイル設定	136
Eメール設定	137
インターネットファクス設定	139
セキュリティ設定	141
レポート出力設定	143
リスト印刷	149
プリンタ／ファイリングボックス設定	150
無線LAN／Bluetooth	151
ユーザパスワード変更	152
IEEE 802.1X認証設定	153
802.1X認証をセットアップする	153

第3章 カウンタの管理

トータルカウンタ	170
トータルカウンタ印刷	175
部門管理カウンタ	176
部門管理	182
部門管理設定メニューに入る	182
部門管理リストの印刷	184
部門管理の有効／無効	185
全部門コードカウンタのクリア	186
全部門コードの削除	187
新しい部門コードの登録	188
部門コードの変更	191
部門コードの削除	194
部門カウンタのクリア	195
全部門一括制限	197
ブラック無制限	199
ユーザパスワード変更	200

第4章 付録

リスト印字例	202
トータルカウンタリスト	202
部門管理リスト	203
アドレス帳登録リスト	204
グループ登録リスト	205
システム設定リスト（ユーザ）	206
NIC設定ページ	207

システム設定リスト (管理者).....	210
PS3フォントリスト.....	223
PCLフォントリスト.....	224
区点コード表.....	225
索引.....	231

1

設定項目（ユーザ設定）

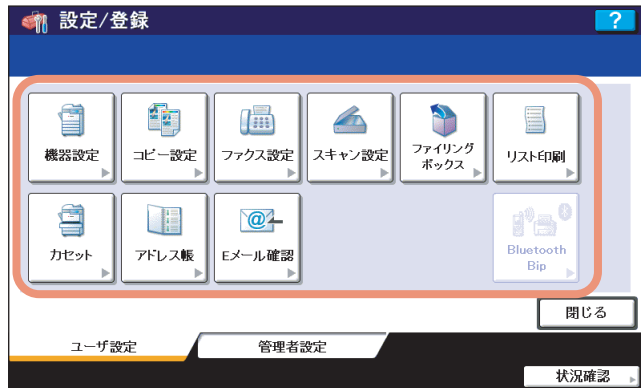
ユーザ設定メニューに入る	8
機器設定	9
オートクリアモード	9
言語切替	10
白黒画面反転	11
明るさ調整	13
自動階調補正	14
位置合わせ	15
トナーカートリッジ交換	16
コピー設定	18
ファクス設定	24
スキャン設定	25
ファイリングボックス設定	30
リスト印刷	31
カセット	34
アドレス帳	37
アドレス帳の管理	37
グループの管理	51
Eメール確認	67
Bluetooth BIP	68

ユーザ設定メニューに入る

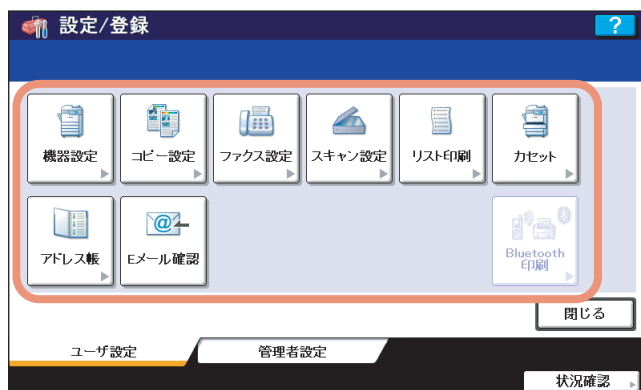
以下の手順で、ユーザ設定メニューを表示します。

- 1 「設定/登録」 ボタンを押して、設定/登録メニューに入ります。
- 2 「ユーザ設定」 タブを押します。
ユーザ設定メニューが表示されます。
- 3 必要なユーザ設定操作を続けて行います。

e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



- 📖 P.9 「機器設定」
- 📖 P.18 「コピー設定」
- 📖 P.24 「ファクス設定」
- 📖 P.25 「スキャン設定」
- 📖 P.30 「ファイリングボックス設定」
- 📖 P.31 「リスト印刷」
- 📖 P.34 「カセット」
- 📖 P.37 「アドレス帳」
- 📖 P.67 「Eメール確認」
- 📖 P.68 「Bluetooth BIP」

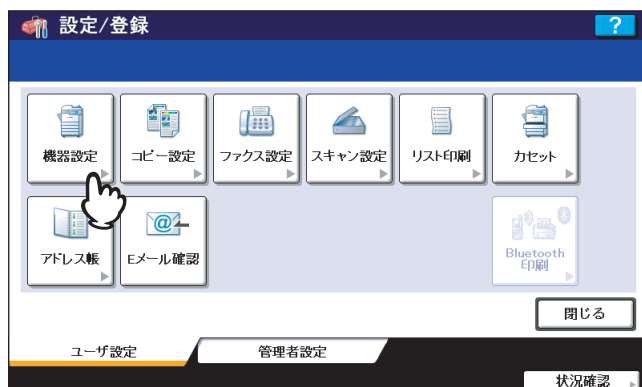
注意

- Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合は、[Bluetooth BIP] からBluetoothのBIP印刷設定を行うことができます。Bluetooth BIP設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。
- [ファイリングボックス] は、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合のみ表示されます。

■ オートクリアモード

本機を操作の途中で一定時間放置した場合に、操作パネルの表示をクリアし初期画面に戻る時間を設定します。

1 ユーザ設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

2 【オートクリア】を押します。

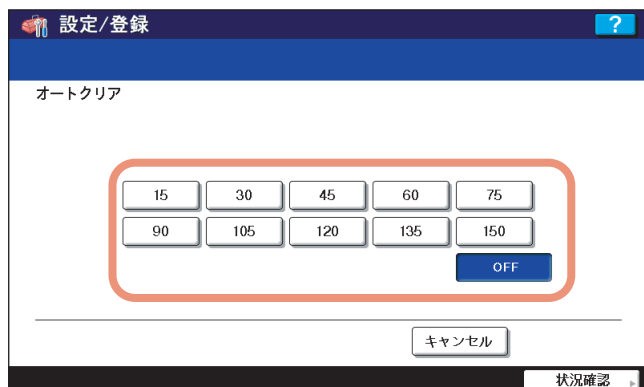


オートクリア画面が表示されます。

注意

【トナーカートリッジ交換】は、e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

3 秒単位で希望する時間のボタンを押します。



選択した時間でオートクリアモードがセットされます。

補足

オートクリアモードを無効にしたい場合は、[OFF] を押します。

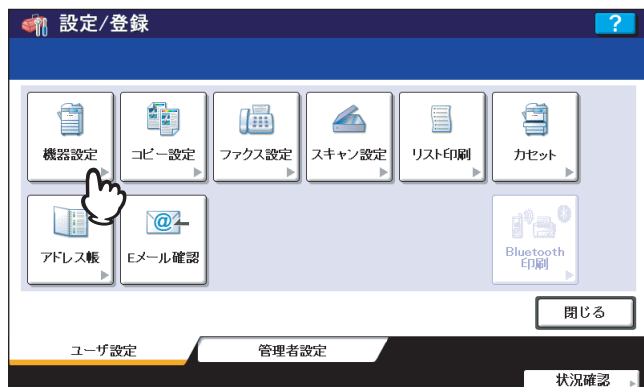
注意

オートクリアモードを [OFF] に設定しても、設定/登録、状況確認、およびテンプレート画面では45秒過ぎると画面をクリアし初期画面に戻ります。

■ 言語切替

タッチパネルの表示言語を変更します。

1 ユーザ設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [言語切替] を押します。



言語切替画面が表示されます。

3 希望する言語ボタンを押します。



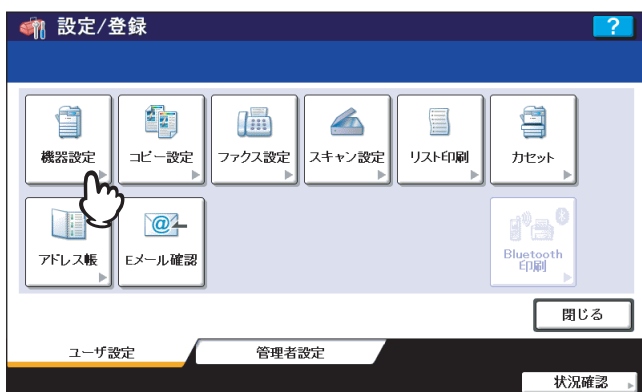
選択した言語でタッチパネルを表示します。

■ 白黒画面反転

タッチパネルの白黒を反転して表示します。

白黒反転表示は、タッチパネルの画面が明る過ぎたり、もっと鮮明に表示したいときに便利な機能です。

1 ユーザ設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

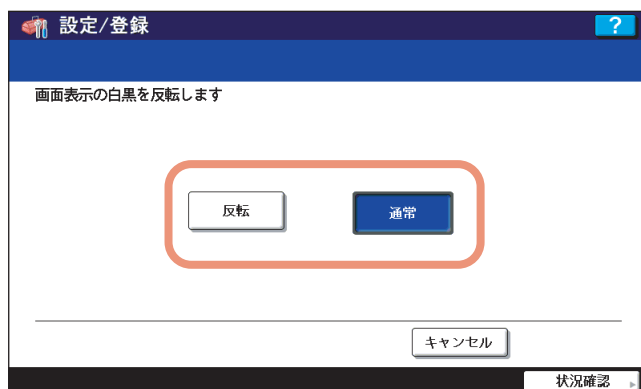
📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [白黒画面反転] を押します。



白黒反転画面が表示されます。

3 反転表示する場合は、[反転] を押します。反転表示しない場合は、[通常] を押します。



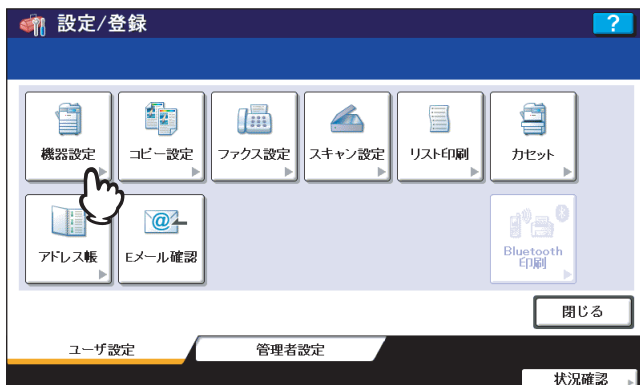
[反転] を選択した場合は、タッチパネルの黒白表示が反転します。



■ 明るさ調整

タッチパネルのコントラストを調整します。

1 ユーザ設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

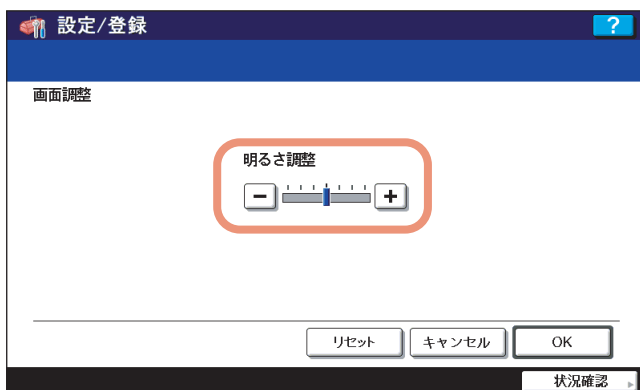
📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

2 【明るさ調整】を押します。



画面調整メニューが表示されます。

3 タッチパネルのコントラストを調整します。



[-] を押しスライダーを左に設定すると、タッチパネルの背景が暗くなります。[+] を押しスライダーを右に設定すると、背景が明るくなります。

■ 自動階調補正

画像の濃淡や色合いがずれて、思うようにコピーや印刷ジョブのカラー調整ができなくなったときに、自動的に機械の色階調を補正できます。

このメニューは、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

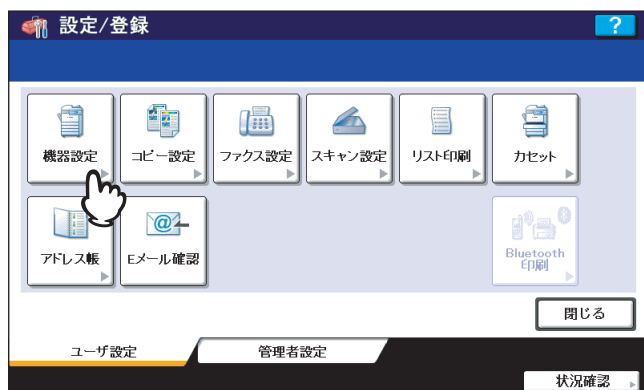
注意

- ユーザ設定メニューの自動階調補正は、表示レベルの自動階調補正の設定を [ユーザ] に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。
P.87 「表示レベル」
- 補正を行う前に、A4またはLTサイズ用紙（推奨用紙）をカセットにセットします。他の用紙サイズでは補正を操作することはできません。
- ガラス面の汚れやガラス面への異物の付着などにより、正しく補正が行われない場合があります。ガラス面の清掃を定期的に行ってください。
- 補正実行中は原稿カバーまたは自動両面原稿送り装置を持ち上げたり、前面カバーを開けたりしないでください。正しく補正されません。
- 補正実行中の割り込みコピーはできません。
- ひんぱんに色合いがずれる場合は、弊社サービスエンジニアにご相談ください。

1 カセットに階調補正に使用したい用紙をセットします。

本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。

2 ユーザ設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

3 [自動階調補正] を押します。



自動階調補正メニューが表示されます。

4 以下の操作の手順1を参照してください。

- コピー自動階調補正を行う場合
 ④ P.91 「コピー自動階調補正を操作する」
- プリンタ自動階調補正を行う場合
 ④ P.93 「プリンタ自動階調補正を操作する」

補足

コピーおよびプリンタ自動階調補正の手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。

■ 位置合わせ

色ズレが発生したときに、位置を補正します。

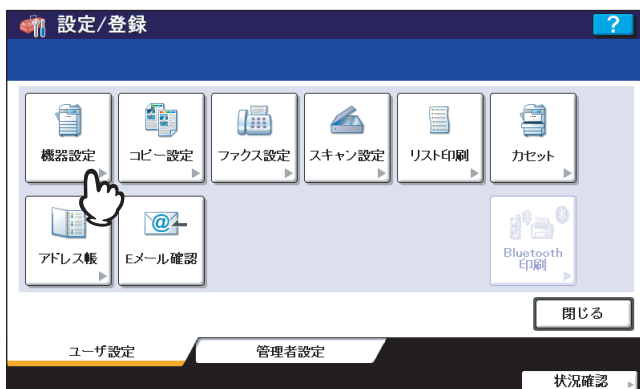
このメニューは、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

注意

ユーザー設定メニューの位置合わせは、表示レベルの位置合わせの設定を [ユーザー] に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。

④ P.87 「表示レベル」

1 ユーザー設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

④ P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

2 [位置合わせ] を押します。



位置合わせメニューが表示されます。

3 以下の操作の手順3を参照してください。

📖 P.95 「位置合わせ」

補 足

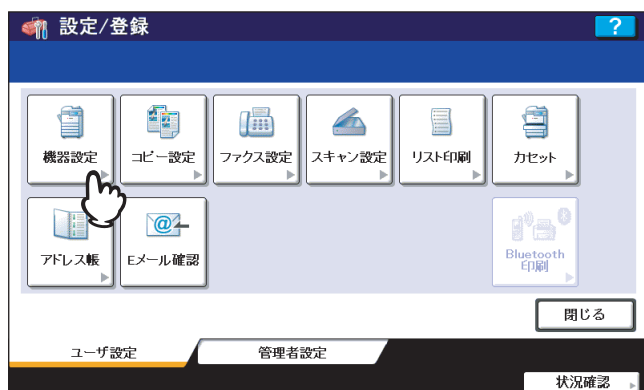
位置合わせの手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。

■ トナーカートリッジ交換

トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなると、画面上には「トナーが少なくなっています」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている間は、まだトナーカートリッジ内にトナーが残っていますが、この状態でもトナーカートリッジを交換することができます。

このメニューは、e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

1 ユーザ設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補 足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

2 【トナーカートリッジ交換】を押します。



トナーカートリッジを交換するかを確認するメッセージが表示されます。

3 [はい] を押します。



トナーカートリッジの交換を中止するときは、[いいえ] を押します。

4 トナーカートリッジを交換します。

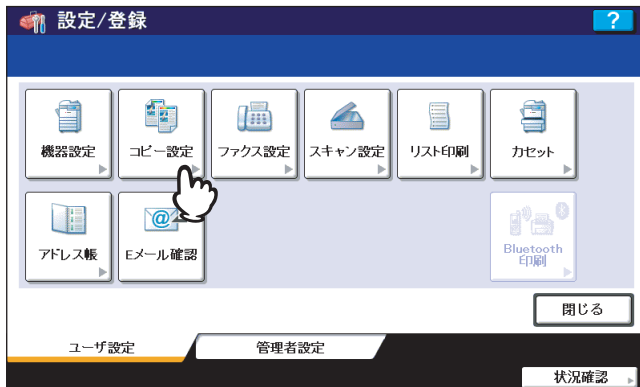
補足

トナーカートリッジの交換手順は、[トラブルシューティングガイド](#)を参照してください。

コピー設定

コピー操作時の初期設定を変更します。

1 ユーザ設定メニューの【コピー設定】を押します。



コピー設定画面が表示されます。

- e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合は、以下のページを参照してください。
P.18 「コピー設定を行う (e-STUDIO6530C Series、 e-STUDIO4520C Series)」
- e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesをお使いの場合は、以下のページを参照してください。
P.21 「コピー設定を行う (e-STUDIO455 Series、 e-STUDIO855 Series)」

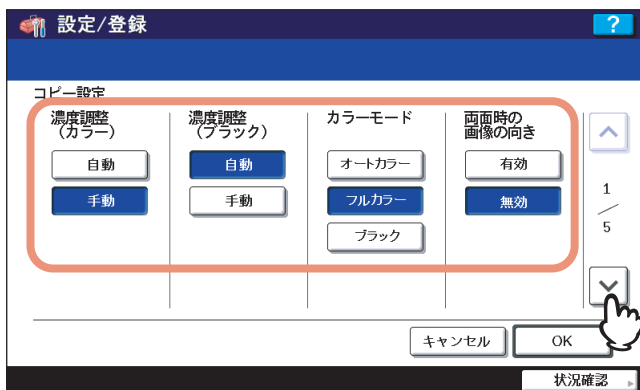
補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

コピー設定を行う (e-STUDIO6530C Series、 e-STUDIO4520C Series)

1 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



濃度調整 (カラー)：カラーコピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、[手動] を押します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動] を押します。

濃度調整 (ブラック)：白黒コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、[手動] を押します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動] を押します。

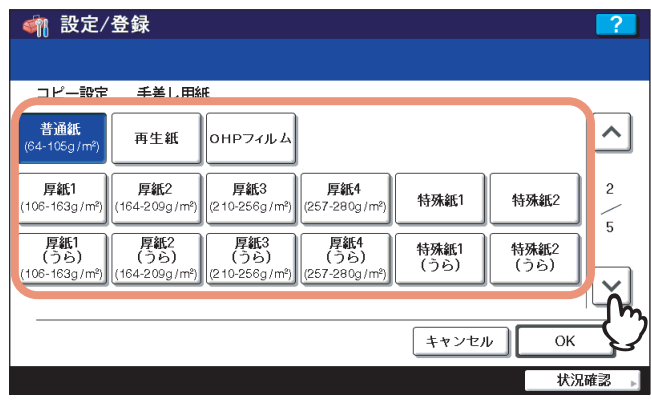
カラーモード：コピー時に初期設定として適用するカラーモードのボタンを押します。ブラック無制限が有効になっている場合は、[ブラック] のみ選択することができます。

両面時の画像の向き：両面時の画像の向き機能の初期設定を有効する場合は [有効] を、無効にする場合は [無効] を押します。

補足

両面時の画像の向きの詳細については、コピーガイドを参照してください。

2 手差し給紙の初期設定として適用する用紙タイプのボタンを押し、 を押します。
e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



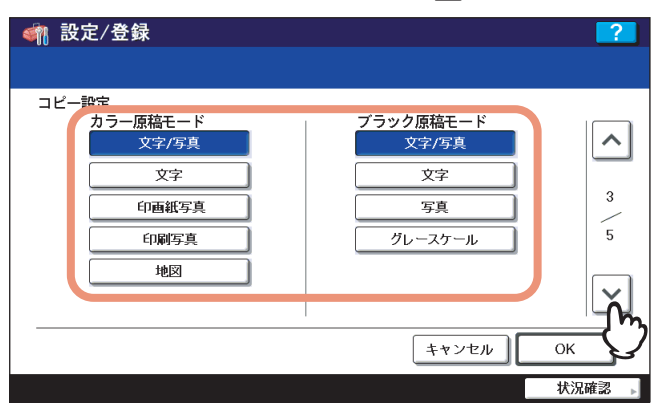
e-STUDIO6530C Seriesをお使いの場合



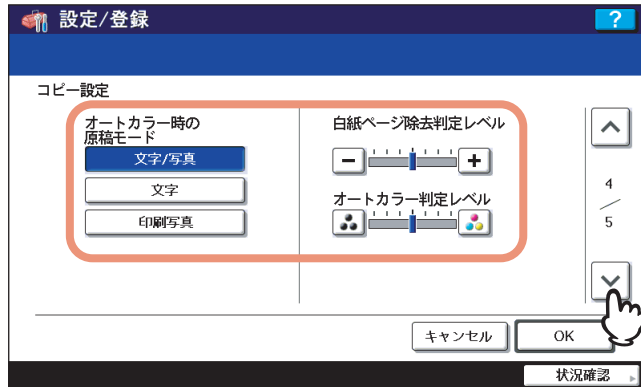
補足

用紙タイプの詳細については、コピーガイドを参照してください。

3 「カラー原稿モード」および「ブラック原稿モード」で、原稿コピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押し、 を押します。



4 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。

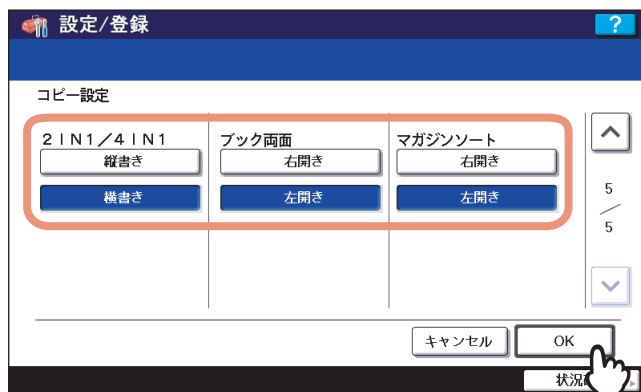


オートカラー原稿モード：原稿をコピーする際に初期設定として適用する原稿モードボタンを押します。

白紙ページ除去判定レベル：コピー操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、原稿から白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。 を押しスライダーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。機能の詳細は、**コピーガイド**を参照してください。

オートカラー判定レベル：オートカラーコピー時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。

5 必要に応じて下記項目を設定し、**[OK]** を押します。



2IN1/4IN1：2IN1/4IN1コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- [縦書き]：2IN1/4IN1コピーで右から左および上から下にページをレイアウトし印刷します。
- [横書き]：2IN1/4IN1コピーで左から右および上から下にページをレイアウトし印刷します。

ブック両面：ブック両面コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- [右開き]：右側にページをめくる冊子（主に縦書きの冊子）をコピーします。
- [左開き]：左側にページをめくる冊子（主に横書きの冊子）をコピーします。

マガジンソート：マガジンソートコピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- [右開き]：マガジンソートコピーで右ページから冊子が開くように製本します。
- [左開き]：マガジンソートコピーで左ページから冊子が開くように製本します。

補 足

- 反転表示された項目が初期設定として保存されます。
- 各機能の詳細については、**コピーガイド**を参照してください。

コピー設定を行う (e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Series)

1 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



濃度調整：コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、[手動] を押します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動] を押します。

両面時の画像の向き：両面時の画像の向き機能の初期設定を有効する場合は [有効] を、無効にする場合は [無効] を押します。

補足

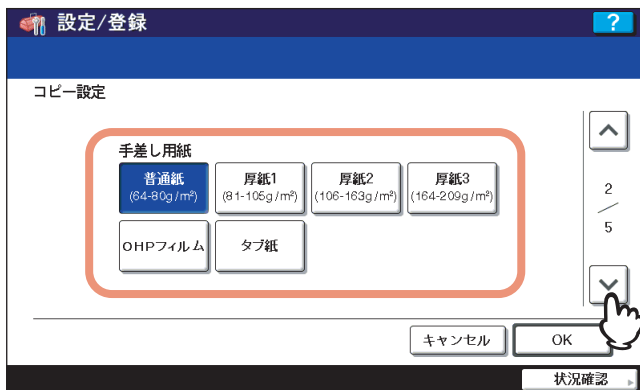
両面時の画像の向きの詳細については、コピーガイドを参照してください。

2 手差し給紙の初期設定として適用する用紙タイプのボタンを押し、 を押します。

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合



e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合

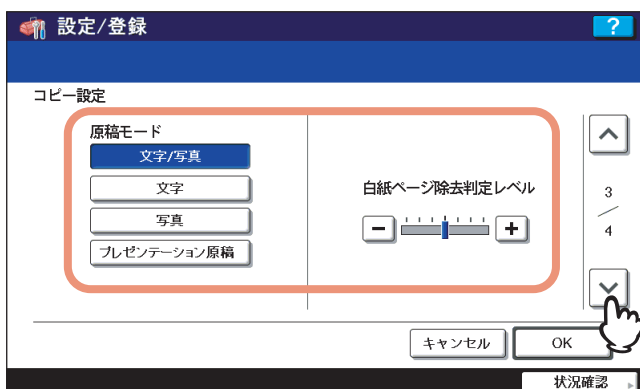


補足

用紙タイプの詳細については、コピーガイドを参照してください。

3 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合



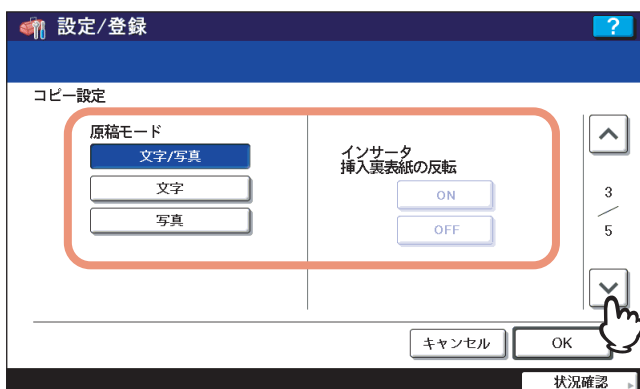
原稿モード：コピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

白紙ページ除去判定レベル：コピー操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、原稿から白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。 を押しスライダーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。機能の詳細は、**コピーガイド**を参照してください。

補 足

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合は、手順5に進んでください。

e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合

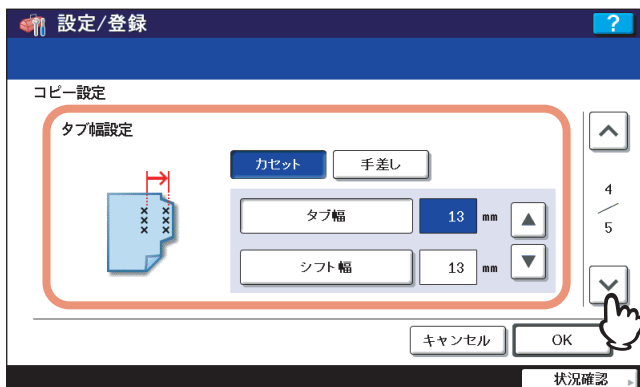


原稿モード：コピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

インサータ挿入裏表紙の反転：[ON] にすると、裏表紙挿入でインサータ（オプション）から挿入した用紙を、裏返して排紙します。表裏が異なる用紙を表紙、裏表紙として挿入したい場合などに、裏表紙を反転させて排紙することができます。

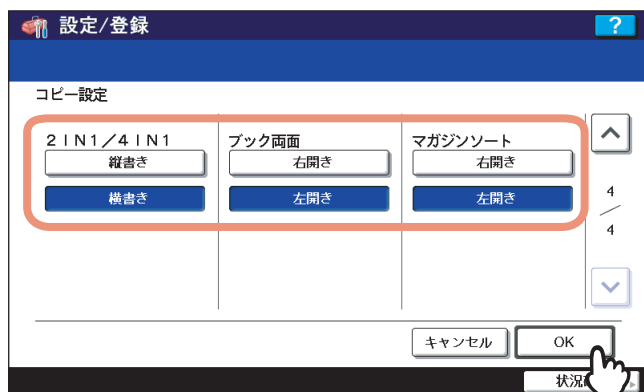
4 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。

e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



タブ幅設定：カセットまたは手差しトレイにセットしたタブ紙のタブ幅およびコピーイメージをタブ上に移動させるためのシフト幅を設定します。

5 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



2IN1/4IN1：2IN1/4IN1コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- [縦書き]：2IN1/4IN1コピーで右から左および上から下にページをレイアウトし印刷します。
- [横書き]：2IN1/4IN1コピーで左から右および上から下にページをレイアウトし印刷します。

ブック両面：ブック両面コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- [右開き]：右側にページをめくる冊子（主に縦書きの冊子）をコピーします。
- [左開き]：左側にページをめくる冊子（主に横書きの冊子）をコピーします。

マガジンソート：マガジンソートコピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- [右開き]：マガジンソートコピーで右ページから冊子が開くように製本します。
- [左開き]：マガジンソートコピーで左ページから冊子が開くように製本します。

補足

- 反転表示された項目が初期設定として保存されます。
- 各機能の詳細については、**コピーガイド**を参照してください。

ファクス設定

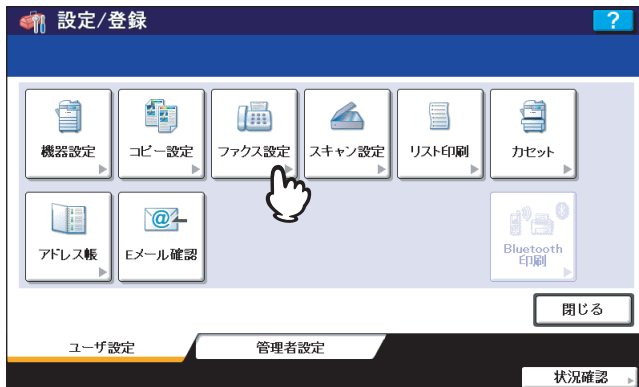
ファクス・インターネットファクス機能の初期設定を変更します。

FAXユニット（オプション）が装着されていない場合は、「解像度」、「原稿モード」および「濃度調整」の設定のみ行えます。その他の設定項目については、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書**を参照してください。

補 足

- FAXユニット（オプション）が装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクス送信に適用されます。
- e-STUDIO455 Seriesまたは-STUDIO855 Seriesをお使いの場合、[ファクス設定]はスキャナキット（オプション）またはプリンタ/スキャナキット（オプション）が装着されている場合にのみ有効です。

1 ユーザ設定メニューの [ファクス設定] を押します。



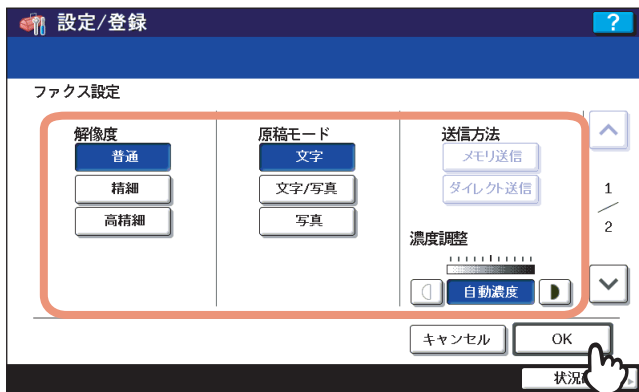
ファクス設定画面が表示されます。

補 足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

2 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



解像度：初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

原稿モード：初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

濃度調整：読み取り濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、**◀** または **▶** を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

補 足

反転表示された項目が初期設定として保存されます。

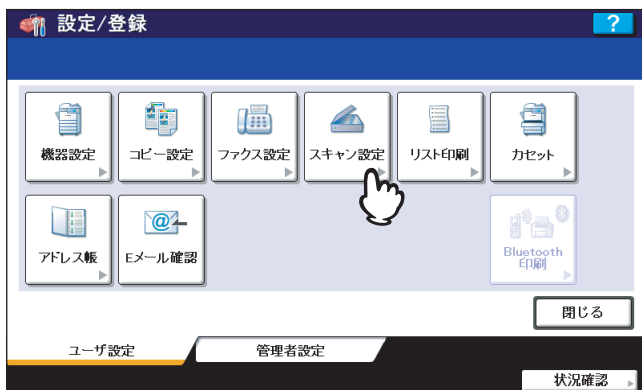
スキャン設定

スキャンジョブの初期設定を変更します。

補足

e-STUDIO455 Seriesまたは-STUDIO855 Seriesをお使いの場合、[スキャン設定] はスキャナキット（オプション）またはプリンタ／スキャナキット（オプション）が装着されている場合にのみ有効です。

1 ユーザ設定メニューの [スキャン設定] を押します。



スキャン設定画面が表示されます。

- e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesまたはe-STUDIO455 Seriesをお使いの場合は、以下のページを参照してください。
📖 P.26 「スキャン設定を行う（e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Series、e-STUDIO455 Series）」
- e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合は、以下のページを参照してください。
📖 P.29 「スキャン設定を行う（e-STUDIO855 Series）」

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

スキャン設定を行う (e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Series、e-STUDIO455 Series)

1 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



カラーモード：初期値として適用するカラーモードのボタンを押します。

圧縮率：グレースケール、フルカラー、オートカラーをスキャン時に初期設定として適用する画質モードのボタンを押します。

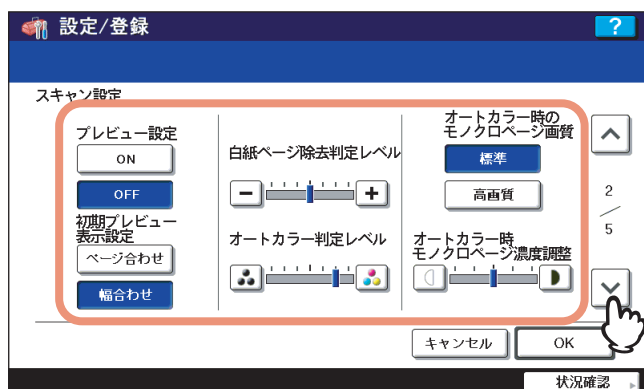
両面：初期設定として適用する片面/両面モードのボタンを押します。

- [片面]：片面原稿のスキャンを初期設定にします。
- [両面 (左/右綴じ)]：左右綴じ両面原稿 (両面が上下同じ向きの原稿) のスキャンを初期設定にします。
- [両面 (上/下綴じ)]：上下綴じ両面原稿 (両面が上下逆向きの原稿) のスキャンを初期設定にします。

画像回転：画像回転の初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- [0度]：スキャンしたイメージを回転せずにスキャンします。
- [90度右]：スキャンしたイメージを90度右に回転します。
- [180度]：スキャンしたイメージを180度回転します。
- [90度左]：スキャンしたイメージを90度左に回転します。

2 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



プレビュー設定：プレビュー機能を有効にすると、スキャンジョブを保存またはメール送信する前に、スキャンイメージを表示し、確認できます。この機能を有効にする場合は、[ON] を押します。無効にする場合は、[OFF] を押します。

初期プレビュー表示設定：プレビュー画面の表示方法を選択します。「ページ合わせ」または「幅合わせ」を選択できます。

白紙ページ除去判定レベル：スキャン操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、原稿から白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。 を押しスライドバーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。機能の詳細は、**スキャンガイド**を参照してください。

オートカラー判定レベル：オートカラースキャン時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。

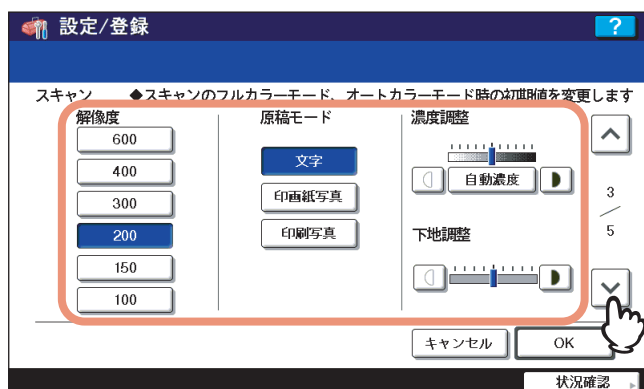
オートカラー時のモノクロページ画質：オートカラースキャン時に白黒画像として認識された原稿をスキャンするときの画質モードのボタンを押します。[標準] または [高画質] を選択できます。

オートカラー時モノクロページ濃度調整：オートカラースキャン時に白黒原稿として認識された原稿をスキャンするときの濃度を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、より薄くスキャンします。 を押しスライドバーを右に設定すると、より濃くスキャンします。

注意

[プレビュー設定] および [初期プレビュー表示設定] は、e-STUDIO6530C Series または e-STUDIO4520C Series をお使いの場合にのみ表示されます。

3 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



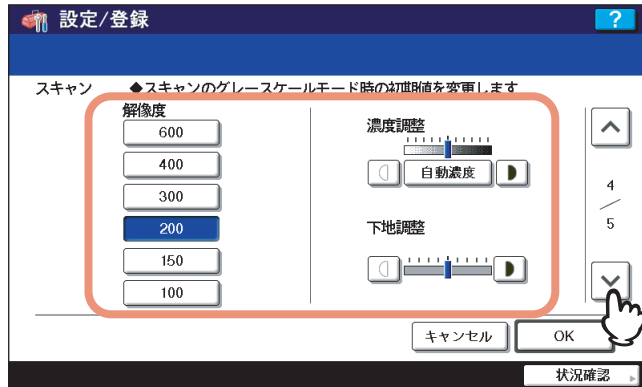
解像度：カラーสキャン時に初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

原稿モード：カラースキャン時の初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

濃度調整：カラースキャン時の濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

下地調整：カラースキャン時の下地調整の初期値を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、背景が明るくなります。 を押しスライドバーを右に設定すると、背景が暗くなります。

4 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。

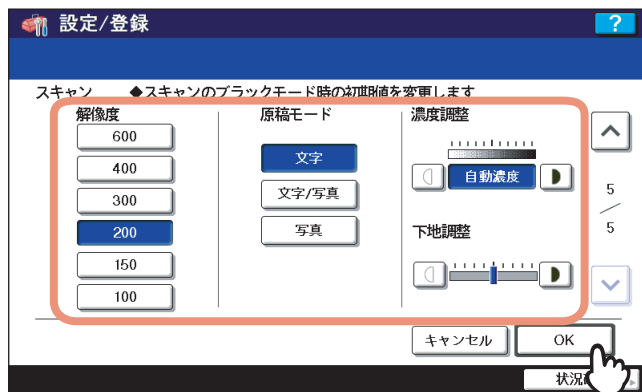


解像度：グレースケールスキャン時に初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

濃度調整：グレースケールスキャン時の濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

下地調整：グレースケールスキャン時の下地調整の初期値を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、背景が明るくなります。 を押しスライドバーを右に設定すると、背景が暗くなります。

5 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



解像度：ブラックスキャン時に初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

原稿モード：ブラックスキャン時の初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

濃度調整：ブラックスキャン時の濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

下地調整：ブラックスキャン時の下地調整の初期値を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、背景が明るくなります。 を押しスライドバーを右に設定すると、背景が暗くなります。

補足

反転表示された項目が初期設定として保存されます。

スキャン設定を行う (e-STUDIO855 Series)

1 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



圧縮率：スキャン時に初期設定として適用する画質モードのボタンを押します。

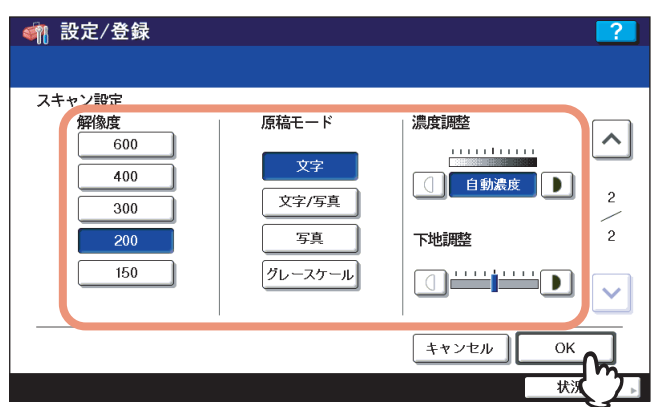
両面：初期設定として適用する片面/両面モードのボタンを押します。

- ・ [片面]：片面原稿のスキャンを初期設定にします。
- ・ [両面 (左/右綴じ)]：左右綴じ両面原稿 (両面が上下同じ向きの原稿) のスキャンを初期設定にします。
- ・ [両面 (上/下綴じ)]：上下綴じ両面原稿 (両面が上下逆向きの原稿) のスキャンを初期設定にします。

画像回転：画像回転の初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- ・ [0度]：スキャンしたイメージを回転せずにスキャンします。
- ・ [90度右]：スキャンしたイメージを90度右に回転します。
- ・ [180度]：スキャンしたイメージを180度回転します。
- ・ [90度左]：スキャンしたイメージを90度左に回転します。

2 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



解像度：スキャン時に初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

原稿モード：スキャン時の初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

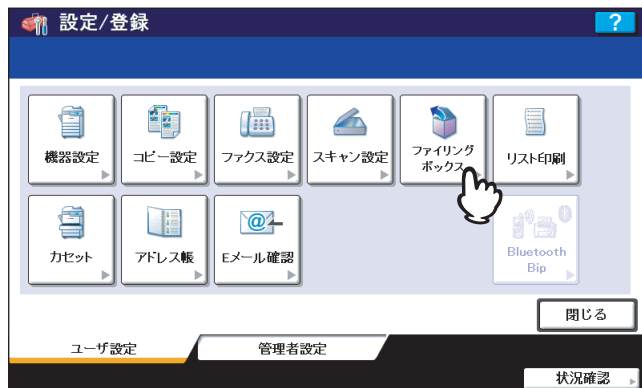
濃度調整：スキャン時の濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

下地調整：スキャン時の下地調整の初期値を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、背景が明るくなります。 を押しスライドバーを右に設定すると、背景が暗くなります。

ファイリングボックス設定

スキャン操作によりファイリングボックスに保管したカラー文書を印刷する際に適用する原稿種類を設定します。このメニューは、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

1 ユーザ設定メニューの【ファイリングボックス】を押します。



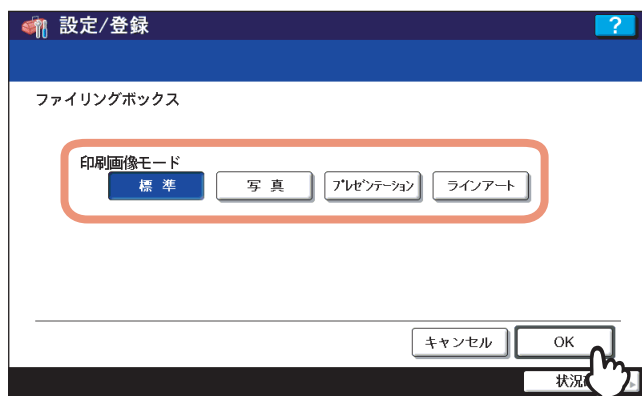
ファイリングボックス画面が表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 「印刷画像モード」で、ファイリングボックスからカラー文書を印刷する際に適用する原稿種類のボタンを押し、[OK] を押します。



【標準】：通常のカラー文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

【写真】：写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

【プレゼンテーション】：プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

【ラインアート】：多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

リスト印刷

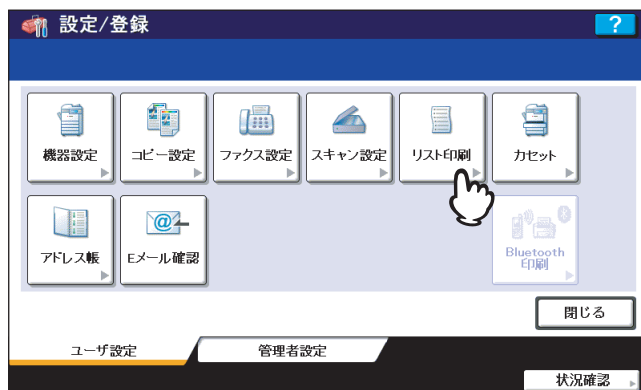
この機能では、以下のリストを印刷できます。

- アドレス帳登録リスト
アドレス帳に登録されている宛先の一覧を印刷します。
- グループ登録リスト
アドレス帳にグループ登録されている宛先の一覧を印刷します。
- システム設定リスト (ユーザー設定)
ユーザー設定の設定状況を示すリストを印刷します。

補足

リスト印刷では、A4-Rに設定されたカセットの用紙を優先的に使用して、本体の排紙トレイに排紙されます。

1 ユーザ設定メニューの [リスト印刷] を押します。



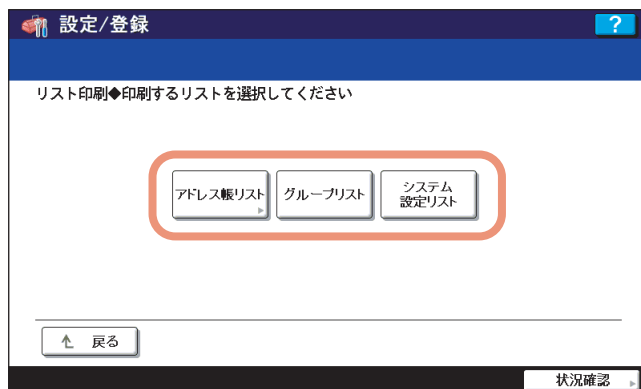
リスト印刷画面が表示されます。

補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

2 印刷したいリストに応じて、操作を続けます。



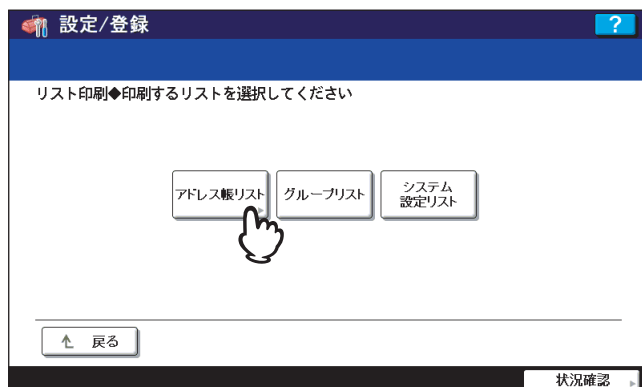
📖 P.32 「アドレス帳登録リストを印刷する」

📖 P.33 「グループ登録リストを印刷する」

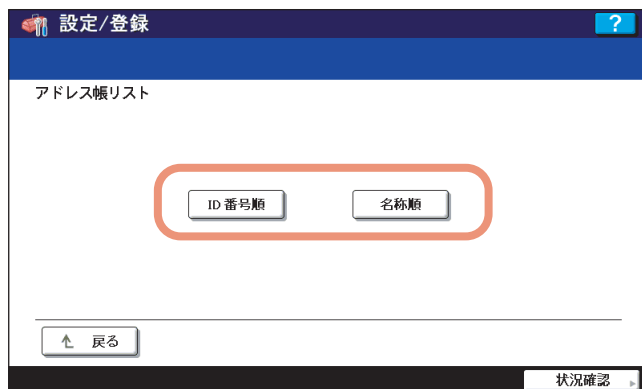
📖 P.33 「システム設定リスト (ユーザー設定) を印刷する」

アドレス帳登録リストを印刷する

1 [アドレス帳リスト] を押します。



2 [ID番号順] を押すと、ID番号で並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。[名称順] を押すと、フリガナ順に並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。



- 本機が部門管理されていない場合は、アドレス帳登録リストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとアドレス帳登録リストが印刷されます。

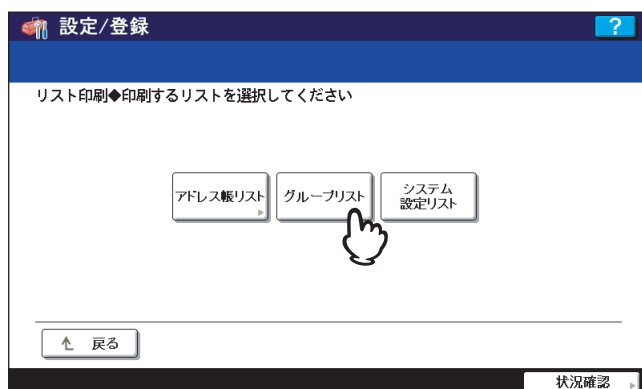
補足

アドレス帳登録リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。

📖 P.204 「アドレス帳登録リスト」

グループ登録リストを印刷する

1 [グループリスト] を押します。



- 本機が部門管理されていない場合は、グループ登録リストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとグループ登録リストが印刷されます。

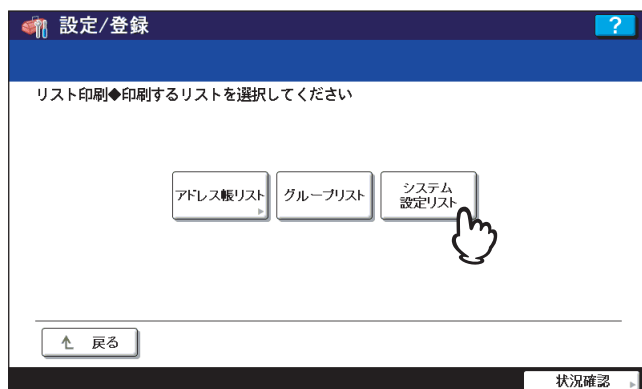
補足

グループ登録リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。

📖 P.205 「グループ登録リスト」

システム設定リスト（ユーザ設定）を印刷する

1 [システム設定リスト] を押します。



- 本機が部門管理されていない場合は、システム設定リストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとシステム設定リストが印刷されます。

補足

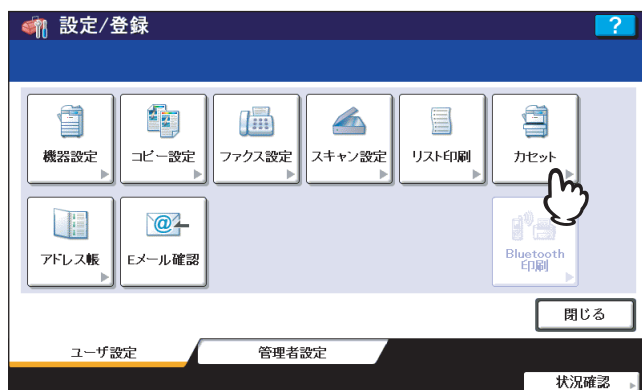
システム設定リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。

📖 P.206 「システム設定リスト（ユーザ）」

カセット

各カセットにセットされた用紙サイズや用紙タイプを設定します。

1 ユーザ設定メニューの【カセット】を押します。



カセット画面が表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 用紙サイズを変更したいカセットのイラスト部分を押し、希望する用紙サイズのボタンを押します。

e-STUDIO4520C Series、e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



- 選択したカセットを希望する用紙サイズに変更します。
- 普通紙以外の用紙を設定する場合やカセットの用途を設定する場合は、[用紙タイプ] を押し、手順3に進みます。

e-STUDIO6530C Seriesをお使いの場合



- 選択したカセットを希望する用紙サイズに変更します。
- 普通紙以外の用紙を設定する場合やカセットの用途を設定する場合は、[用紙タイプ] を押し、手順3に進みます。
- [自動 (mm)] または [自動 (inch)] を使用し、カセットの用紙サイズを自動検知させることができます。A3やA4サイズなどのAB系列の用紙をお使いの場合は、[自動 (mm)] を押します。また、LDやLTなどのLT系列の用紙をお使いの場合は、[自動 (inch)] を押します。このカセットに用紙をセットしたときに、用紙サイズが自動的に登録されます。

注意

自動検知ボタン ([自動 (mm)] または [自動 (inch)]) と異なる系列の用紙をカセットにセットすると、「UNDEF」と表示され、用紙のサイズを検知できない場合があります。この場合には、用紙の系列に合わせた自動検知ボタンに切り替えてください。

3 用紙タイプを設定したいカセットのイラスト部分を押して、希望する用紙タイプのボタンを押します。

e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



用紙タイプに応じて、[再生紙] または [厚紙1]、[厚紙2]、[厚紙3] を押します。

e-STUDIO6530C Seriesをお使いの場合



用紙タイプに応じて、[普通紙1]、[普通紙2]、[再生紙]、[厚紙1]、[厚紙2]、[厚紙3] を押します。

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合



用紙タイプに応じて、[厚紙1] を押します。

e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



用紙タイプに応じて、[厚紙1] または [厚紙2]、[厚紙3] を押します。

補足

- 用紙タイプの詳細については、**コピーガイド**を参照してください。
- [挿入シート]、[表紙]、[特殊]、[FAX] または [タブ紙] (e-STUDIO855 Seriesのみ) を押して、特定のジョブで使用するカセットを設定することもできます。たとえば、[挿入シート] を押すと、設定したカセットの用紙をシート挿入に使用できるようになります。

アドレス帳

■ アドレス帳の管理

アドレス帳に登録した宛先は、操作パネルの [ファクス] ボタンを押したときに表示される画面などで、宛先一覧として表示されます。ファクスやインターネットファクスを送信するときに、宛先一覧を選択して、簡単に送信先を指定できます。また、アドレス帳に登録した宛先は、スキャンのEメール送信の宛先にも使用できます。

アドレス帳には、ファクス番号、Eメールアドレス、または両方を指定した1000件の宛先を登録できます。また、FAXユニット (オプション) が装着されている場合は、送信方法、ECM、海外指定送信、回線指定、サブアドレス設定などの付加機能を宛先ごとに指定することができます。

注意

- FAXユニット (オプション) が装着されている場合のみ、登録したファクス番号をファクス送信の宛先として利用できます。
- e-STUDIO455 Seriesまたは-STUDIO855 Seriesでは、スキャナキット (オプション) またはプリンタ/スキャナキット (オプション) が装着されている場合にのみ、登録されたEメールアドレスをEメール送信やインターネットファクス送信の宛先として利用することができます。

アドレス帳メニューでは、以下の管理ができます。

- 📖 P.37 「宛先を登録する」
- 📖 P.43 「宛先を編集する」
- 📖 P.45 「宛先を削除する」
- 📖 P.47 「宛先を検索する」

補足

TopAccessの管理者モードから、CSV形式のアドレス帳データをインポートまたはエクスポートできます。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

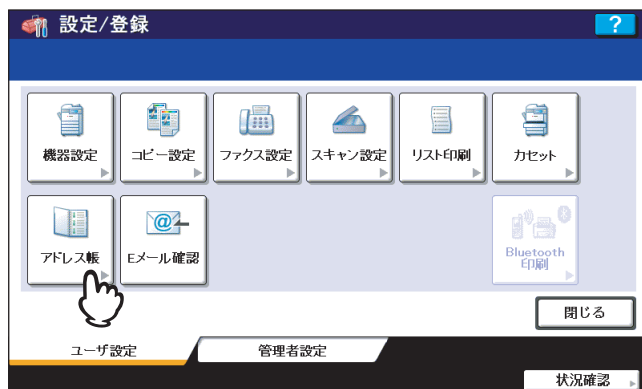
□ 宛先を登録する

新しい宛先をアドレス帳に登録します。登録する方法は、以下の2つの方法があります。

- 📖 P.37 「[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する」
- 📖 P.40 「ログ一覧からアドレス帳に登録する」

[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する

1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

- 📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

3 連絡先を登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。



アドレス帳登録画面が表示されます。

補足

タッチパネルに宛先を登録できる空きボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

4 タッチパネルのボタンを押して、以下の宛先情報を入力します。

【姓】：宛先の姓を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。

【名】：宛先の名を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。

【フリガナ】：宛先のフリガナを入力します。

【電話番号】：宛先のファクス番号を入力します。

【電話番号2】：宛先のサブファクス番号を入力します。（上記【電話番号】にリダイヤルしても通信できないときに、【電話番号2】に登録があれば登録された番号にファクスします。）

【Eメール】：宛先のEメールアドレスを入力します。

【会社名】：宛先の会社名を入力します。

【部署名】：宛先の部署名を入力します。

【備考】：必要に応じて、宛先のキーワードを入力します。このキーワードでも宛先を検索することができます。

注意

- 登録するには、「姓」または「名」いずれかと「電話番号」または「Eメール」いずれかを入力してください。
- 「電話番号」および「電話番号2」は、通常「-」を含めずに入力してください。「-」を入力する場合は、タッチパネルの [ポーズ] を押してください。（「-」を入れるとポーズが入り3秒間ダイヤルの間隔が空きます。）

補足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK]を押して入力を確定します。文字入力のしかたの詳細は、**クイックスタートガイド**を参照してください。

また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.225 「区点コード表」

5 付加機能を設定したい場合は、[付加機能] を押します。

注意

- FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書**を参照してください。

6 [OK] を押して、宛先を登録します。

設定/登録

アドレス帳登録

姓 User Eメール user08@abcdefg.com

名 08 会社名

フリガナ ユーザ08 部署名

電話番号 1234567890 備考

電話番号2

付加機能 キャンセル OK

状況確認

アドレス帳に宛先が登録されます。

ログ一覧からアドレス帳に登録する

送／受信履歴の画面から、相手先の電話番号やEメールアドレスなどの情報をアドレス帳に登録できます。

送信履歴で登録可能

- 直接ダイヤル（テンキー入力またはLDAP検索）による送信
- Eメールアドレスを直接入力（テンキー入力またはLDAP検索）したEメール送信

受信履歴で登録可能

- 直接ダイヤル（テンキー入力またはLDAP検索）によるポーリング受信
- Eメール受信

スキャン履歴で登録可能

- Eメールアドレスを直接入力したEメール送信

1 タッチパネルの [状況確認] を押します。

2 [ログ] タブを選択し、[送信]（または [受信]、[スキャン]）を押します。



送信ログ一覧（または受信ログ一覧、スキャンログ一覧）が表示されます。

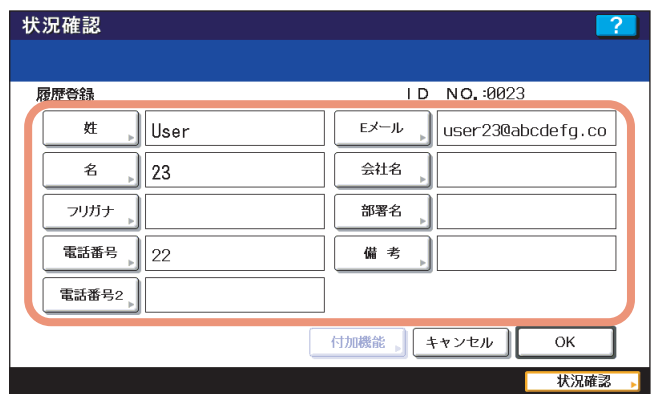
3 アドレス帳に登録したいファクス番号またはEメールアドレスから送信されたジョブを選択し、[アドレス帳登録] を押します。



注意

スキャンログ一覧からBcc送信された宛先をアドレス帳に登録するには、TopAccessのEメール設定で「Bccアドレス表示」を [ON] に設定する必要があります。「Bccアドレス表示」が [OFF] の場合、スキャンログ一覧にはEメールアドレスの代わりに [Bcc宛先] と表示され、その宛先を選択しても [アドレス帳登録] を使用することはできません。「Bccアドレス表示」の設定を切り替える方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

4 宛先情報を編集します。



各項目の説明は、以下の操作の手順4を参照してください。
 P.37 「[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する」

5 付加機能を設定したい場合は、[付加機能] を押します。

注意

- FAXユニット (オプション) が装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書**を参照してください。

6 [OK] を押して、宛先を登録します。

The screenshot shows a dialog box titled "状況確認" (Status Confirmation) with a question mark icon in the top right corner. The dialog contains a form for "履歴登録" (History Registration) with the ID NO. :0023. The form fields are as follows:

姓	User	Eメール	user23@abcdefg.co
名	23	会社名	
フリガナ		部署名	
電話番号	22	備考	
電話番号2			

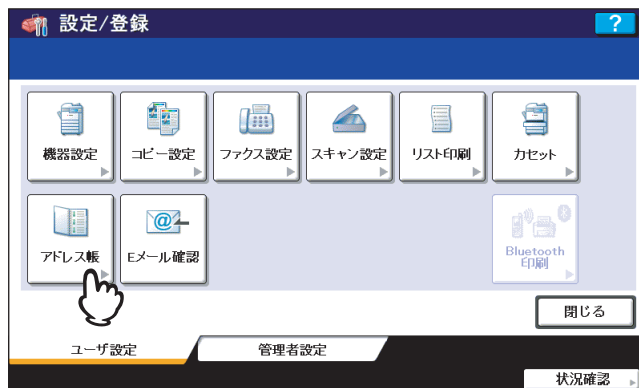
At the bottom of the dialog, there are three buttons: "付加機能" (Additional Function), "キャンセル" (Cancel), and "OK". A mouse cursor is pointing at the "OK" button. Below the dialog box, there is a small yellow button labeled "状況確認" with an exclamation mark icon.

アドレス帳に宛先が登録されます。

□ 宛先を編集する

アドレス帳の宛先を編集します。

1 ユーザ設定メニューの【アドレス帳】を押します。



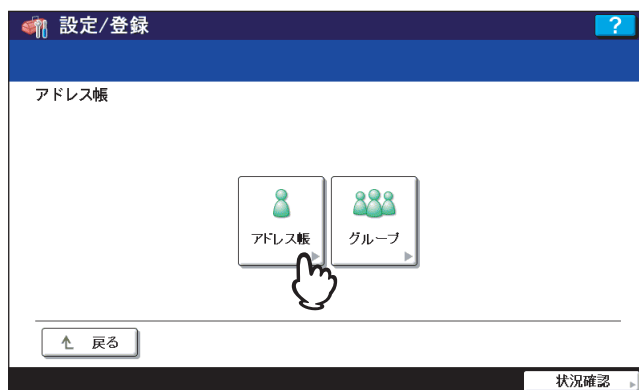
アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

2 【アドレス帳】を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

3 編集したい宛先を押して、[編集] を押します。



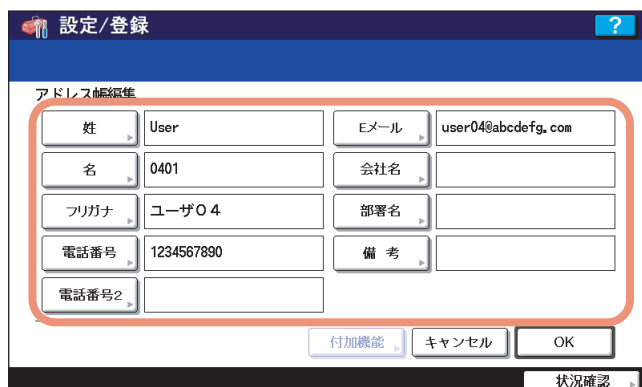
アドレス帳編集画面が表示されます。

注意

- タッチパネルに目的の宛先がない場合は、 を押して次の画面を表示します。
- 検索機能を使って、目的の宛先を探すこともできます。宛先を検索する方法は、以下のページを参照してください。

📖 P.47 「宛先を検索する」

4 宛先情報を編集します。



各項目の説明は、以下の操作の手順4を参照してください。

📖 P.37 「[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する」

5 付加機能を設定したい場合は、[付加機能] を押します。

注意

- FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書**を参照してください。

6 [OK] を押して、宛先を保存します。

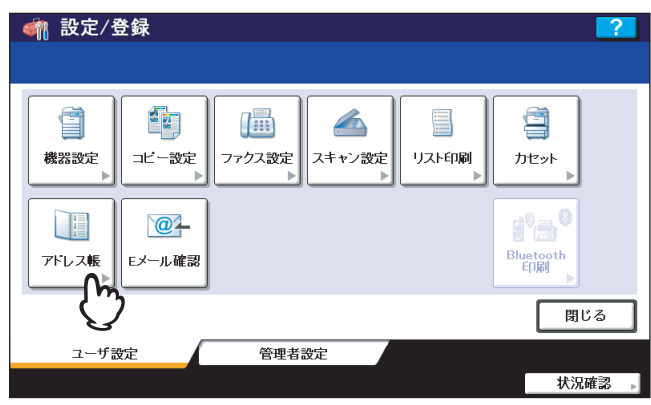


編集した宛先の情報が保存されます。

□ 宛先を削除する

アドレス帳の宛先を削除します。

1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。

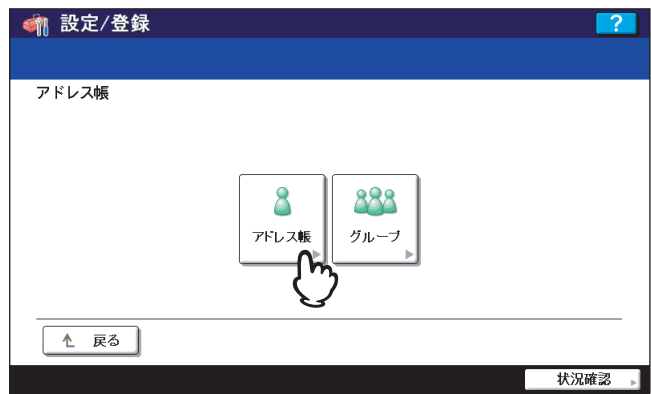


アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

3 削除したい宛先を押して、[削除] を押します。

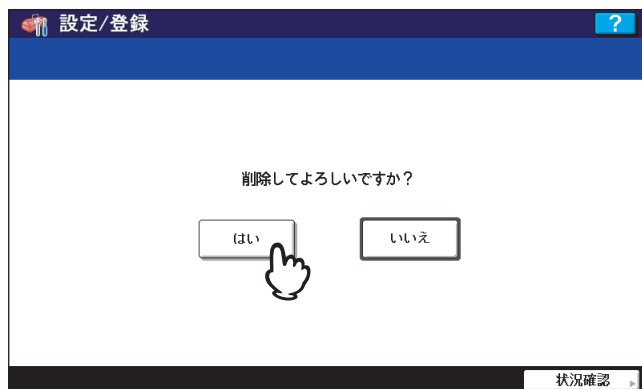


削除の確認画面が表示されます。

補足

タッチパネルに目的の宛先がない場合は、▼ を押して次の画面を表示します。

4 [はい] を押します。



選択した宛先が削除されます。

補足

削除を中止する場合は、[いいえ] を押してください。

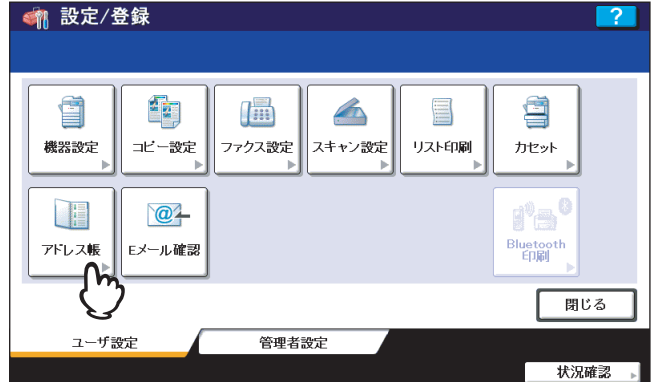
□ 宛先を検索する

アドレス帳の宛先を検索します。検索する方法は、以下の2つの方法があります。

- 📖 P.47 「ID番号で宛先を検索する」
- 📖 P.48 「文字列を入力し宛先を検索する」

ID番号で宛先を検索する

1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



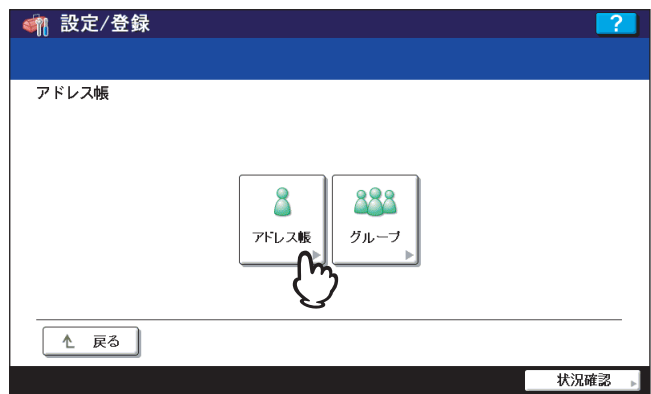
アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

- 📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [アドレス帳] を押します。



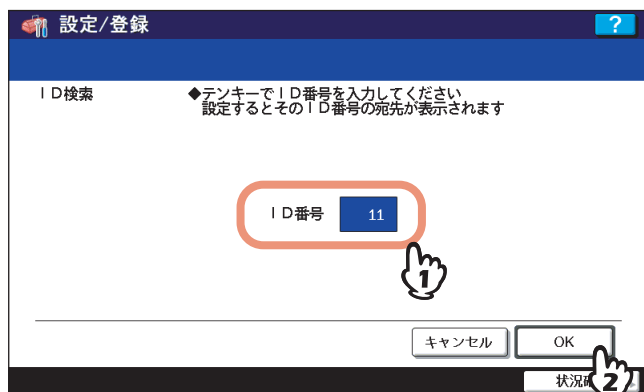
アドレス帳一覧画面が表示されます。

3 [ID番号検索] を押します。



ID番号検索画面が表示されます。

4 テンキーからID番号を入力し、[OK] を押します。



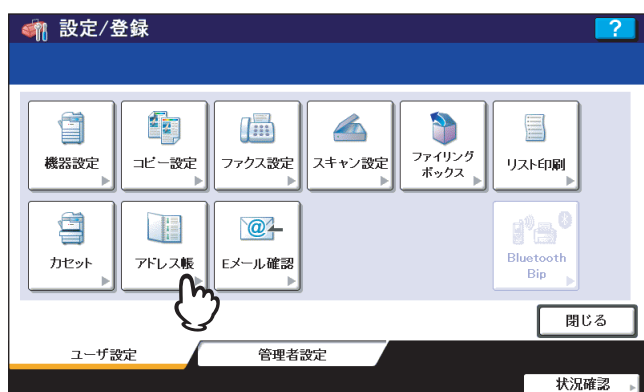
5 検索条件に合致した宛先の画面に移動します。宛先を押し、[編集] を押して宛先の情報を編集します。または、[削除] を押して宛先を削除します。



宛先の編集手順については、以下のページを参照してください。
P.43 「宛先を編集する」

文字列を入力し宛先を検索する

1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

3 [宛先検索] を押します。



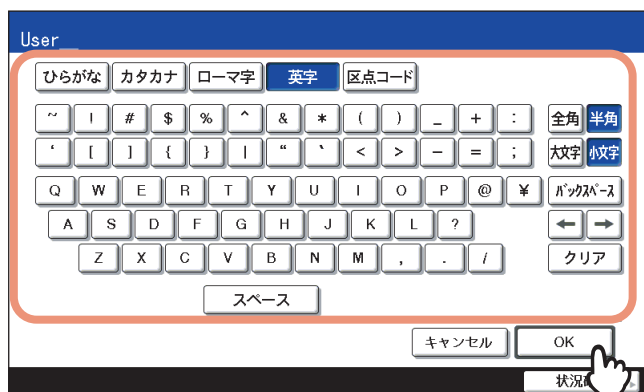
宛先検索画面が表示されます。

4 検索文字を入力する項目のボタンを押します。



各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。

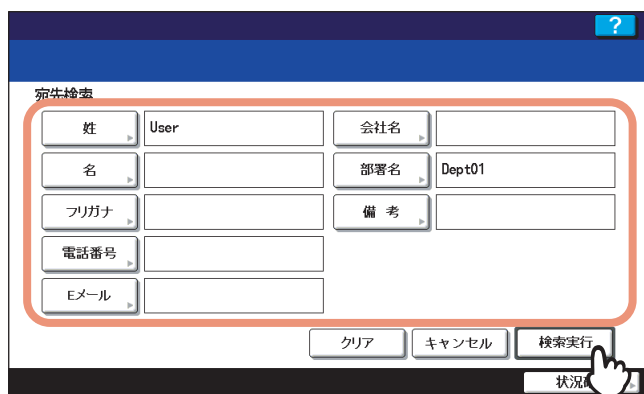
5 文字入力画面およびテンキーから検索する文字、文字列を入力し、[OK] を押します。



補足

- 指定された項目欄に検索文字を含む宛先の検索を行います。
- 文字入力のしかたの詳細は、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。
また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
[P.225 「区点コード表」](#)

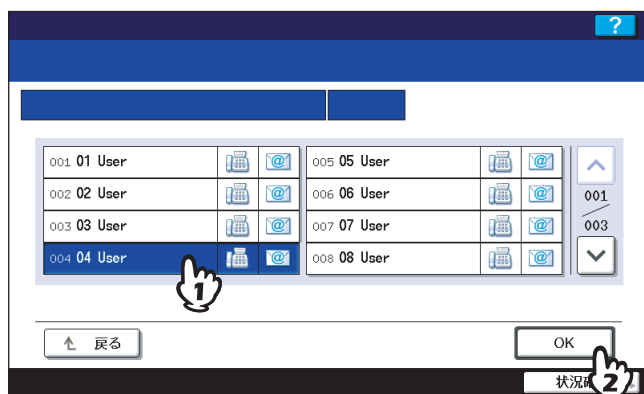
6 必要な項目の検索文字列を指定したら、[検索実行] を押します。



補足

入力した検索文字列をクリアしたい場合は、[クリア] を押します。

7 検索された宛先が画面に表示されます。宛先を押し、[OK] を押して宛先の情報を編集します。



宛先の編集手順については、以下のページを参照してください。
[P.43 「宛先を編集する」](#)

■ グループの管理

複数の宛先を含むグループを作成します。Eメール送信、ファクス、インターネットファクス送信の際に個別に宛先を指定することなく、グループに登録された複数の宛先を一括で指定できます。
アドレス帳には最大200グループ、また1つのグループには、最大400件の宛先を登録できます。

注意

- ファクス番号、Eメールアドレスはそれぞれ別の宛先としてカウントされるので、1つの連絡先にそれら両方を設定した場合は、2件の宛先を登録したことになります。
- FAXユニット (オプション) が装着されている場合のみ、登録したファクス番号をファクス送信の宛先として利用できます。

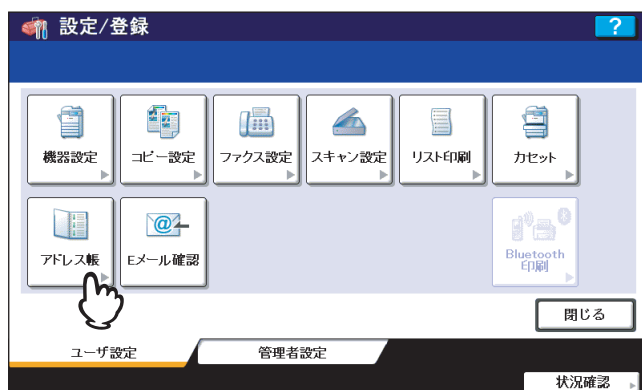
グループメニューでは、以下の管理ができます。

- 📖 P.51 「グループを登録する」
- 📖 P.54 「グループを編集する」
- 📖 P.60 「グループを削除する」
- 📖 P.61 「グループを検索する」

□ グループを登録する

新しいグループをアドレス帳に登録します。

1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

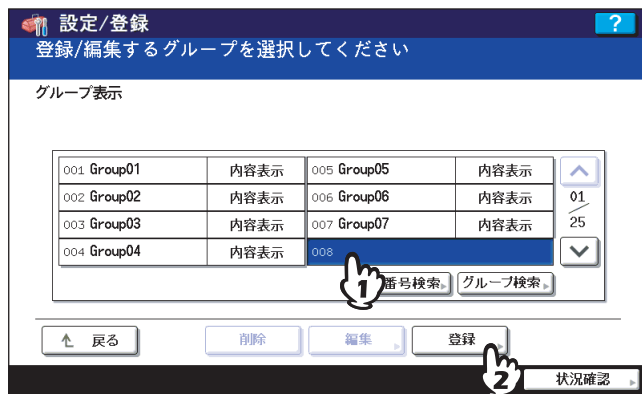
- 📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [グループ] を押します。



グループ表示画面が表示されます。

3 グループを登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。

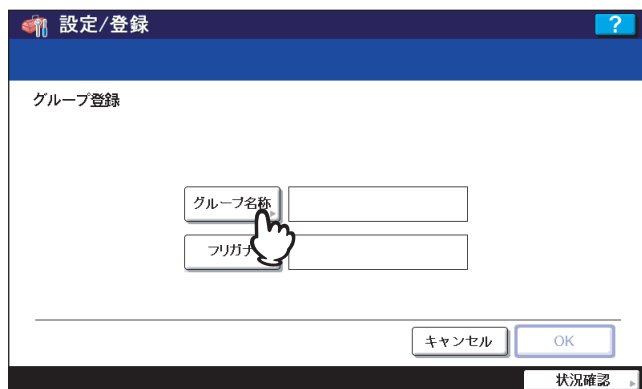


グループ帳登録画面が表示されます。

補足

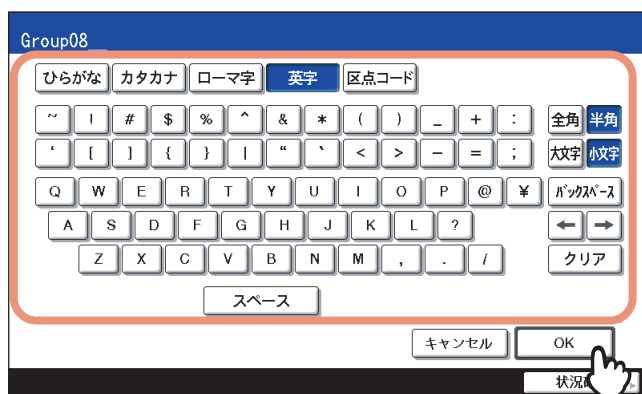
タッチパネルに空きボタンがない場合は、 を押して未登録のグループボタンを表示します。

4 [グループ名称] を押します。



文字入力画面が表示されます。

5 文字入力画面およびテンキーからグループ名を入力し、[OK] を押します。



補足

- 必要に応じて、グループ名称のフリガナを入力できます。[フリガナ] を押し、表示されるカタカナ入力画面から入力してください。
- 文字入力のしかたの詳細は、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。
また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
[P.225 「区点コード表」](#)

6 [OK] を押します。

設定/登録

グループ登録

グループ名称 Group08

フリガナ

キャンセル OK 状況確認

グループメンバーの確認画面が表示されます。

7 グループに追加したい宛先を押して反転表示させ、[OK] を押します。

設定/登録

グループに登録するメンバーを選択してください

グループメンバー確認

001 User 01	選択	005 User 05	選択
002 User 02	選択	006 User 06	選択
003 User 03	選択	007 User 07	選択
004 User 04	選択	008 User 08	選択

宛先クリア ID 番号検索 宛先検索

キャンセル OK 状況確認

- 宛先を手動で選択し、追加または削除するには、以下のページを参照してください。
P.56 「宛先を追加または削除する」
- ID番号で検索し、宛先を追加または削除するには、以下のページを参照してください。
P.57 「ID番号を検索して宛先を追加または削除する」
- 文字列で検索し、宛先を追加または削除するには、以下のページを参照してください。
P.58 「文字列を検索して宛先を追加または削除する」

8 新しいグループが作成され、タッチパネルの画面に表示されます。

設定/登録

登録/編集するグループを選択してください

グループ表示

001 Group01	内容表示	005 Group05	内容表示
002 Group02	内容表示	006 Group06	内容表示
003 Group03	内容表示	007 Group07	内容表示
004 Group04	内容表示	008 Group08	内容表示

ID 番号検索 グループ検索

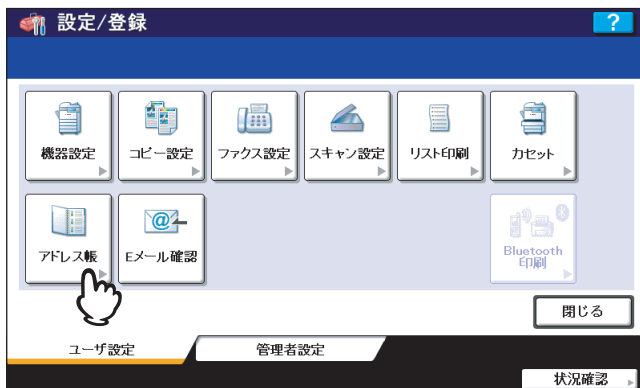
戻る 削除 編集 登録 状況確認

□ グループを編集する

アドレス帳のグループ名の変更や、グループの宛先の追加や削除を行います。

グループ名を編集する

1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



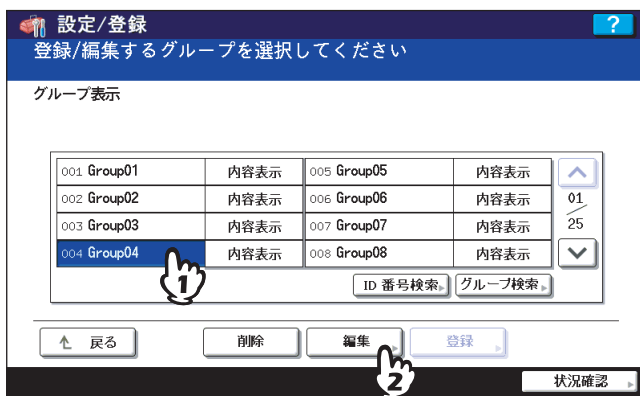
アドレス帳メニューが表示されます。

2 [グループ] を押します。



グループ表示画面が表示されます。

3 編集したいグループボタンを押して、[編集] を押します。

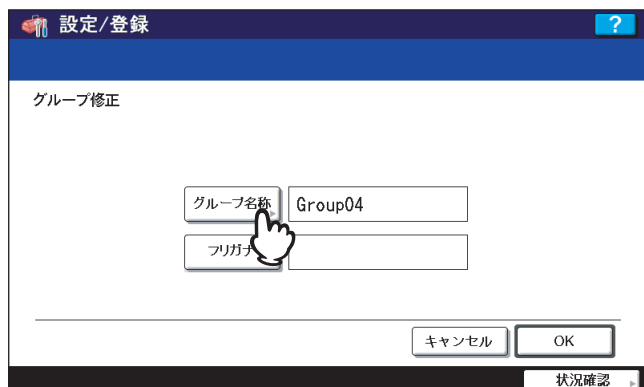


グループ編集画面が表示されます。

補足

タッチパネルに目的のグループがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

4 [グループ名称] を押します。



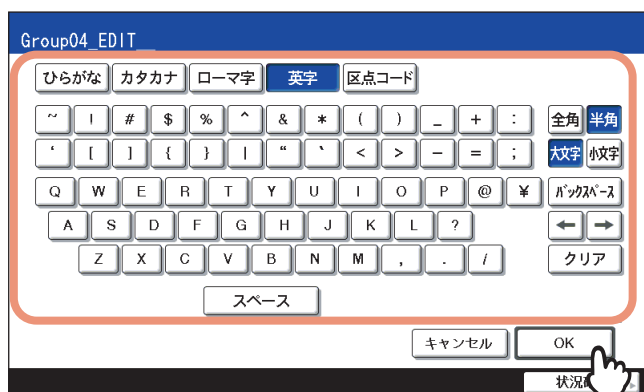
文字入力画面が表示されます。

グループ名称を変更しない場合は、[OK] を押し、手順7に進みます。

補足

必要に応じて、グループ名称のフリガナを入力できます。[フリガナ] を押し、表示されるカタカナ入力画面から入力してください。

5 文字入力画面およびテンキーからグループ名を入力し、[OK] を押します。



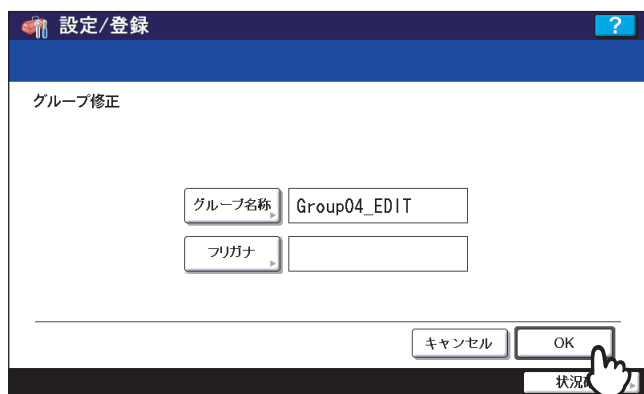
補足

文字入力のしかたの詳細は、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。

また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。

[P.225 「区点コード表」](#)

6 [OK] を押します。



グループメンバー確認画面が表示されます。

7 グループに登録されている宛先は、反転表示されます。

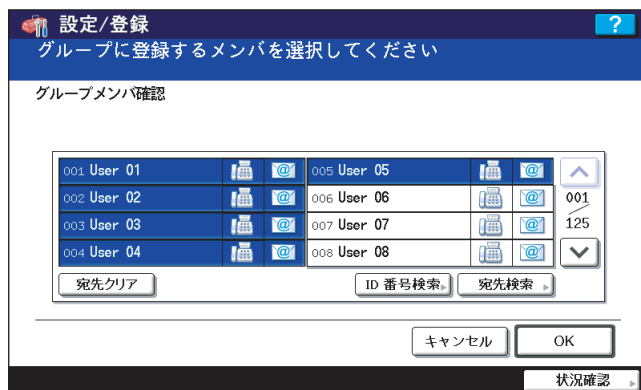




- 宛先を手動で選択し、追加または削除するには、以下のページを参照してください。
☞ P.56 「宛先を追加または削除する」
- ID番号で検索し、宛先を追加または削除するには、以下のページを参照してください。
☞ P.57 「ID番号を検索して宛先を追加または削除する」
- 文字列で検索し、宛先を追加または削除するには、以下のページを参照してください。
☞ P.58 「文字列を検索して宛先を追加または削除する」

8 [OK] を押して、編集した内容を保存します。

宛先を追加または削除する

- 1 反転表示されていない宛先を押し反転表示させると、グループに追加されます。反転表示されている宛先を押し反転表示を解除すると、グループから削除されます。



- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加する場合は、宛先名の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加する場合は、を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加する場合は、を押します。

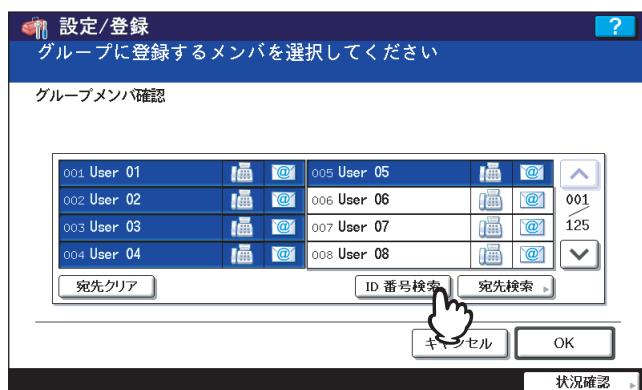
補足

- ↑ または ↓ を押すと、違うページの宛先が表示されます。
- [宛先クリア] を押すと、グループに登録されているすべての宛先が削除されます。

- 2 [OK] を押して、グループを保存します。

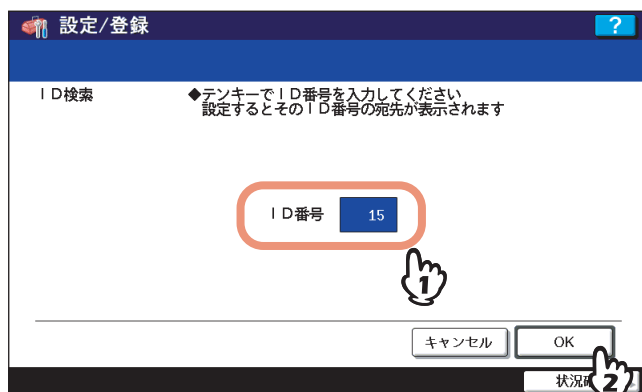
ID番号を検索して宛先を追加または削除する

1 [ID番号検索] を押します。

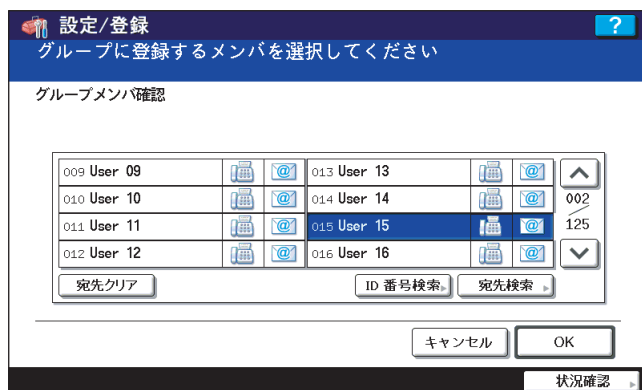




ID番号検索画面が表示されます。

2 テンキーでID番号を入力し、[OK] を押します。





3 検索した宛先がタッチパネルに表示されます。反転表示されていない宛先を押し反転表示させると、グループに追加されます。反転表示されている宛先を押し反転表示を解除すると、グループから削除されます。



- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加する場合は、宛先名の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加する場合は、 を押します。

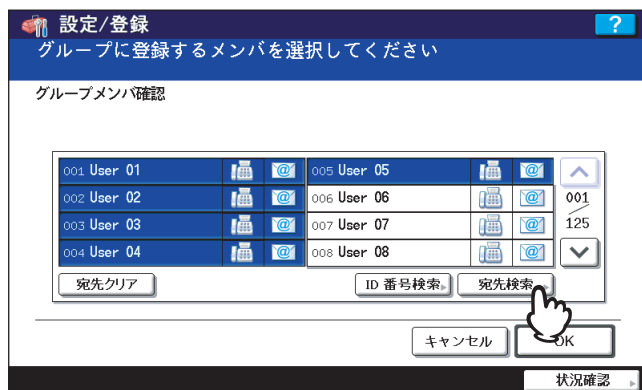
補足

-  または  を押すと、違うページの宛先が表示されます。
- [宛先クリア] ボタンを押すと、グループに登録されているすべての宛先が削除されます。

4 [OK] を押して、グループを保存します。

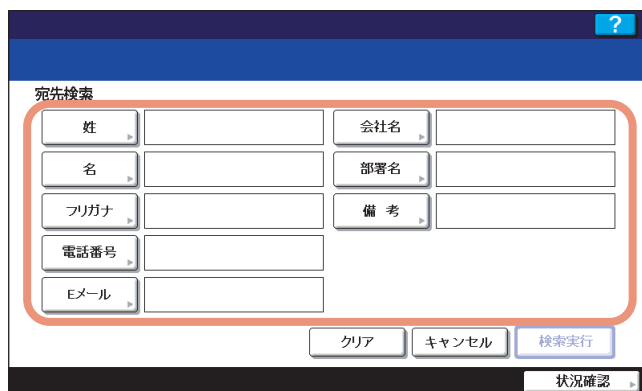
文字列を検索して宛先を追加または削除する

1 【宛先検索】 を押します。



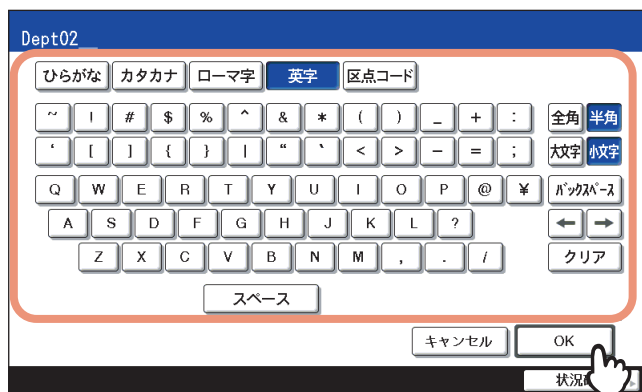
宛先検索画面が表示されます。

2 検索文字を入力する項目のボタンを押します。



各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。

3 文字入力画面およびテンキーから検索する文字、文字列を入力し、【OK】 を押します。



補 足



- 指定された項目欄に検索文字を含む宛先の検索を行います。
- 文字入力のしかたの詳細は、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。
また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
[P.225 「区点コード表」](#)

4 必要な項目の検索文字列を指定したら、[検索実行] を押します。



補足

入力した検索文字列をクリアしたい場合は、[クリア] を押します。

5 検索した宛先がタッチパネルに表示されます。反転表示されていない宛先を押し反転表示させると、グループに追加されます。反転表示されている宛先を押し反転表示を解除すると、グループから削除されます。

- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加する場合は、宛先名の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加する場合は、 を押します。

補足

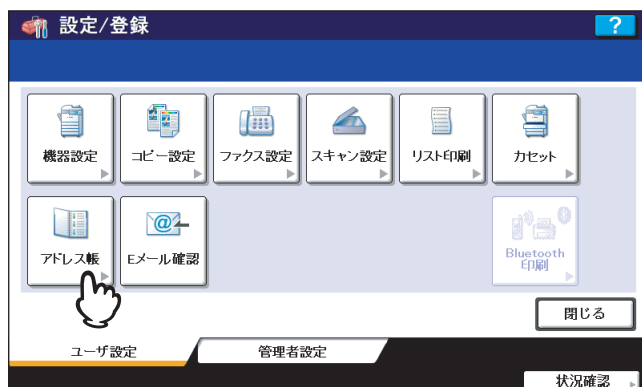
検索された宛先が1ページに収まりきれない場合は、 または  を押してページを切り替えます。

6 [OK] を押して、グループを保存します。

□ グループを削除する

アドレス帳のグループを削除します。

1 ユーザ設定メニューの【アドレス帳】を押します。



アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

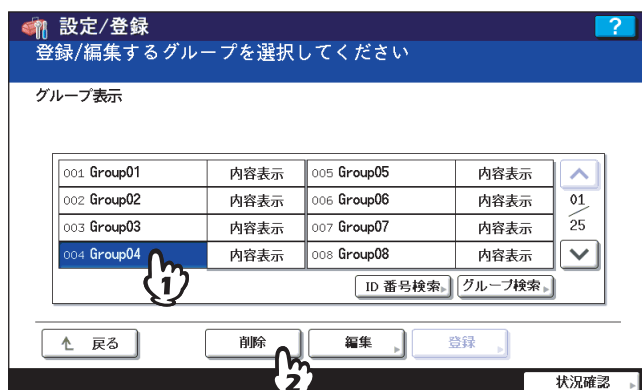
📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 【グループ】を押します。



グループ表示画面が表示されます。

3 削除したいグループボタンを押して、【削除】を押します。

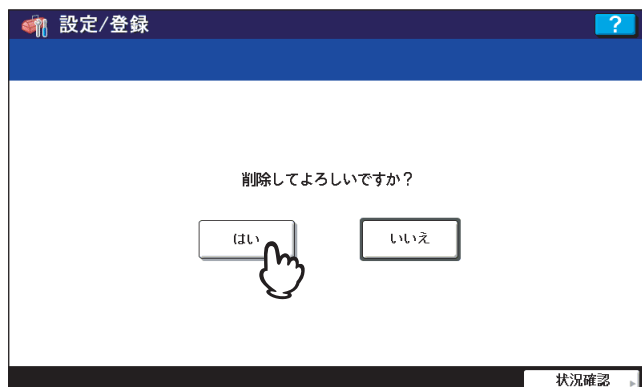


削除の確認画面が表示されます。

補足

タッチパネルに目的のグループがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

4 [はい] を押します。



選択したグループが削除されます。

補足

削除を中止する場合は、[いいえ] を押してください。

□ グループを検索する

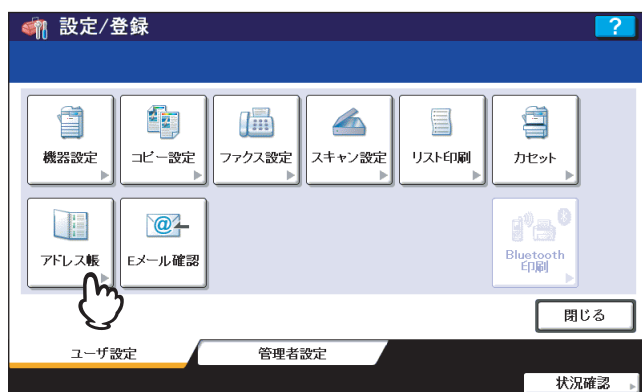
アドレス帳のグループを検索します。目的のグループを探すときに便利な機能です。検索する方法は、以下の2つの方法があります。

📖 P.61 「ID番号でグループを検索する」

📖 P.63 「グループ名でグループを検索する」

ID番号でグループを検索する

1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

2 [グループ] を押します。



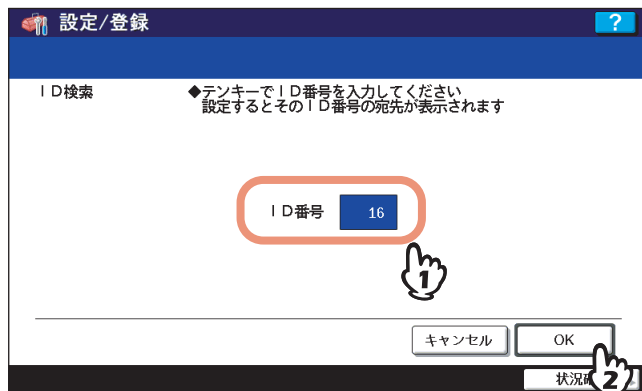
グループ表示画面が表示されます。

3 [ID番号検索] を押します。

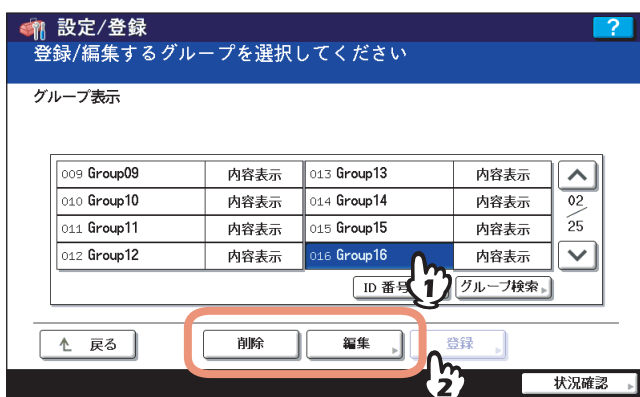


ID番号検索画面が表示されます。

4 テンキーからID番号を入力し、[OK] を押します。



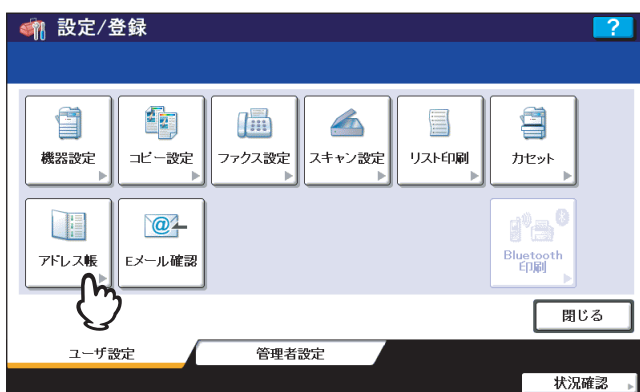
- 5 検索条件に合致したグループの画面に移動します。グループボタンを押し、[編集] を押し てグループの情報を編集します。または、[削除] を押してグループを削除します。



グループの編集手順については、以下のページを参照してください。
 P.54 「グループを編集する」

グループ名でグループを検索する

- 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳メニューが表示されます。

補足

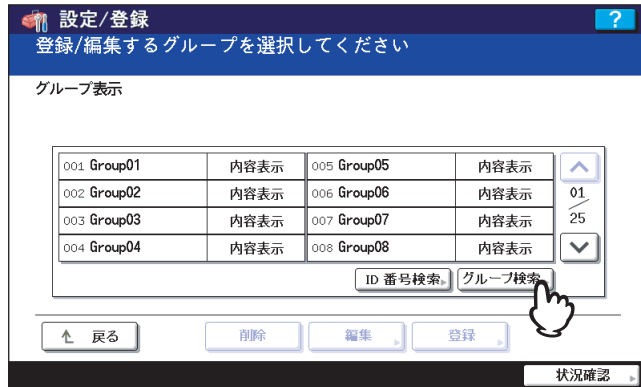
ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

- 2 [グループ] を押します。



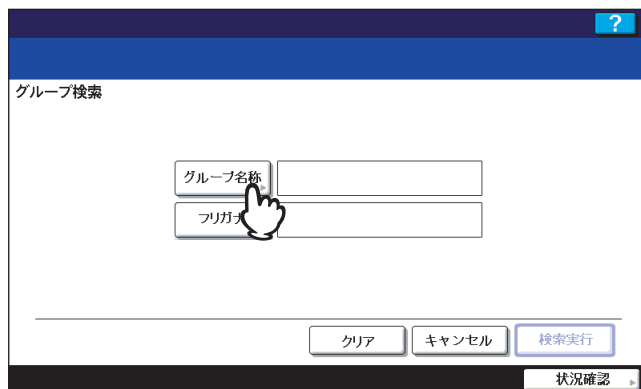
グループ表示画面が表示されます。

3 [グループ検索] を押します。



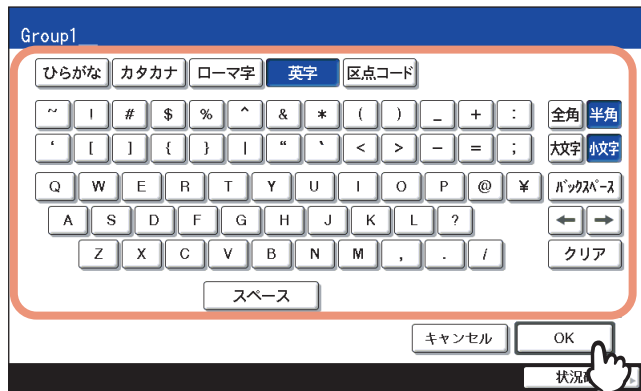
グループ検索画面が表示されます。

4 [グループ名称] を押します。



文字入力画面が表示されます。

5 文字入力画面およびテンキーから検索する文字、文字列を入力し、[OK] を押します。



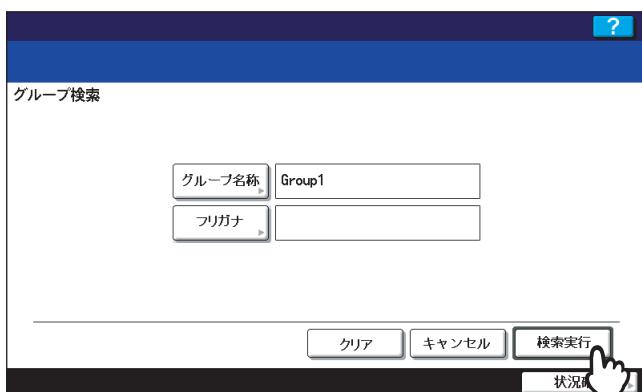
補 足

文字入力のしかたの詳細は、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。

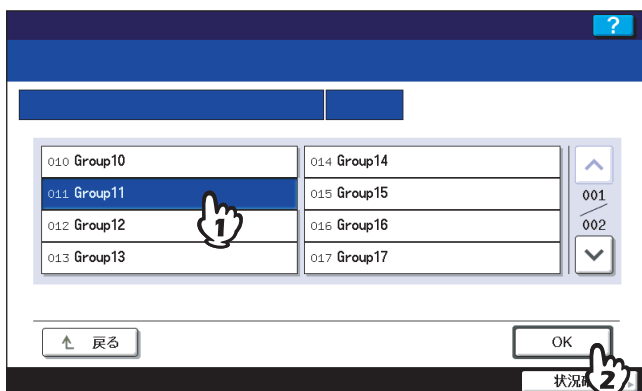
また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。

[P.225 「区点コード表」](#)

- 6 グループ名称にフリガナが入力されている場合には、フリガナも入力し、[検索実行] を押します。



- 7 検索されたグループが画面に表示されます。目的のグループボタンを押し、[OK] を押してグループの情報を編集します。

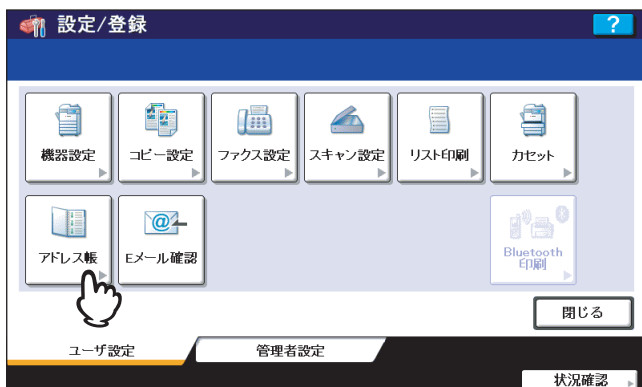


グループの編集手順については、以下のページを参照してください。
[P.54 「グループを編集する」](#)

□ グループメンバを確認する

グループに登録されている宛先を確認します。

- 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳メニューが表示されます。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

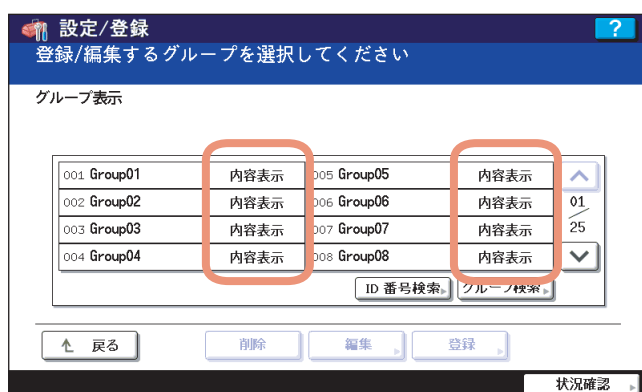
[P.8 「ユーザ設定メニューに入る」](#)

2 [グループ] を押します。



グループ表示画面が表示されます。

3 メンバを確認したいグループボタンの [内容表示] を押します。



グループメンバ確認画面が表示されます。



補足

1つの宛先にファクス番号とEメールアドレスの両方を登録してある場合は、ファクス番号の後にEメールアドレスが表示されます。

Eメール確認

ユーザ設定メニューの [Eメール確認] を押すと、POP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）があるかどうか確認します。

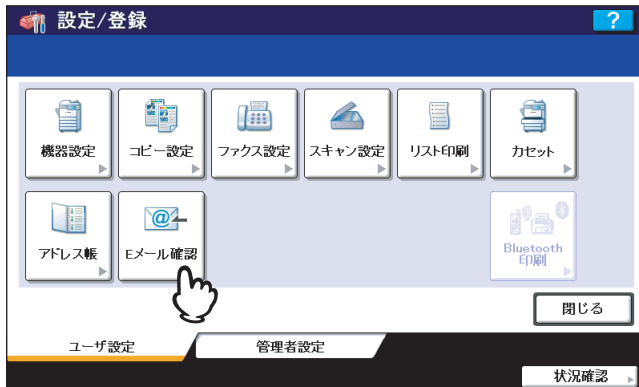
注意

この操作を行うには、TopAccess からPOP3サーバーの設定を行ってください。POP3サーバーの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

補足

自動的にPOP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）を確認することもできます。

1 ユーザ設定メニューの [Eメール確認] を押します。



POP3サーバーと通信を始めます。新着のEメールがPOP3サーバーにある場合は、Eメールデータを取り出して自動的に印刷します。

補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

Bluetooth BIP

Bluetoothモジュール（オプション）がインストールされている場合は、[Bluetooth BIP] からBluetoothのBIP印刷設定を行うことができます。Bluetooth BIP設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。

設定項目（管理者設定）

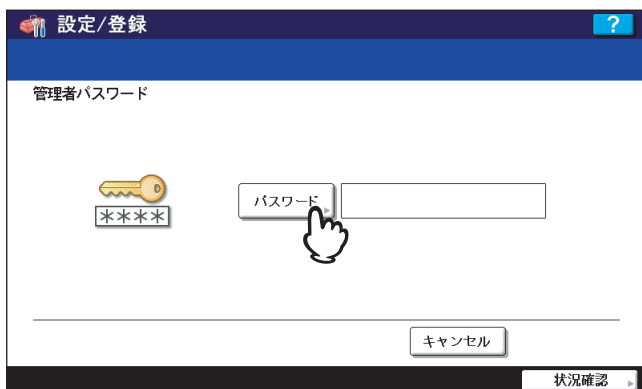
管理者設定メニューに入る	71
機器設定	73
機器情報	73
メール通知	75
管理者パスワードの変更	77
日付／時刻	79
節電モード	81
表示レベル	87
ポップアップ	88
ステータスメッセージ	89
自動階調補正	90
位置合わせ	95
パネルキャリブレーション	97
オプション	99
ネットワーク設定	100
TCP/IPの設定（IPv4）	100
TCP/IPの設定（IPv6）	104
IPX/SPXの設定	112
NetWare設定	114
SMBの設定	116
AppleTalkの設定	118
HTTPの設定	120
Ethernetの設定	122
LDAP、SNMPおよびフィルタリング機能の設定	123
IPセキュリティの設定	125
ユーザ証明書の復号	127
ネットワーク状態確認	129
コピー設定	132
ファクス設定	134
記録モードの設定	134
ファイル設定	136
Eメール設定	137
インターネットファクス設定	139
セキュリティ設定	141

レポート出力設定	143
リスト印刷	149
プリンタ／ファイリングボックス設定	150
無線LAN／Bluetooth	151
ユーザパスワード変更	152
IEEE 802.1X認証設定	153
802.1X認証をセットアップする	153

管理者設定メニューに入る

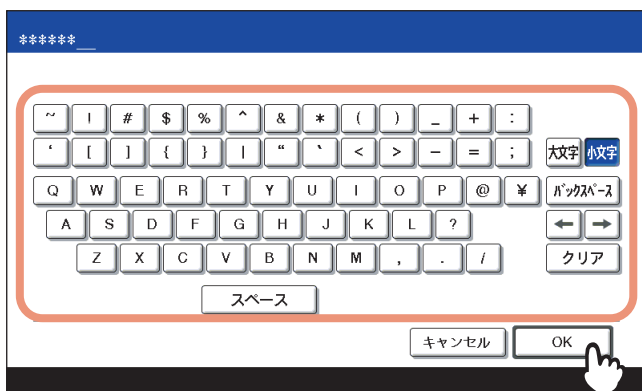
管理者設定メニューを表示するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

- 1 [設定/登録] ボタンを押して、設定/登録メニューに入ります。
- 2 [管理者設定] タブを押します。
管理者パスワード画面が表示されます。
- 3 [パスワード] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

- 4 文字入力画面およびテンキーで管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。



管理者設定メニューが表示されます。

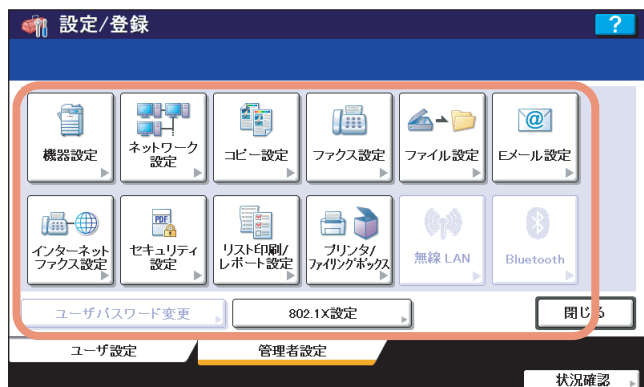
補足

管理者パスワードを変更したことがない場合は、工場出荷時のパスワード「123456」を入力します。

注意

誤ったパスワードを3回続けて入力すると、30秒間本機の操作ができなくなります。この場合には、30秒間待ち、操作可能になったらパスワードを再度入力してください。

5 必要な管理者操作を続けて行います。



- 📖 P.73 「機器設定」
- 📖 P.100 「ネットワーク設定」
- 📖 P.132 「コピー設定」
- 📖 P.134 「ファクス設定」
- 📖 P.136 「ファイル設定」
- 📖 P.137 「Eメール設定」
- 📖 P.139 「インターネットファクス設定」
- 📖 P.141 「セキュリティ設定」
- 📖 P.143 「レポート出力設定」
- 📖 P.149 「リスト印刷」
- 📖 P.150 「プリンタ/ファイリングボックス設定」
- 📖 P.151 「無線LAN/Bluetooth」
- 📖 P.152 「ユーザーパスワード変更」
- 📖 P.153 「IEEE 802.1X認証設定」

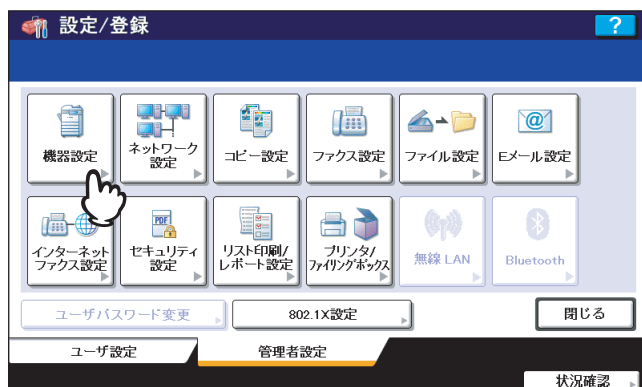
注意

- 無線LANモジュール（オプション）が装着されている場合は、[無線LAN] から無線LANの設定を行えます。無線LAN設定については、**GN-1050無線LANモジュール取扱説明書**を参照してください。
- Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合は、[Bluetooth] からBluetoothの設定を行えます。Bluetooth設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。

■ 機器情報

機器情報を設定します。ここで設定した情報は、TopAccessの装置ページに表示されます。

1 管理者設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

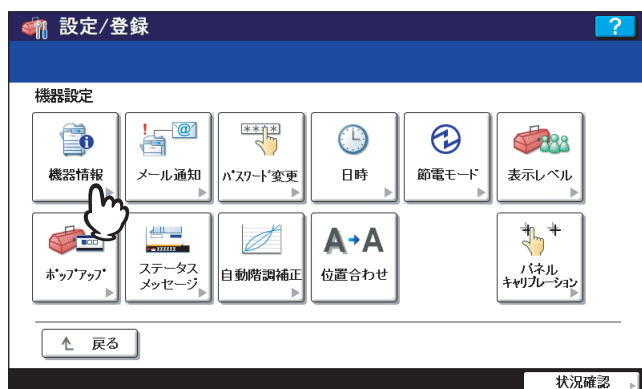
補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

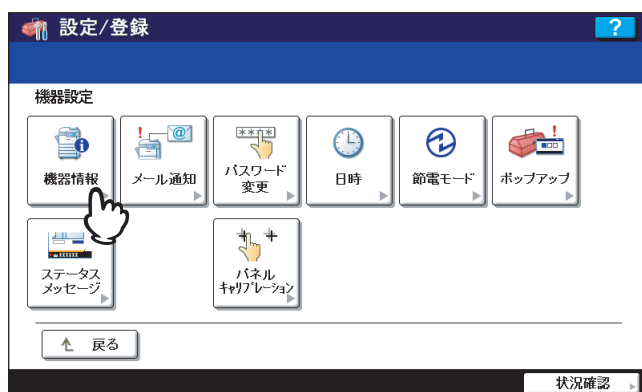
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [機器情報] を押します。

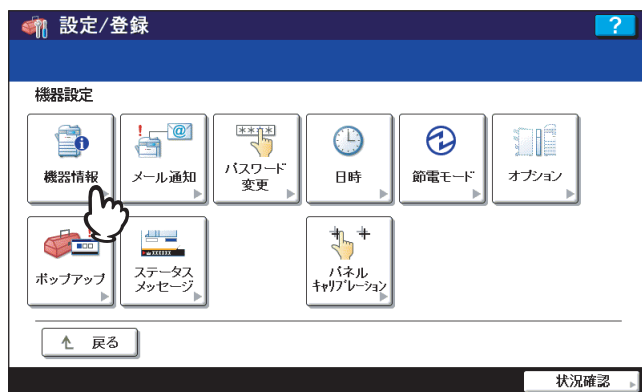
e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合

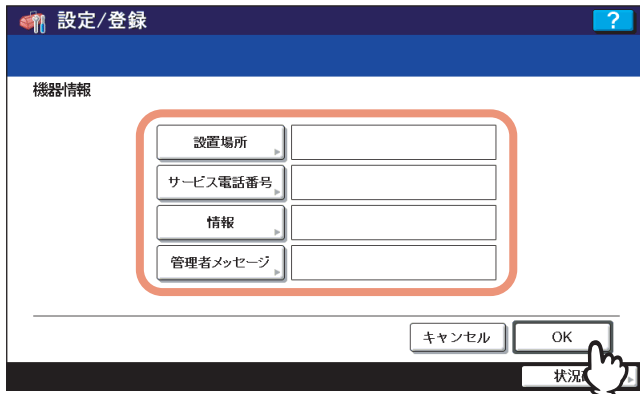


e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



機器情報画面が表示されます。

3 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



- [設置場所]：設置場所を入力します。
- [サービス電話番号]：サービス連絡先を入力します。
- [情報]：サービス連絡先の担当者を入力します。
- [管理者メッセージ]：管理者のメッセージを入力します。

補足

上記のボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って入力し [OK] を押して確定します。ただし、[サービス電話番号] を入力する場合は、テンキーを使用して電話番号を入力してください。

■ メール通知

用紙切れ、サービスマンコールなど本機に特定のイベントが発生したときに、通知メッセージをEメールで通知します。通知メッセージの宛先には、最大3か所のEメールアドレスを指定することができます。

補足

メール通知を行うイベントはTopAccessから設定します。設定方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

この機能を有効にするには、ご利用のネットワークにSMTPサーバーが必要です。また、インターネット通信ができるように、正しく設定されている必要があります。

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。

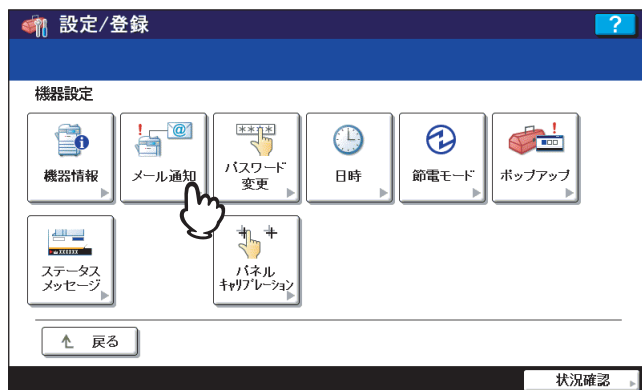


機器設定メニューが表示されます。

補足

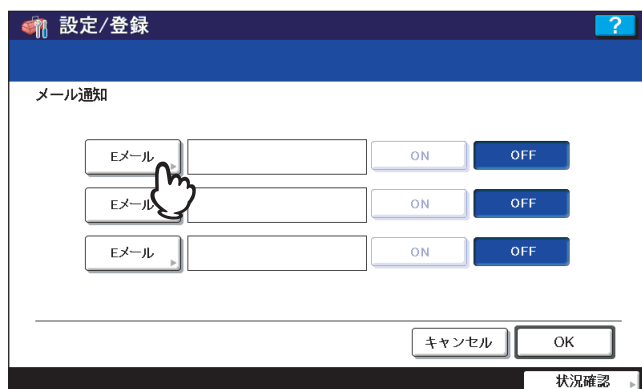
管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [メール通知] を押します。



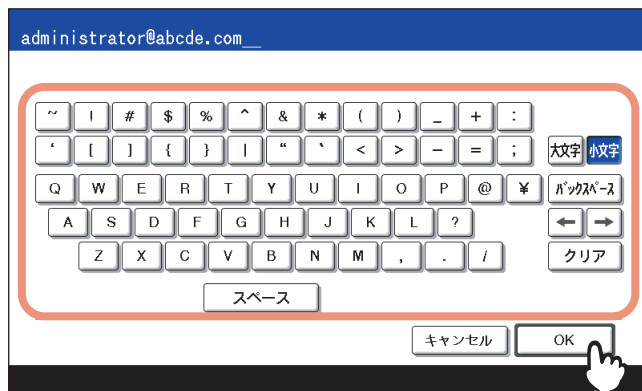
メール通知画面が表示されます。

3 [Eメール] を押します。



入力画面が表示されます。

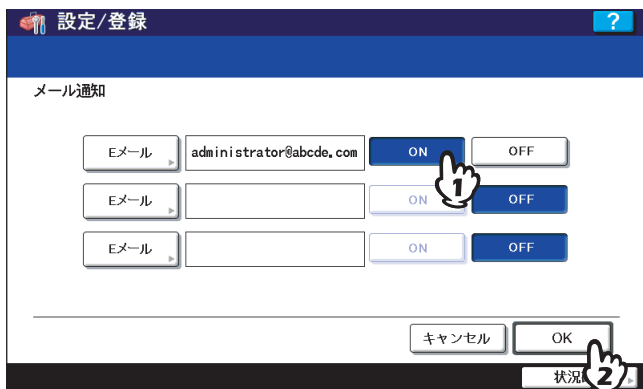
4 通知を送るEメールアドレスを入力し、[OK] を押します。



補足

必要に応じて3か所のEメールアドレスまで指定することができます。通知を有効にするときは、最低1か所のアドレスを入力してください。

5 通知を有効にするEメールアドレス欄の [ON] を押し、[OK] を押します。



通知を無効にする場合は、[OFF] を押します。

注意

[ON] はEメールが入力されている欄のみ選択することができます。

■ **管理者パスワードの変更**

管理者パスワードを変更します。

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。



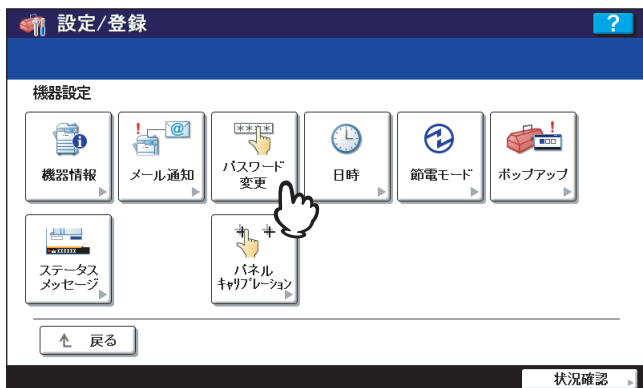
機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

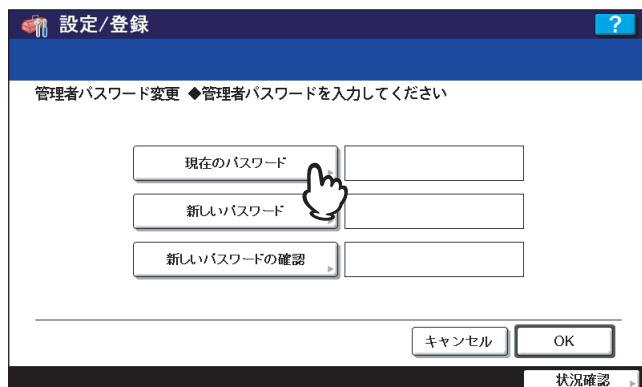
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [パスワード変更] を押します。



管理者パスワードの変更画面が表示されます。

3 [現在のパスワード] を押します。



入力画面が表示されます。

4 文字入力画面およびテンキーで、現在のパスワードを入力し、[OK] を押します。



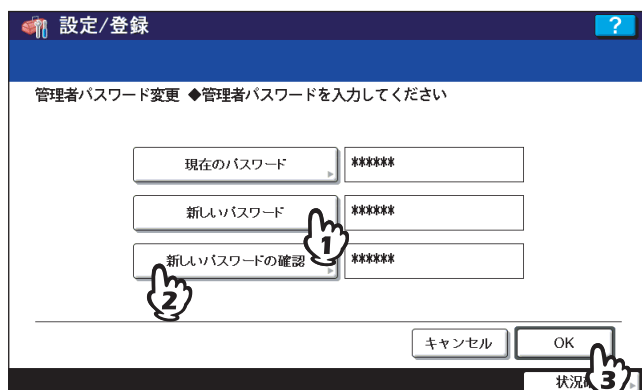
入力したパスワードは、*（アスタリスク）で表示されます。

補足

はじめて管理者パスワードを変更する場合は、初期設定の管理者パスワード「123456」を入力します。

5 新しいパスワードを設定し、保存します。

- 1) [新しいパスワード] を押し、新しいパスワードを入力します。
- 2) [新しいパスワードの確認] を押し、新しいパスワードを再度入力します。
- 3) [OK] を押します。



補足

[新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認] を押しと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

注意

管理者パスワードは、6文字～10文字の英数文字を入力します。シンボル文字を入力することはできません。

■ 日付／時刻

テンキーで現在の日付、時刻を入力して、本機内部時計の時刻合わせを行います。

1 管理者設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 【日時】を押します。



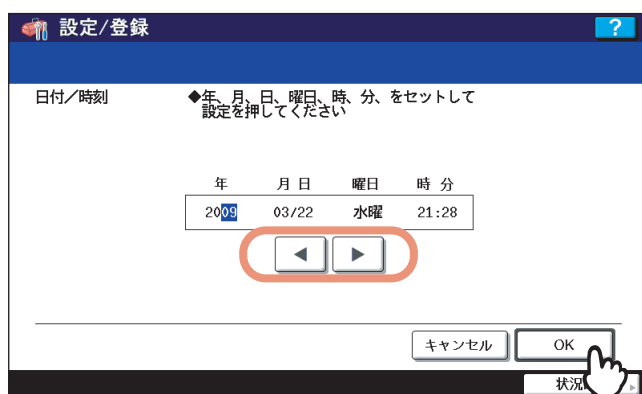
日時メニューが表示されます。

3 【日付/時刻】を押します。



- 日付フォーマットだけを変更したい場合は、手順5に進みます。
- 【日付/時刻】を押すと、日付／時刻画面が表示されます。

- 4 矢印ボタンを使って変更したい箇所を反転表示しテンキーで入力したら、[OK] を押します。



日時メニューに戻ります。

補 足

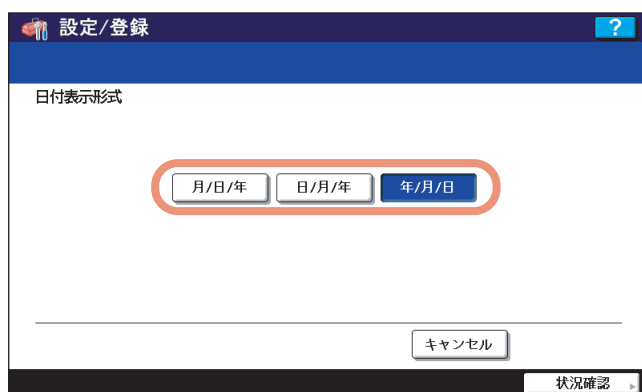
年/月/日のいずれかの値を変更すると、曜日は自動的に設定されます。

- 5 [日付表示形式] を押します。



日付表示形式画面が表示されます。

- 6 目的の日付フォーマットボタンを押します。



■ 節電モード

このメニューでは、以下の節電モードを設定できます。

・ ウィークリータイマー

この機能を設定すると、本機を自動的にオフモード（自動オフモードまたはスリープモード／スーパースリープモード）に移行させることができます。たとえば、始業時刻、終業時刻に合わせてタイマを設定すると、本機は設定時刻に自動的にオフモード（自動オフモードまたはスリープモード／スーパースリープモード）に移行します。

補 足

ウィークリータイマーで自動オフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）にある本機を復帰させるには、操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

注 意

主電源スイッチをオフにした場合は、ウィークリータイマーは動作しません。

・ 自動節電モード

この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機を節電（低電力）モードに移行させることができます。

・ 自動オフモード

この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機をオフモード（待機時に不要な部分への通電を遮断）に移行させることができます。

注 意

[自動オフモード] は、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesに適用されます。

・ スリープモード／スーパースリープモード

この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機をスリープモードまたはスーパースリープモードに移行させることができます。スリープモード／スーパースリープモードでは、本機の待機時に不要な部分への通電を遮断します。節電モード設定では、スーパースリープモードの消費電力が一番小さくなり、スリープモード、自動節電モードの順に待機時の消費電力が大きくなります。

補 足

[スリープモード／スーパースリープモード] は、e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesに適用されます。節電モードの種類や移行手順については、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。



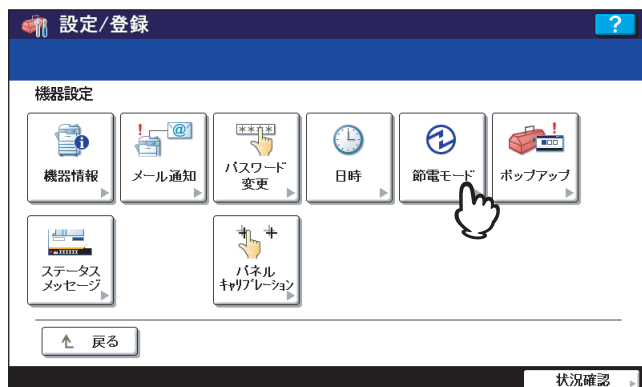
機器設定メニューが表示されます。

補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

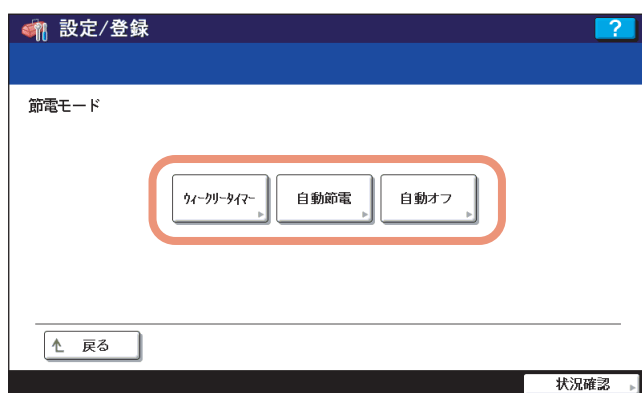
2 「節電モード」を押します。



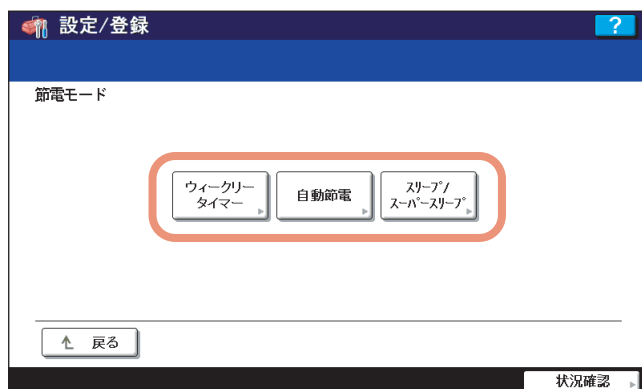
節電モードメニューが表示されます。

3 設定したい節電モードに応じて、操作を続けます。

e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



📖 P.83 「ウィークリータイマーを設定する」

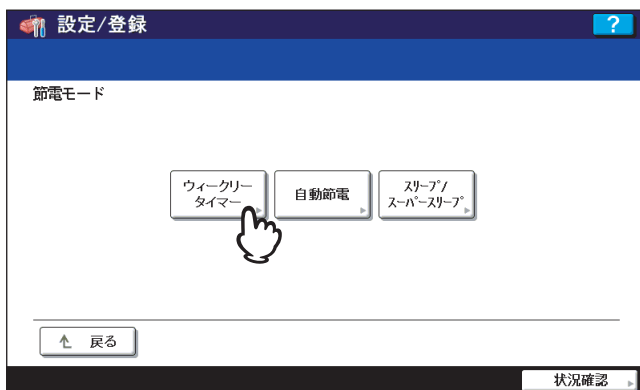
📖 P.84 「自動節電モードを設定する」

📖 P.85 「自動オフモードを設定する (e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Series)」

📖 P.86 「スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する (e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Series)」

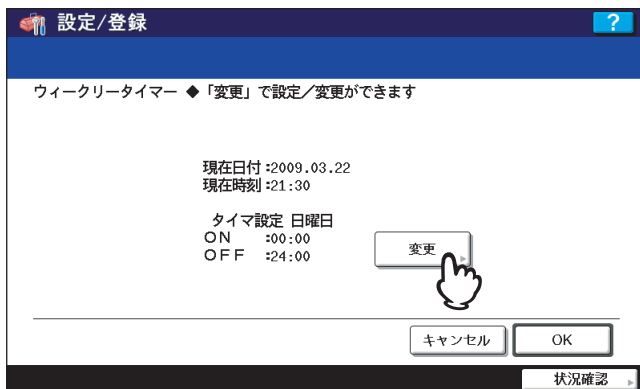
ウィークリータイマーを設定する

1 [ウィークリータイマー] を押します。



ウィークリータイマーの設定画面が表示されます。

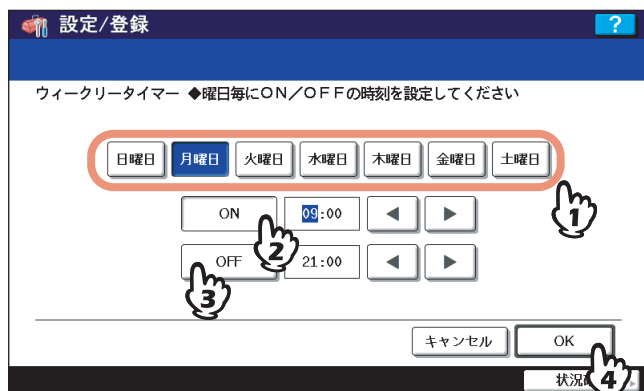
2 画面の設定を確認し、変更する必要がある場合は [変更] を押します。



変更がなければ、[OK] を押して終了します。

3 ウィークリタイマーを設定します。

- 1) 目的の曜日ボタンを押します。
- 2) [ON] を押し、自動オフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）から復帰する時刻をテンキーから入力します。
時間と分の切り替えは、矢印ボタンで行ってください。
- 3) [OFF] を押し、自動オフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）に入る時刻をテンキーから入力します。
時間と分の切り替えは、矢印ボタンで行ってください。
- 4) [OK] を押し、設定を保存します。

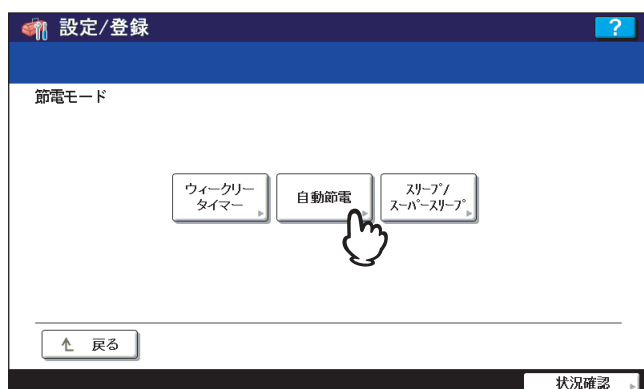


補足

- 入力した時刻をクリアしたい場合は、操作パネルの [クリア] ボタンを押します。
- 本機を終日オフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）にする場合は、ON/OFFとも同じ時刻を入力してください。
例) [日曜日] に [ON] : 0 : 00、[OFF] : 0 : 00を設定した場合
本機は、土曜日のオフ時刻として指定された時刻に自動的にオフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）に移行し、月曜日の復帰時刻として指定された時刻までオフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）を継続します。
- 本機を終日オフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）に移行させたくない場合は、目的の曜日に以下の設定を行ってください。
[ON] : 0 : 00 / [OFF] : 24 : 00
本機は、終日ウィークリタイマー機能によるオフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）には移行しません。ただし、一定時間使用されない場合には、[自動オフ]（または [スリープ/スーパースリープ]）で設定された時間に従って、自動的にオフモード（またはスリープモード／スーパースリープモード）に移行します。

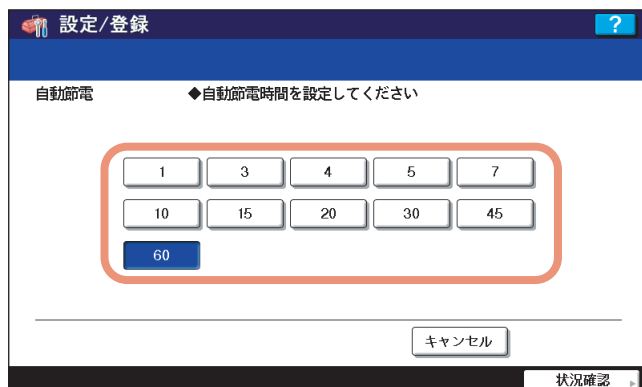
自動節電モードを設定する

1 [自動節電] を押します。



自動節電の設定画面が表示されます。

2 自動節電に移行するまでの時間 (分) のボタンを押します。



自動節電の設定が保存されます。

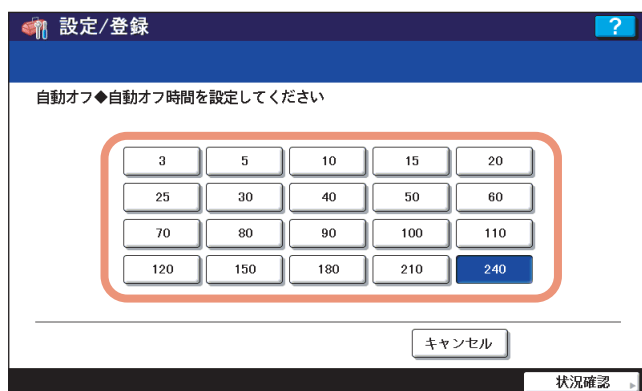
自動オフモードを設定する (e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Series)

1 [自動オフ] を押します。



自動オフの設定画面が表示されます。

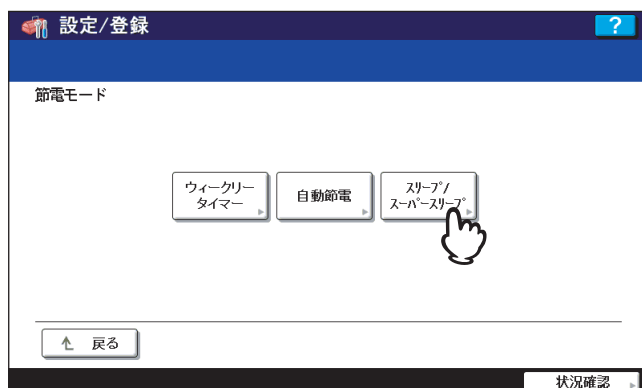
2 自動オフモードに移行するまでの時間 (分) のボタンを押します。



自動オフモードの設定が保存されます。

スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する (e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Series)

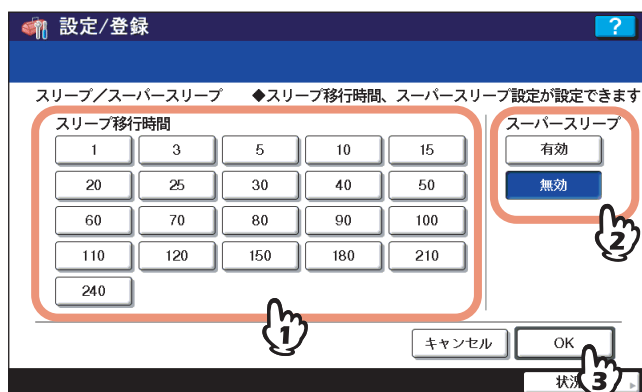
1 [スリープ/スーパースリープ] を押します。



スリープ/スーパースリープの設定画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、設定内容を保存します。

- 1) スリープモード/スーパースリープモードに移行するまでの時間（分）のボタンを押します。
- 2) 本機をスリープモードに移行させるか、スーパースリープモードに移行させるかを設定します。[有効] を押すと、スーパースリープモードに移行します。
- 3) [OK] を押します。



注意

- 本機の動作状態によっては、設定時間どおりに移行しない場合があります。
- 以下のオプション機器が装着されている場合、[スーパースリープ] を [有効] にしてもスーパースリープモードには移行しません。
 - 無線LANモジュール
 - Bluetoothモジュール
 - データ消去オプション
 - e-BRIDGE ID Gate
- 以下の機能が有効な場合、[スーパースリープ] を [有効] にしてもスーパースリープモードには移行しません。
 - IPsec機能（オプション）
 - FAXユニット（オプション）装着時のダイヤルイン機能
- 本機をスーパースリープモードから復帰させるためのプロトコル設定は、TopAccess の管理者モードから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

■ 表示レベル

自動階調補正と位置合わせの各操作をユーザ設定メニューでユーザに許可するか、管理者設定メニューで管理者が操作するかを設定します。

自動階調補正と位置合わせの操作ボタン（[自動階調補正]、[位置合わせ]）は、ここでの設定に従い、ユーザ設定メニューまたは管理者設定メニューに表示されます。

このメニューは、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

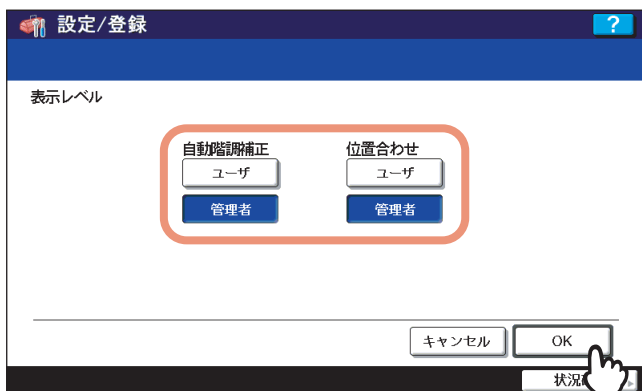
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [表示レベル] を押します。



表示レベル画面が表示されます。

3 ユーザ設定メニューに表示する場合は [ユーザ] を、管理者設定メニューに表示する場合は [管理者] を押し、[OK] を押します。



自動階調補正および位置合わせの操作権限の設定が保存されます。

■ ポップアップ

カセットを引き出すたびに用紙サイズを変更するかどうかのメッセージを表示するかや、紙づまり解除後に印刷を継続するかどうかのメッセージを表示するかを設定します。

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。



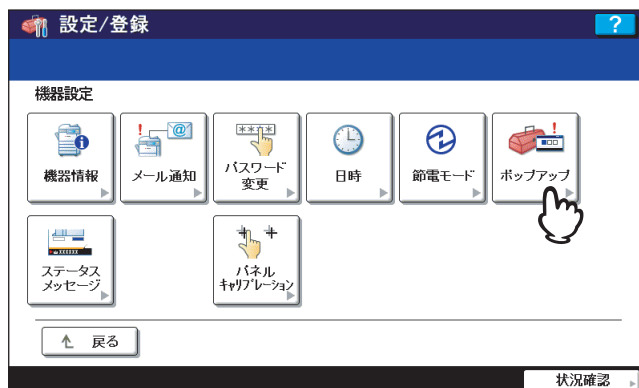
機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

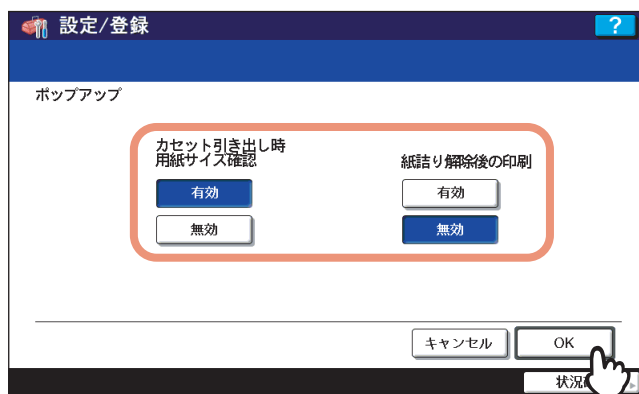
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [ポップアップ] を押します。



ポップアップ画面が表示されます。

3 各項目の [有効] または [無効] を押し、[OK] を押します。



カセット引き出し時 用紙サイズ確認：有効にすると、カセットを抜き差ししたときに、用紙サイズの設定を変更するかを確認するメッセージが表示されます。

紙詰り解除後の印刷：有効にすると、紙づまりを解除したときに、「印刷を中止しますか？」と確認メッセージが表示され、[いいえ] を押すと印刷が再開されます。

■ ステータスメッセージ

用紙切れ、トナーニアンプティなど本機に特定のイベントが発生したときに、タッチパネルの下部にメッセージを表示します。

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [ステータスメッセージ] を押します。



ステータスメッセージ画面が表示されます。

3 各項目の [ON] または [OFF] を押し、[OK] を押します。



トナー切れ事前通知：有効にすると、各トナーカートリッジのトナーが少なくなったときにタッチパネルにメッセージを表示します。

用紙切れ通知：有効にすると、各カセットの用紙がなくなったときにタッチパネルにメッセージを表示します。

■ 自動階調補正

画像の濃淡や色合いがずれて、思うようにコピーや印刷ジョブのカラー調整ができなくなったときに、自動的に本機の色階調を補正します。

このメニューは、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

注意

- 管理者設定メニューの自動階調補正は、表示レベルの自動階調補正の設定を「管理者」に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。
P.87 「表示レベル」
- 補正を行う前に、A4またはLTサイズ用の紙（推奨用紙）をカセットにセットします。他の用紙サイズでは補正を操作することはできません。
- ガラス面の汚れやガラス面への異物の付着などにより、正しく補正が行われない場合があります。ガラス面の清掃を定期的に行ってください。
- 補正実行中は原稿カバー（または自動両面原稿送り装置）を持ち上げたり、前面カバーを開けたりしないでください。正しく補正されません。
- 補正実行中の割り込みコピーはできません。
- ひんぱんに色合いがずれる場合は、弊社サービスエンジニアにご相談ください。

1 カセットに階調補正に使用したい用紙をセットします。

本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。

2 管理者設定メニューの「機器設定」を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

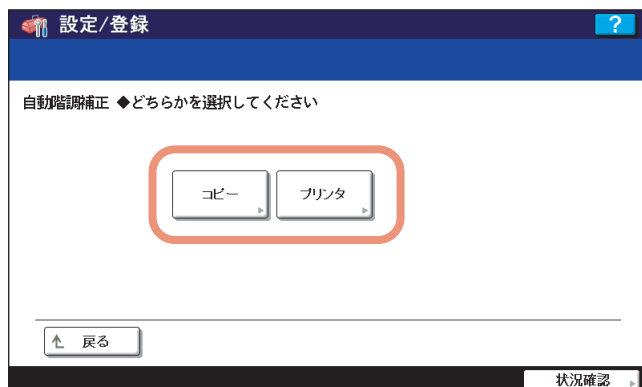
P.71 「管理者設定メニューに入る」

3 「自動階調補正」を押します。



自動階調補正メニューが表示されます。

4 実行したい階調補正操作に応じて、操作を続けます。



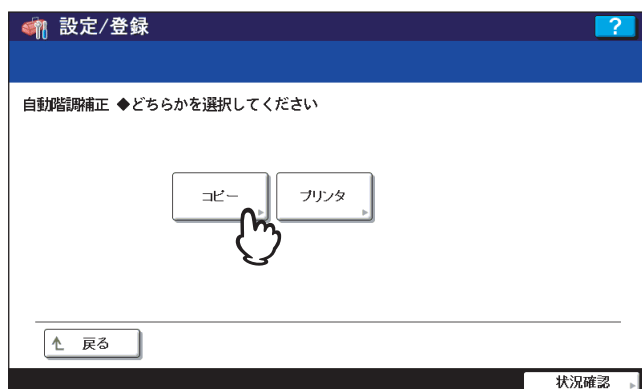
- 📖 P.91 「コピー自動階調補正を操作する」
- 📖 P.93 「プリンタ自動階調補正を操作する」

補足

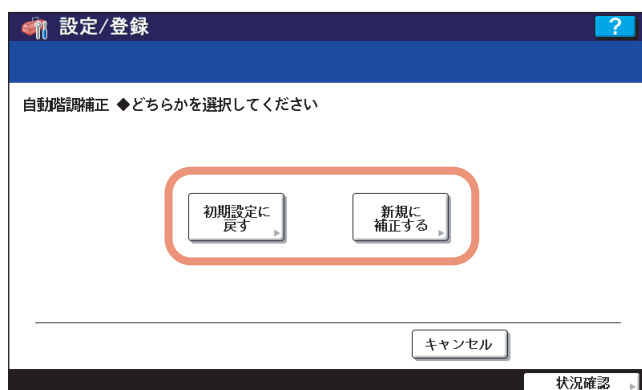
e-STUDIO6530C Seriesをお使いの場合は、[プリンタ]の代わりに[600dpi印刷]および[1200dpi印刷]が表示されます。

コピー自動階調補正を操作する

1 [コピー] を押します。

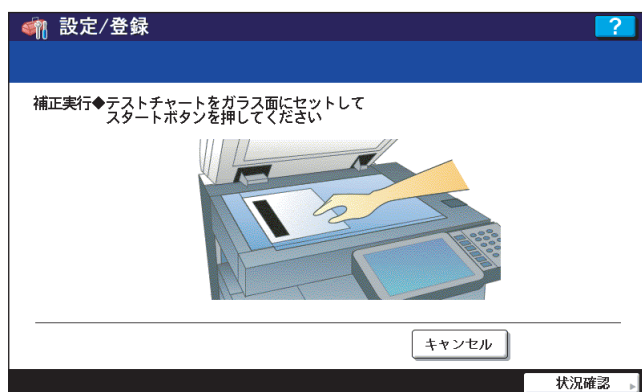


2 [初期設定に戻す] を押して初期設定に補正するか、[新規に補正する] で補正設定を調整します。



- [初期設定に戻す] を押すと、システムは初期設定の補正レベルにセットし、前の画面に戻ります。
- [新規に補正する] を押すと、チャートを印刷し、タッチパネルに補正ガイドのイラストが表示されます。[新規に補正する] を押した場合は、次の手順に進みます。

- 3 チャートは印刷面を下向きに黒い長方形（2個）が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。



- 4 操作パネルの「スタート」ボタンを押します。

補正を開始します。「補正中です」という表示がタッチパネルから消え、補正が完了するまで本機を操作しないでください。

注意

チャートのセットがずれていると、タッチパネルに「正しくチャートをセットしてください」と表示されます。その場合には、手順3に戻ってチャートをセットし直してください。

プリンタ自動階調補正を操作する

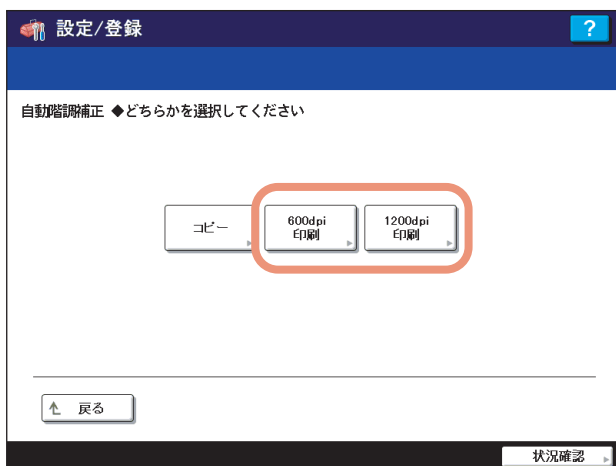
1 必要に応じて、下記のボタンを押します。

e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



[プリンタ] を押します。

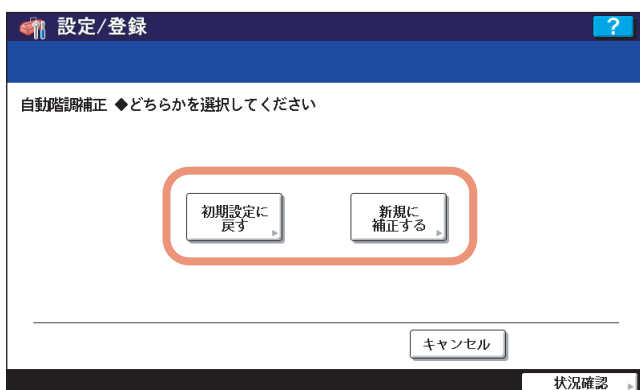
e-STUDIO6530C Seriesをお使いの場合



下記のいずれかのボタンを押します。

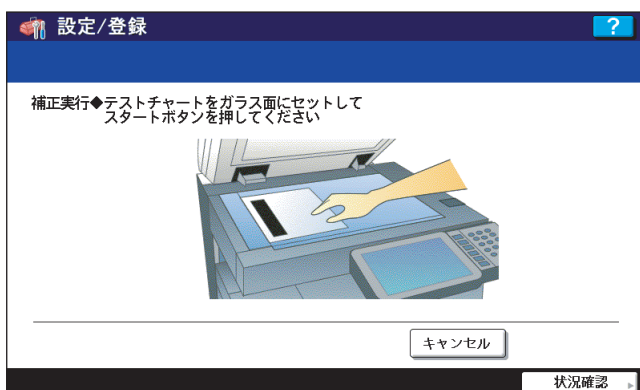
- [600dpi印刷]
600dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。
- [1200dpi印刷]
1200dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。

2 [初期設定に戻す] を押して初期設定に補正するか、[新規に補正する] で補正設定を調整します。



- [初期設定に戻す] を押すと、システムは選択したジョブタイプを初期設定の補正レベルにセットし、前の画面に戻ります。
- [新規に補正する] を押すと、チャートを印刷し、タッチパネルに補正ガイドのイラストが表示されます。[新規に補正する] を押した場合は、次の手順に進みます。

3 チャートは印刷面を下向きに黒い長方形（2個）が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。



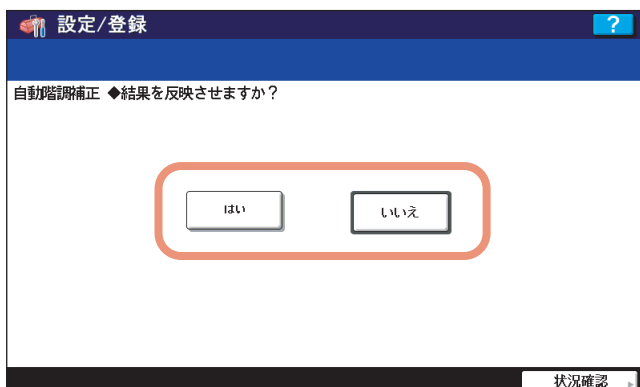
4 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

印刷されたチャートをスキャンすると、タッチパネルに「結果を反映させますか？」と表示されます。

注意

チャートのセットがずれていると、タッチパネルに「正しくチャートをセットしてください」と表示されます。その場合には、手順3に戻ってチャートをセットし直してください。

5 プリンタ自動階調補正を適用する場合は、[はい] を押します。適用せずにキャンセルする場合は、[いいえ] を押します。



■ 位置合わせ

色ズレが発生したときに、位置を補正します。

このメニューは、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

注意

管理者設定メニューの位置合わせは、表示レベルの位置合わせの設定を [管理者] に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。

📖 P.87 「表示レベル」

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

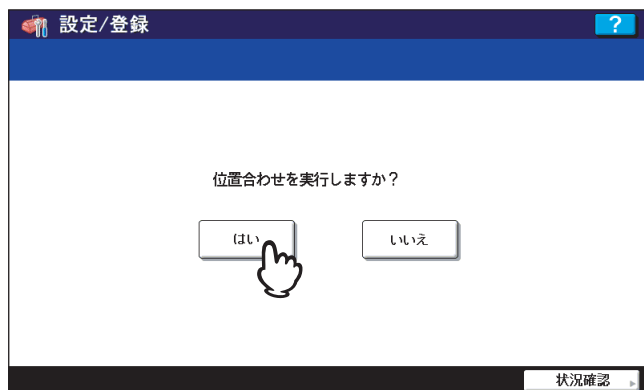
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [位置合わせ] を押します。



位置合わせ画面が表示されます。

3 【はい】を押します。



位置合わせ処理を開始します。

■ パネルキャリブレーション

タッチパネル上のボタンが押しにくいときに、位置を補正します。

1 管理者設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

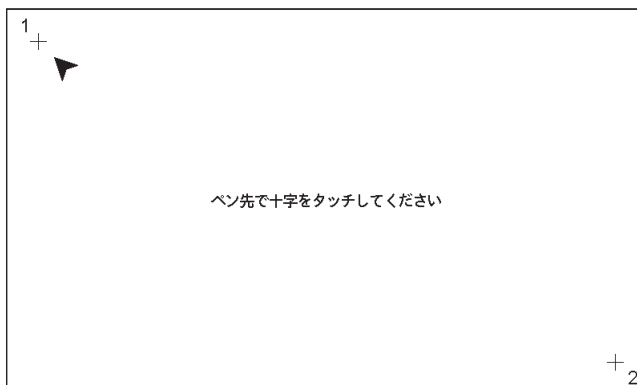
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [パネルキャリブレーション] を押します。



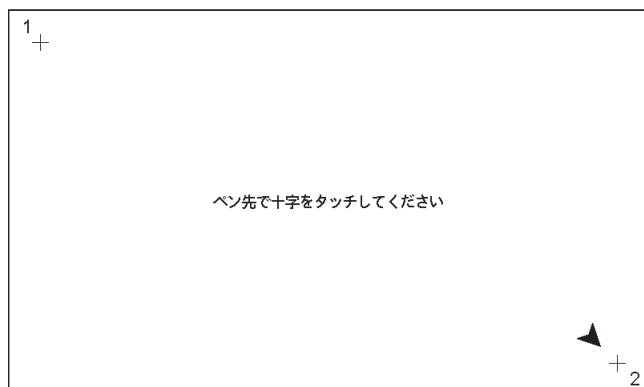
パネルキャリブレーション操作画面 (1) が表示されます。

3 タッチパネルのメッセージに従い、ペン先で十字に触れます。



パネルキャリブレーション操作画面 (2) が表示されます。

4 タッチパネルのメッセージに従い、ペン先で+字に触れます。



パネルキャリブレーション操作を完了し、機器設定メニュー画面に戻ります。

注意

パネルキャリブレーションを操作中は、他の機能でのタッチパネル操作は無効となります。パネルキャリブレーションを操作中に本機の前面カバーを開けた際にトナー交換のガイダンスが表示された場合は、前面カバーを閉じてパネルキャリブレーション操作を終了してから、トナーの交換を行ってください。

■ オプション

タブ紙へのホールパンチ処理を有効にするかを設定します。

このメニューは、e-STUDIO855 Seriesにホールパンチユニット (オプション) が装着されている場合にのみ有効です。

1 管理者設定メニューの [機器設定] を押します。



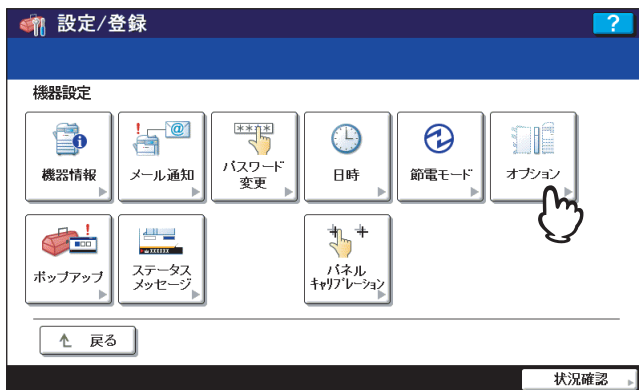
機器設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

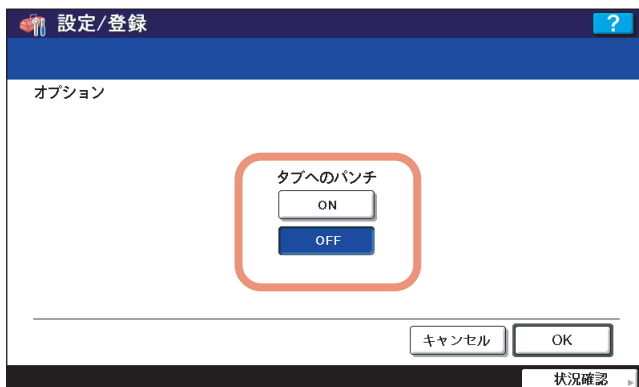
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [オプション] を押します。



オプション画面が表示されます。

3 タブ紙へのホールパンチ処理を有効にする場合は、[ON] を押し、[OK] を押します。



ネットワーク設定

■ TCP/IPの設定 (IPv4)

TCP/IPプロトコルの設定を行います。WebベースユーティリティのTopAccessやファイリングボックス、またはネットワーク印刷、ネットワークスキャン、インターネットファクスなど、本機のネットワーク機能を利用するにはTCP/IPプロトコルを設定する必要があります。

TCP/IPの設定では、アドレス設定方法の選択、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの割り付け（手で割り付ける場合）を設定します。

ご利用のネットワークの環境によって、TCP/IPプロトコルの設定方法は異なります。

- **DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する場合：**

本機に割り付けるTCP/IP設定が分からない場合は、アドレス設定方法で「自動」を選択します。アドレス設定方法で「自動」を選択すると、ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得します。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能を使って適当なIPアドレスを本機に割り付けます。ただし、ネットワークの途中にルーターがある場合はAutoIP機能が動作しないことがあります。

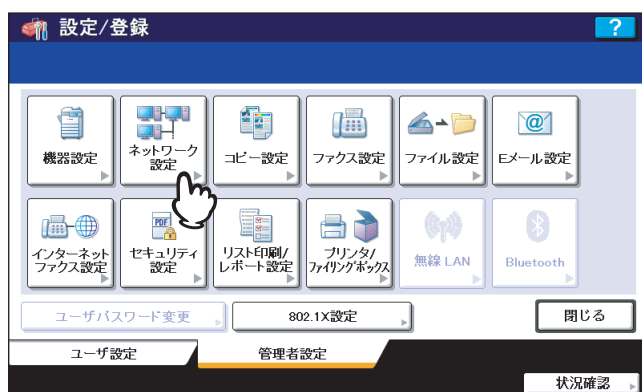
- **DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する場合：**

DHCPサーバーがあるローカルエリアネットワークに接続し、AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使用して本機のTCP/IPを設定したい場合は、アドレス設定方法で「自動IPなし」を選択します。アドレス設定方法で「自動IPなし」を選択すると、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得し、AutoIPによるIPアドレスの割り付けは無効にします。

- **固定IPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合：**

各デバイスに固定のIPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合は、アドレス設定方法で、「マニュアル」を選択し、IPアドレスを指定します。必要に応じてサブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定します。

1 管理者設定メニューの [ネットワーク設定] を押します。



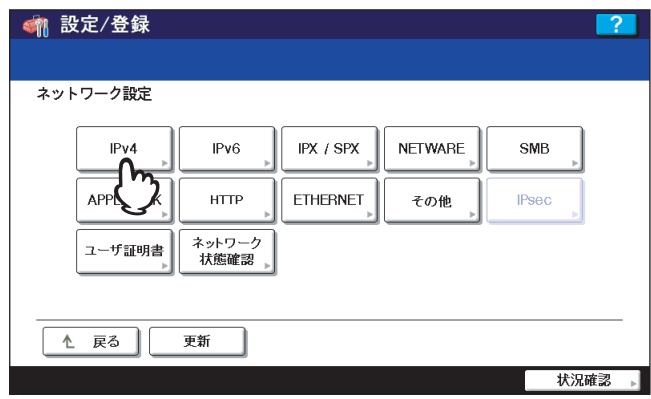
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

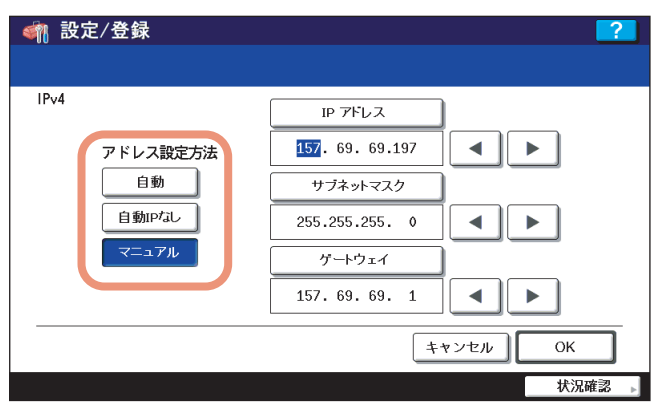
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [IPv4] を押します。



IPv4設定画面が表示されます。

3 アドレス設定方法に応じて、操作を続けます。



- 📖 P.101 「DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する」
- 📖 P.102 「DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する」
- 📖 P.103 「固定IPアドレスを使用してTCP/IPを設定する」

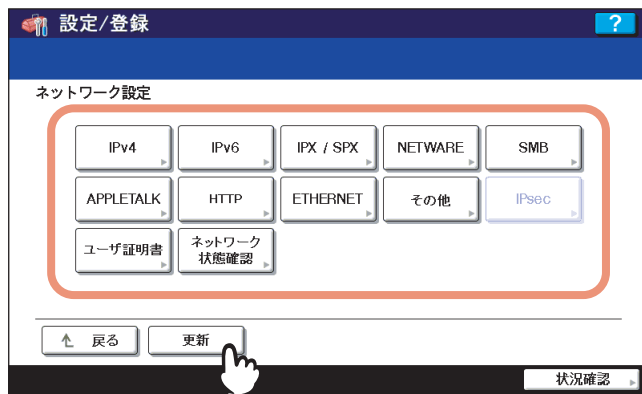
DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する

1 「アドレス設定方法」で [自動] を押し、[OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

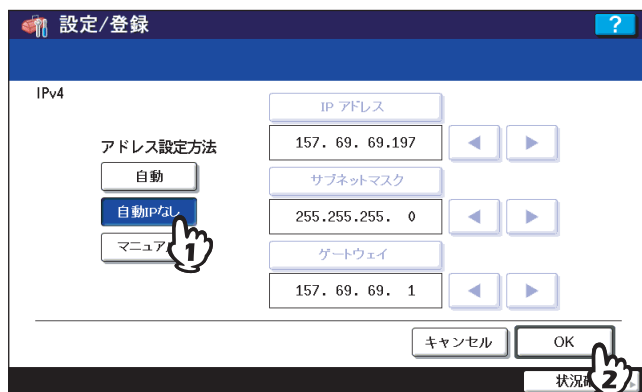
2 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

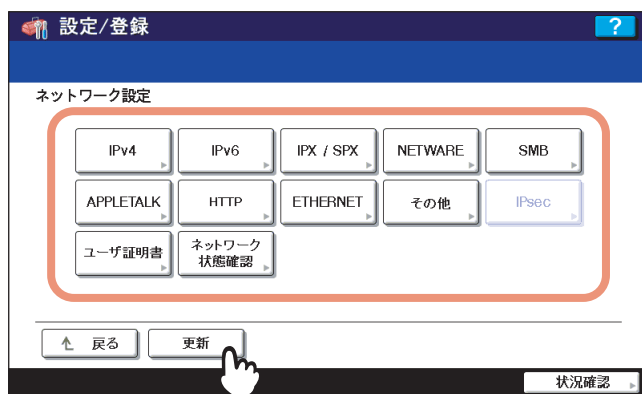
DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する

1 「アドレス設定方法」で [自動IPなし] を押し、[OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

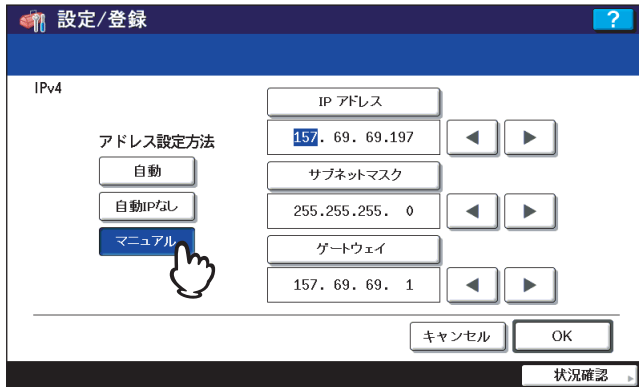
2 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

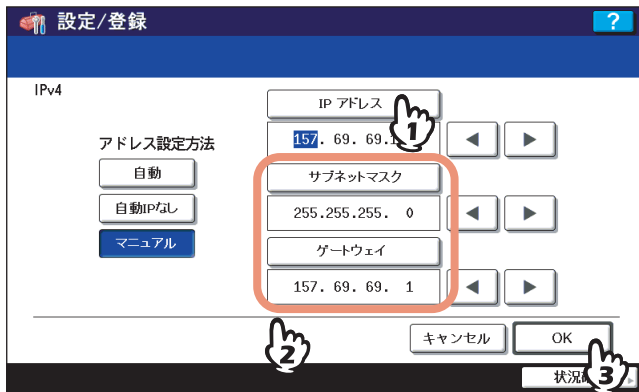
固定IPアドレスを使用してTCP/IPを設定する

1 「アドレス設定方法」で [マニュアル] を押します。



2 下記項目を入力し、設定内容を保存します。

- 1) [IPアドレス] を押して、テンキーで本機のIPアドレスを入力します。
- 2) 必要に応じて、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイも入力します。
- 3) [OK] を押します。

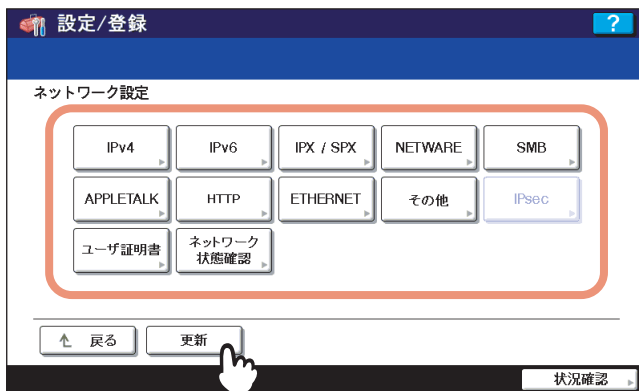


ネットワーク設定メニューに戻ります。

補 足

入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

3 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ TCP/IPの設定 (IPv6)

IPv6の設定を行います。

IPv6の設定では、IPv6プロトコルの有効/無効、アドレス設定方法の選択をすることにより、IPv6アドレスなどを設定します。

アドレス設定方法の選択によって、IPv6アドレスの取得方法は異なります。

- **【手動】を選択した場合：**

IPv6アドレス、プレフィックスおよびデフォルトゲートウェイを手動で設定します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。

📖 P.104 「手動でIPv6の設定を行う」

- **【ステートレス】を選択した場合：**

DHCPv6サーバーおよびルーターからIPv6アドレスを自動で取得します。最大9個のIPv6アドレスを登録することができます。

📖 P.107 「自動でIPv6の設定を行う（ステートレスのネットワーク環境）」

補 足

ルーターからは最大7個のIPv6アドレスを取得できます。DHCPv6サーバーから取得できるIPv6アドレスは、1個です。また、1つのリンクローカルアドレスが、自動的に生成されます。

- **【ステートフル】を選択した場合：**

DHCPv6サーバーからIPv6アドレスを自動で取得します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。

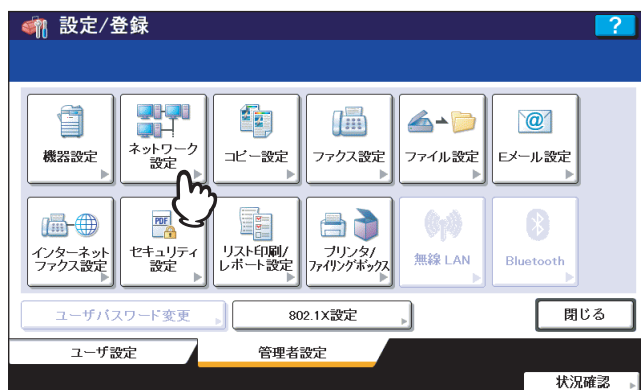
📖 P.110 「自動でIPv6の設定を行う（ステートフルのネットワーク環境）」

注 意

本機のSMBのIPv6の設定が有効になっているときにIPv6使用を無効にすると、設定を反映させるため本機の再起動が必要になります。タッチパネルに「電源をいれ直してください」と表示されたら、操作パネルの【電源】ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

手動でIPv6の設定を行う

1 管理者設定メニューの【ネットワーク設定】を押します。



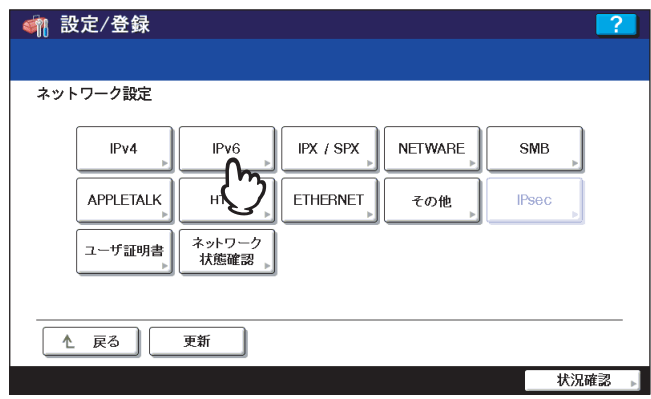
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

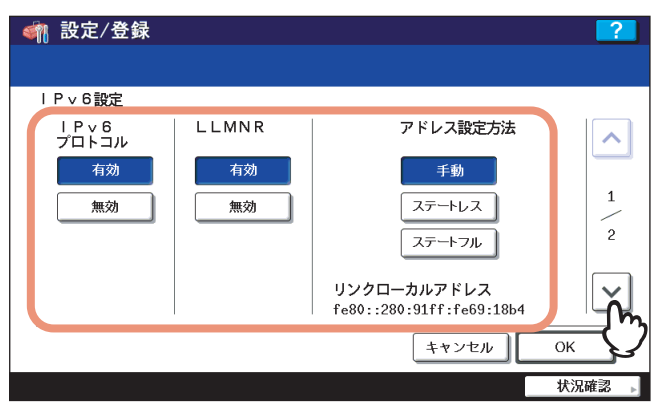
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [IPv6] を押します。



IPv6設定画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、[✓] を押します。



IPv6プロトコル：[有効] を押して、IPv6プロトコルを有効にします。

LLMNR：LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルを有効にする場合は、[有効] を押しします。LLMNRプロトコルを無効にする場合は、[無効] を押しします。

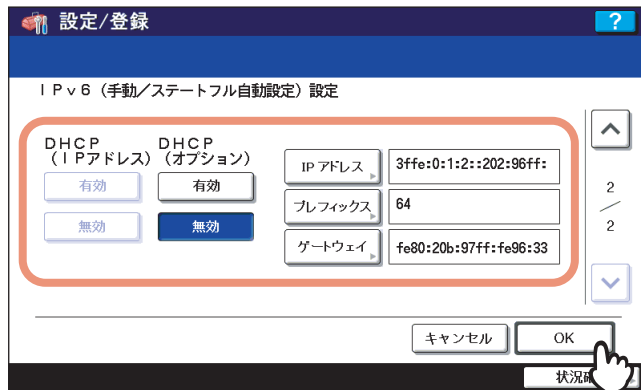
アドレス設定方法：IPv6アドレスの設定方法に [手動] を選択します。

リンクローカルアドレス：IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

注意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを超えたネットワークには接続できません。
- 「LLMNR」の [有効] / [無効] は、「IPv6プロトコル」で [有効] を選択すると使用できます。

4 下記項目を設定し、[OK] を押します。



DHCP (オプション) : DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報 (DNSサーバーなどのIPv6アドレス) を使用するかどうかを選択します。使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

[IPアドレス] : 本機のIPv6アドレスを入力します。

[プレフィックス] : IPv6アドレスのプレフィックスを入力します。

[ゲートウェイ] : デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

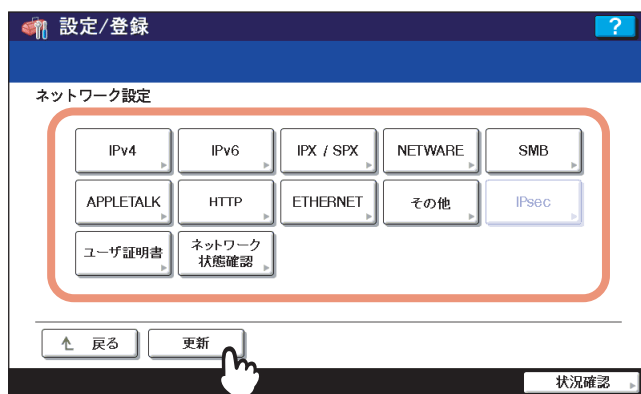
注意

手動を選択した場合は、DHCP (IPアドレス) は、設定できません。

補足

[IPアドレス]、[プレフィックス] および [ゲートウェイ] を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

5 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



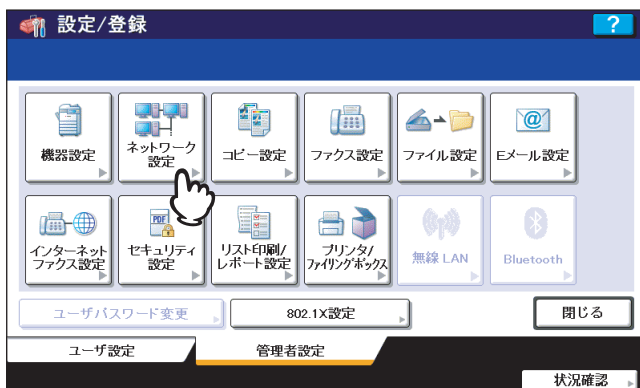
設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

重複したIPv6アドレスがDAD (Duplicate Address Detection) 機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。

自動でIPv6の設定を行う (ステートレスのネットワーク環境)

1 管理者設定メニューの [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [IPv6] を押します。



IPv6設定画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、 を押します。



IPv6プロトコル：[有効] を押して、IPv6プロトコルを有効にします。

LLMNR：LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルを有効にする場合は、[有効] を押します。LLMNRプロトコルを無効にする場合は、[無効] を押します。

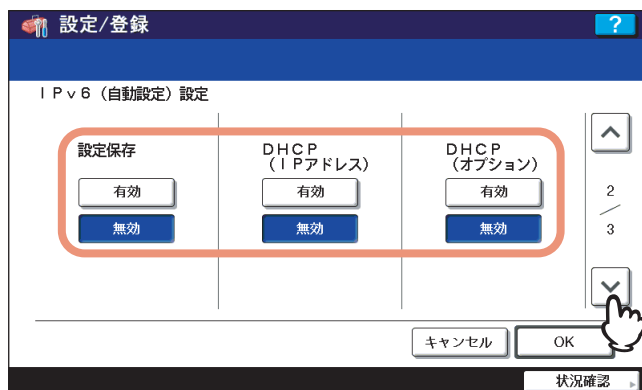
アドレス設定方法：IPv6アドレスの設定方法に [ステートレス] を選択します。

リンクローカルアドレス：IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

注意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを超えたネットワークには接続できません。
- [LLMNR] の [有効] / [無効] は、[IPv6プロトコル] で [有効] を選択すると使用できます。

4 下記項目を設定します。



設定保存：すでにIPv6アドレスを付与されているルーターから異なるIPv6アドレスを付与されたときの対応方法を選択します。すでに保持しているIPv6アドレスを残して、新しく通知されたIPv6アドレスを追加する場合は、[有効] を押します。最大7個のIPv6アドレスを保持できます。すでに保持しているIPv6アドレスを新しく通知されたIPv6アドレスで上書きする場合は、[無効] を押します。

DHCP (IPアドレス)：ステートレスのネットワーク環境で、DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

DHCP (オプション)：ステートレスのネットワーク環境で、DHCPv6サーバーから通知されるオプション情報 (DNSサーバーなどのIPv6アドレス)を使用する場合は、[有効]を押します。使用しない場合は、[無効]を押します。

補足

DHCP (IPアドレス) を有効にすると、DHCP (オプション) は自動的に有効に設定されます。

5 [OK] を押します。

ルーターから取得したIPv6アドレスが表示されます。

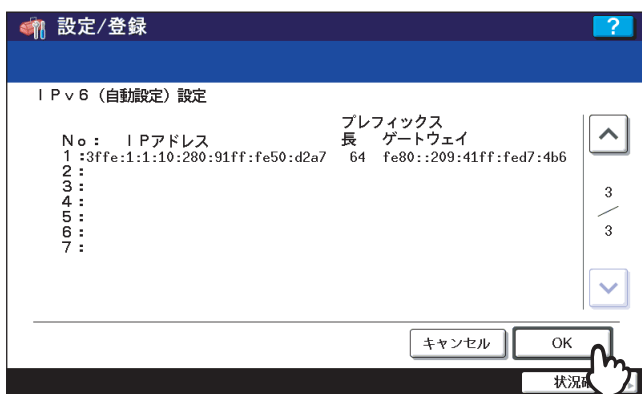
補足

最大7個のIPv6アドレスを保持することができます。

注意

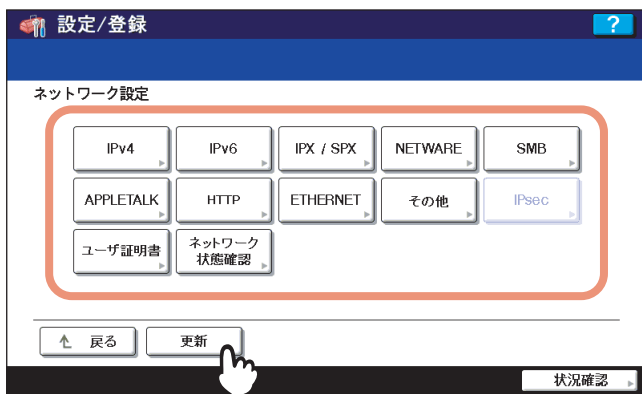
本機がMフラグに「0」が設定されているRA (Router Advertisement) をルーターから受信した場合は、DHCPv6機能は動作しません。ルーターの設定でRAのMフラグの設定を「1」に変更した場合は、DHCPv6機能を動作させるために操作パネルの [電源] ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

6 [OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

7 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

重複したIPv6アドレスがDAD (Duplicate Address Detection) 機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。

自動でIPv6の設定を行う（ステートフルのネットワーク環境）

1 管理者設定メニューの「ネットワーク設定」を押します。



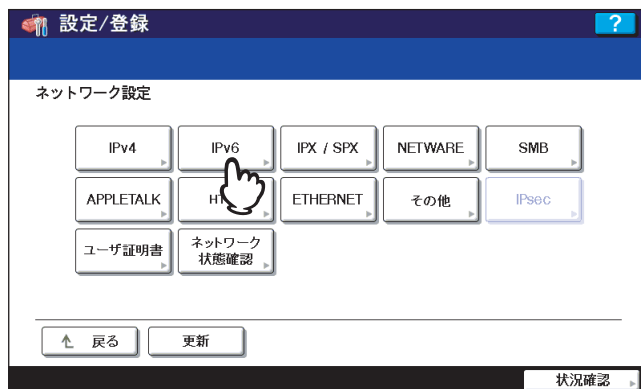
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [IPv6] を押します。



IPv6設定画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、 を押します。



IPv6プロトコル：[有効] を押して、IPv6プロトコルを有効にします。

LLMNR：LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルを有効にする場合は、[有効] を押します。LLMNRプロトコルを無効にする場合は、[無効] を押します。

アドレス設定方法：IPv6アドレスの設定方法に [ステートフル] を選択します。

リンクローカルアドレス：IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

注意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを超えたネットワークには接続できません。
- [LLMNR] の [有効] / [無効] は、[IPv6プロトコル] で [有効] を選択すると使用できます。

4 下記項目を設定し、[OK] を押します。



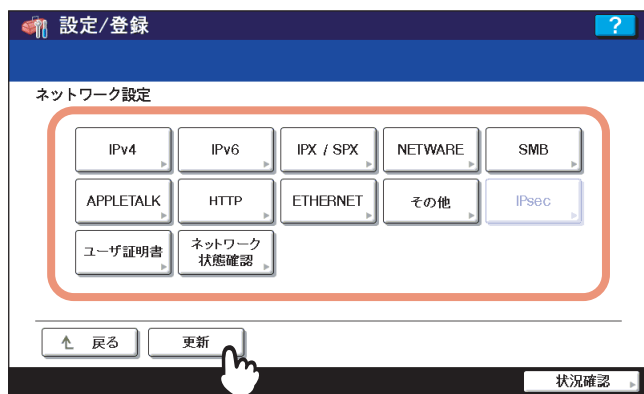
DHCP (IPアドレス)：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

DHCP (オプション)：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報 (DNSサーバーなどのIPv6アドレス) を使用するかどうかを選択します。使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

注意

- 「アドレス設定方法」に [ステートフル] を選択した場合は、IP アドレス、プレフィックスおよびゲートウェイは、設定できません。
- DHCP (IPアドレス) とDHCP (オプション) の両方を無効にすることはできません。

5 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

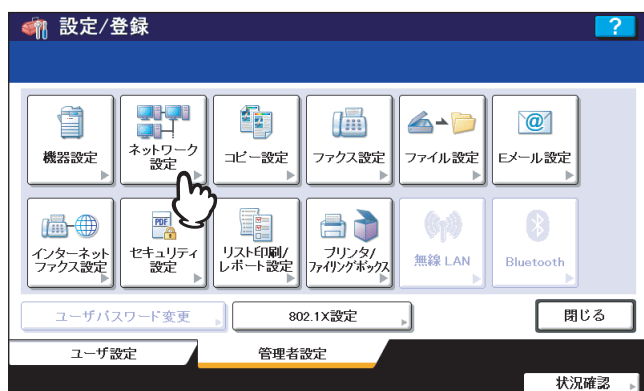
補足

重複したIPv6アドレスがDAD（Duplicate Address Detection）機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。

■ IPX/SPXの設定

IPX/SPXプロトコルを設定します。IPX/SPXプロトコルは、通常NetWareのファイルサーバーと通信を行う場合に設定します。

1 管理者設定メニューの [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

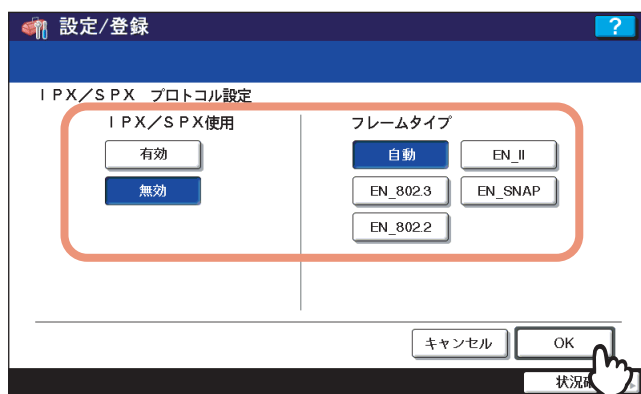
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [IPX/SPX] を押します。



IPX/SPXプロトコル設定画面が表示されます。

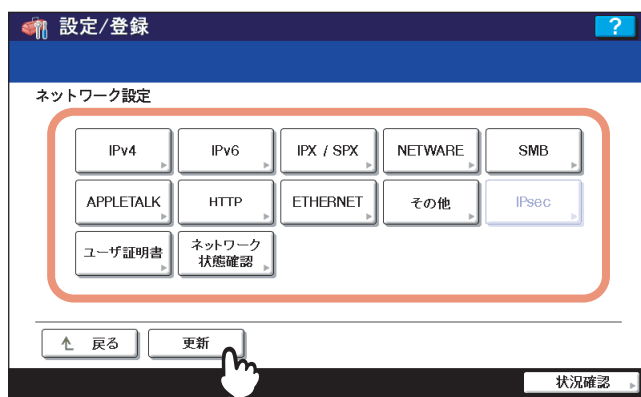
3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



IPX/SPX使用：IPX/SPXプロトコルを有効にする場合は、[有効] を押します。IPX/SPXプロトコルを無効にする場合は、[無効] を押します。

フレームタイプ：[自動] を押して、自動的に適切なフレームタイプを検出するか、特定のフレームタイプボタンを押します。使用するフレームタイプが分からない場合は、[自動] を選択します。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ NetWare設定

接続するNetWare構成を設定します。

注意

Novell印刷用のNetWareファイルサーバーを使用する場合は、必ず設定してください。

1 管理者設定メニューの「ネットワーク設定」を押します。



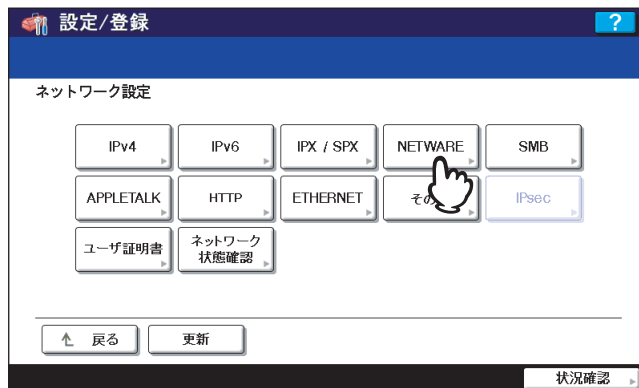
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

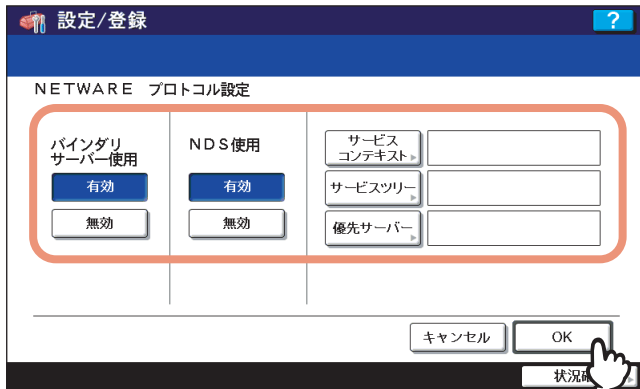
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [NETWARE] を押します。



NETWAREプロトコル設定画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



バイナリサーバー使用：NetWare ファイルサーバーとバイナリモードの通信を可能にするかどうかを設定します。

NDS使用：NetWare ファイルサーバーとNDSモードの通信を可能にするかどうかを設定します。

[サービスコンテキスト]：NetWare プリントサーバーがあるNDSコンテキストを入力します。NDSモードでNetWare ファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定します。

[サービスツリー]：NDSツリーを入力します。NDSモードでNetWare ファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定します。

[優先サーバー]：NetWare ファイルサーバー名を入力します。バイナリモードでNetWare ファイルサーバーに接続する場合は、入力することをお勧めします。

補 足

- [サービスコンテキスト]、[サービスツリー] および [優先サーバー] を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。
- バイナリモードとNDSモードを同時に有効にすることができます。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ SMBの設定

Windowsコンピュータ名（NetBIOS名）とワークグループを設定します。WINSサーバーを使用して異なるサブネット間の通信を可能にしている場合は、本機が使用するWINSサーバーのIPアドレスも設定します。SMB印刷を行う場合は有効に設定します。

1 管理者設定メニューの【ネットワーク設定】を押します。

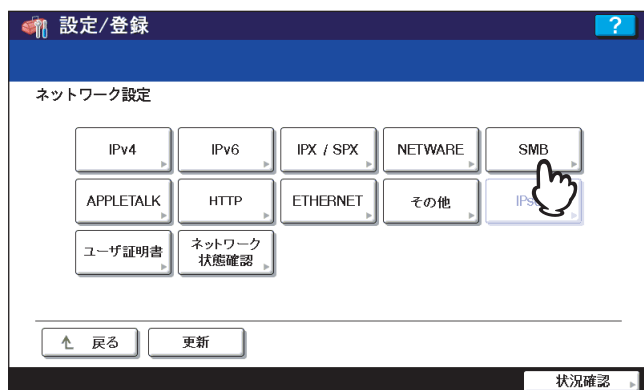


ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

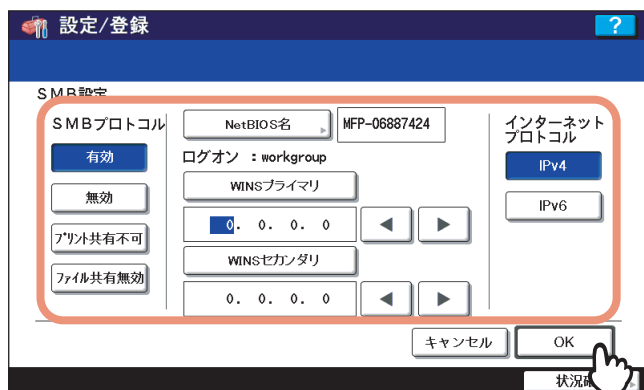
管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 【SMB】を押します。



SMB設定画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



SMBプロトコル：SMBを有効にする場合は、[有効] を押します。SMBを無効にする場合は、[無効] を押します。[プリント共有不可] を選択すると、SMBプロトコルを有効にしたまま、本機のSMB印刷用印刷キューのみを無効にします。[ファイル共有無効] を選択すると、SMBプロトコルを有効にしたまま、本機の共有ファイルのみを無効にします。

[NetBIOS名]：本機のNetBIOS名を入力します。

ログオン：本機が参加しているWindowsネットワーク環境を表示します。本機がワークグループネットワークに参加している場合は、"workgroup"を表示し、Windowsドメインネットワーク（NTドメイン、またはActive Directoryドメイン）に参加している場合は、"domain"を表示します。"workgroup"または"domain"の設定はTopAccessからのみ変更できます。変更方法の詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

[WINSプライマリ]：このボタンを押して、テンキーからプライマリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

[WINSセカンダリ]：このボタンを押して、テンキーからセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

インターネットプロトコル：IPv4の使用を有効にする場合は、[IPv4] を押します。IPv6での使用は無効になります。IPv6の使用を有効にする場合は、[IPv6] を押します。IPv4での使用は無効になります。

補 足

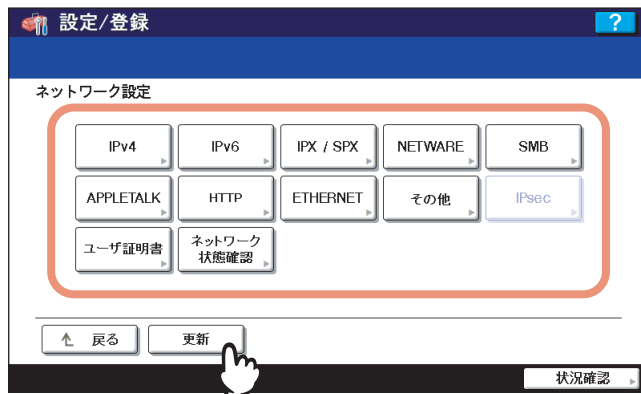
- [NetBIOS名] を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。
- [インターネットプロトコル] の [IPv4] / [IPv6] は、TCP/IPの設定 (IPv6) を有効にすると使用できます。
[P.104 「TCP/IPの設定 \(IPv6\)」](#)

注 意

- 「SMBプロトコル」で [無効] または [ファイル共有無効] を選択した場合は、本機共有フォルダへの保管機能は無効になります。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機のSMBの設定の「ログオン」が「workgroup」の場合は、Windowsドメインネットワークへの参加が失敗しています。この場合は、Windows Serverの設定、およびTopAccessのSMBの設定が間違っていないかを確認してください。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機の電源投入後、または本機のネットワーク設定を変更し、[更新] を押した場合に、Windowsドメインネットワークへの参加を行います。
- 「NetBIOS名」には、半角英数字および「-」（ハイフン）以外の文字は使用しないでください。その他の文字を使用した場合、警告メッセージが表示されます。
- 「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」には、0で始まるIPアドレス（例：0.10.10.10）、127で始まるIPアドレス（例：127.10.10.10）および224で始まるIPアドレス（例：224.10.10.10）は入力しないでください。入力した場合、WINSサーバーを参照することはできなくなります。
- 「WINSプライマリ」「WINSセカンダリ」に「0.0.0.0」を入力した場合は、WINSサーバーを使用しません。
- TCP/IPの「アドレス設定方法」で [自動] または [自動IPなし] が設定されている場合、「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」の設定をDHCPサーバーから取得することができます。
- 「インターネットプロトコル」で [IPv6] を選択した場合は、「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」は設定できません。

- SMBのインターネットプロトコルバージョンを切り替えると、設定を反映するため本機の再起動が必要になります。タッチパネルに「電源をいれ直してください」と表示されたら、操作パネルの[電源] ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。

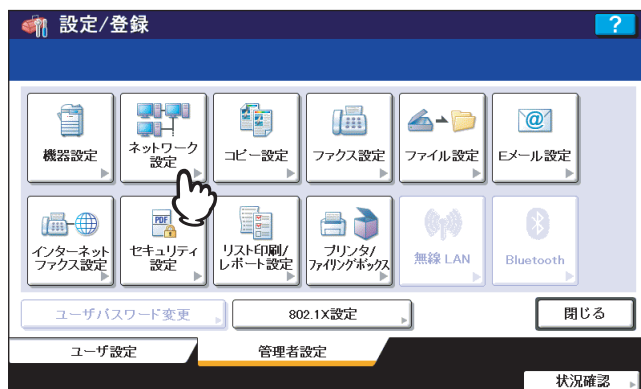


設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ AppleTalkの設定

AppleTalk プロトコルは、MacintoshコンピュータからAppleTalk印刷を利用する場合には、必ず有効にし、適切な設定を行ってください。

1 管理者メニューから [ネットワーク設定] を押します。



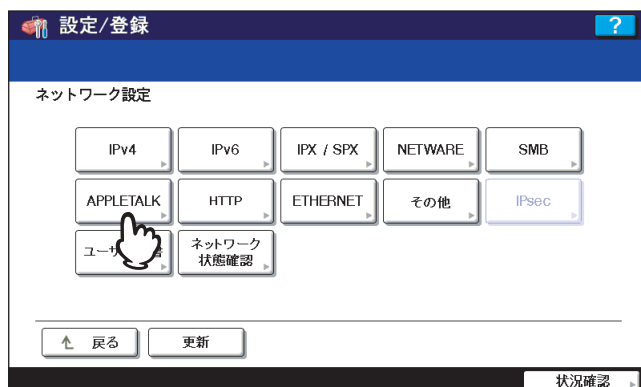
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [APPLETALK] を押します。



APPLETALKプロトコル設定画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



APPLETALK使用：AppleTalkを有効にする場合は、[有効] を押します。AppleTalkを無効にする場合は、[無効] を押します。

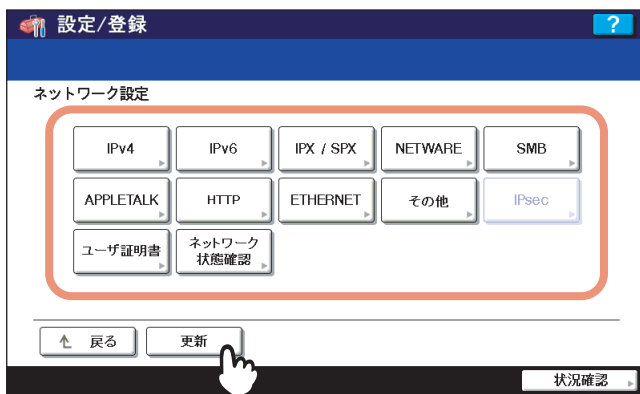
[デバイス名]：本機のデバイス名を入力します。

[APPLETALK]：AppleTalkゾーン名を入力します。ゾーン名がないネットワークに設定する場合は、デフォルトゾーン「*」を入力します。

補足

[デバイス名] および [APPLETALK] を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ HTTPの設定

TopAccessやファイリングボックスなどWebベースのユーティリティを利用する場合には、HTTPネットワークサーバーサービスを有効にします。

1 管理者設定メニューの「ネットワーク設定」を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

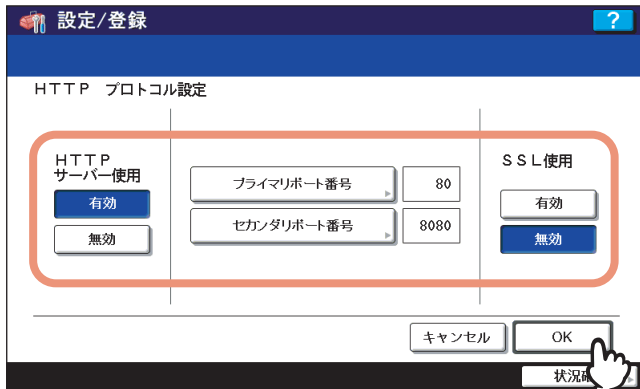
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [HTTP] を押します。



HTTPプロトコル設定画面が表示されます。

3 下記の項目を設定し、[OK] を押します。



HTTPサーバー使用：HTTPネットワークサーバーサービスを有効にする場合は、[有効] を押します。HTTPネットワークサーバーサービスを無効にする場合は、[無効] を押します。WebユーティリティのTopAccess、ファイリングボックスを使用する場合は、有効にします。

[プライマリポート番号]：HTTPアクセスするとき使用するポート番号を入力します。通常「80」を使用します。

[セカンダリポート番号]：WebユーティリティのTopAccessとファイリングボックスにアクセスするときのポート番号を入力します。通常「8080」を使用します。

SSL使用：SSL（Secure Sockets Layer）を有効にするか選択します。有効にすると、TopAccessやファイリングボックス Webユーティリティの操作により通信されるデータは暗号化されます。

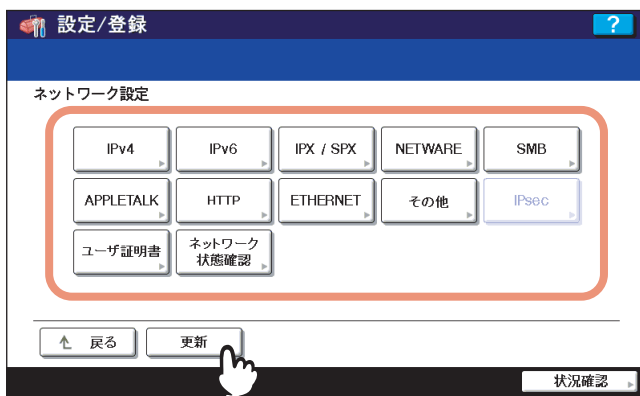
補足

[プライマリポート番号] および [セカンダリポート番号] を押すと、入力画面が表示されます。テンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

注意

SSL使用を有効にする前に、TopAccessのセキュリティ設定で自己証明書の作成またはサーバー証明書のインポートを行ってください。自己証明書が作成されていない場合またはサーバー証明書のインポートされていない場合は、有効にすることはできません。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ Ethernetの設定

Ethernetの速度を設定します。

1 管理者設定メニューの【ネットワーク設定】を押します。



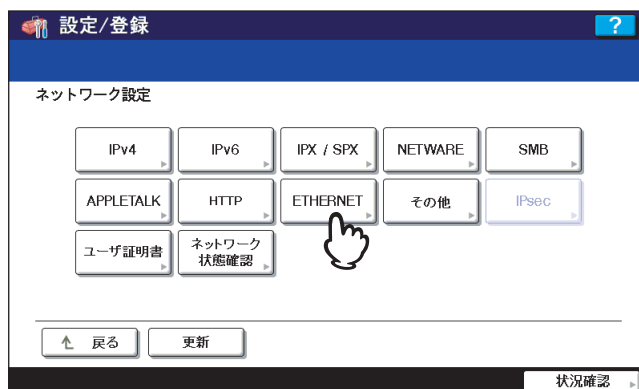
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

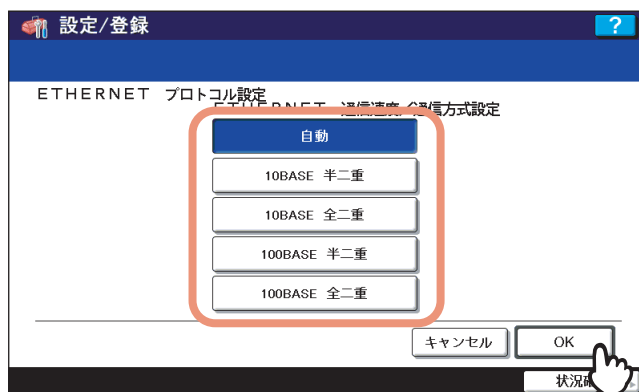
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 【ETHERNET】を押します。



ETHERNETプロトコル設定画面が表示されます。

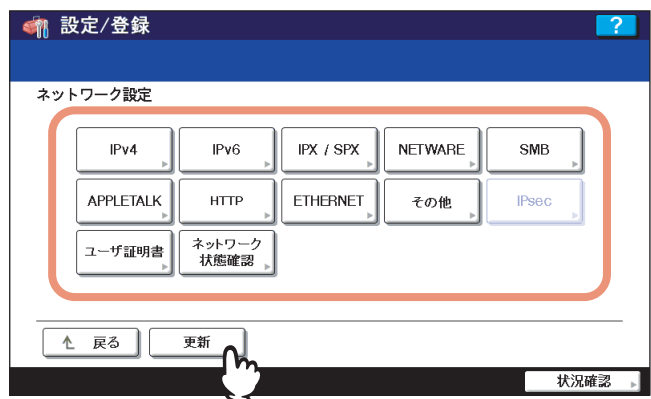
3 Ethernet速度を自動的に検知する【自動】を押すか、特定のEthernet速度のボタンを押して、【OK】を押します。



注 意

- 特定の Ethernet 速度のボタンを選択する場合は、接続しているネットワークの速度と同じ設定にする必要があります。もし、Ethernetの設定が分からない場合は、【自動】を選択してください。
- 設定を行ってもネットワークの接続が不安定な場合は、一度電源をオフ/オンしてください。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ LDAP、SNMPおよびフィルタリング機能の設定

LDAPディレクトリサービスを有効にすると、Eメール送信やインターネットファクス送信、ファクス送信時にLDAPサーバーから相手先を検索することができます。また、TopAccessでテンプレートを作成する際や、アドレス帳登録を行う際に、LDAPサーバーから相手先を検索することができます。
また、このメニューでは、SNMP通信のリードコミュニティ名の変更やIPフィルタリング機能およびMACアドレスフィルタリング機能の有効/無効の切り替えを行うことができます。

補足

LDAPディレクトリサービスの追加は、TopAccessを使用して操作します。ディレクトリサービスの登録の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

LDAPディレクトリサービスが無効になっていると、Eメール送信時のユーザ認証時に送信者アドレスをLDAPサーバーから取得できなくなります。

1 管理者設定メニューの [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

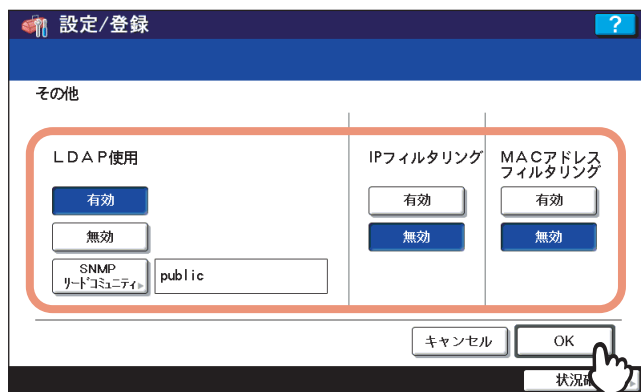
管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [その他] を押します。



その他画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



LDAP使用：LDAPネットワークサービスを有効にする場合は、[有効] を押します。LDAPネットワークサービスを無効にする場合は、[無効] を押します。

[SNMPリードコミュニティ]：必要に応じて、SNMP通信のリードコミュニティ名を入力します。

IPフィルタリング：IPフィルタリング機能を有効にする場合は、[有効] を押します。IPフィルタリング機能を無効にする場合は、[無効] を押します。

MACアドレスフィルタリング：MACアドレスフィルタリング機能を有効にする場合は、[有効] を押します。MACアドレスフィルタリング機能を無効にする場合は、[無効] を押します。

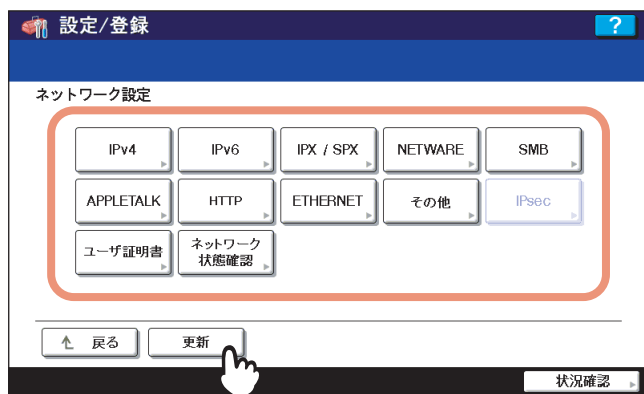
補足

[SNMP リードコミュニティ] を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] で入力を確定します。

注意

- リードコミュニティに「public」以外のコミュニティ名を入力すると、MIBを使用しているアプリケーション（TopAccess、TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook Viewer）が使用できなくなります。また、プリンタドライバのSNMP通信も無効になり、オプション構成の自動取得や部門コードチェック、有効なファイリングボックスの取得などの機能が使用できなくなります。
- リードコミュニティを空欄にした場合、お使いのコンピュータと本機のSNMP通信はできなくなります。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ IPセキュリティの設定

IPsecオプション (オプション) が導入されている場合、IPsec (IP Security Protocol) による暗号化通信が可能となります。

IPセキュリティの設定では、以下の操作を行えます。

- 現在適用されているポリシー名の確認
- IPsec通信の有効/無効の切り替え
- IPsecセッションのフラッシュ (リセット)

補足

IPsecに必要なポリシーの登録などは、TopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

[IPsec] は、IPsecオプション (オプション) が導入されている場合のみ使用できます。

1 管理者設定メニューの [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

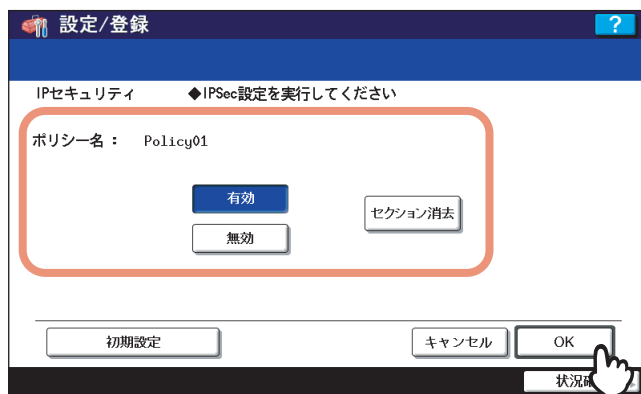
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [IPsec] を押します。



IPセキュリティ画面が表示されます。

3 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



ポリシー名：現在適用されているポリシー名が表示されます。

【有効】：IPsec通信を有効にします。

【無効】：IPsec通信を無効にします。

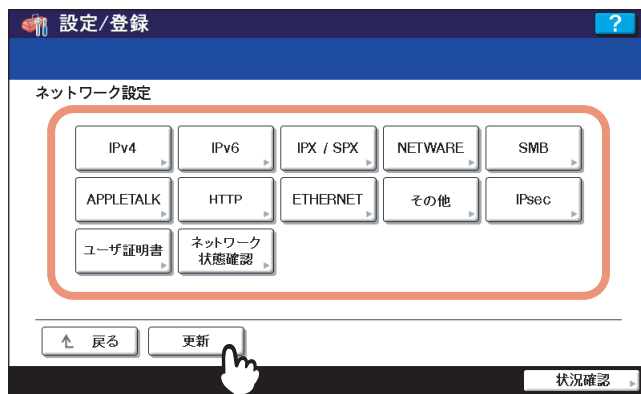
【セッション消去】：IPsec通信に使用するキーの漏えいや、セキュリティの侵害が発生した場合に、このボタンを使用して、現在のセッションを手動で消去し、新しいセッションを開始させることができます。

【初期設定】：IPsecの設定を工場出荷時の状態に戻します。

補 足

【初期設定】を押すと、操作の実行を確認するメッセージが表示されます。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ ユーザ証明書の復号

TopAccessのセキュリティ設定で以下の証明書をインストールした場合に証明書のパスワードを入力し、復号化します。

- SSLで使用するサーバー証明書
- IPsecで使用するIPsec用の証明書
- 802.1X認証用の証明書 (有線)

補 足

この操作は、TopAccessから必要な証明書をインストールしてから行ってください。証明書のインストールの詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

1 管理者設定メニューの【ネットワーク設定】を押します。



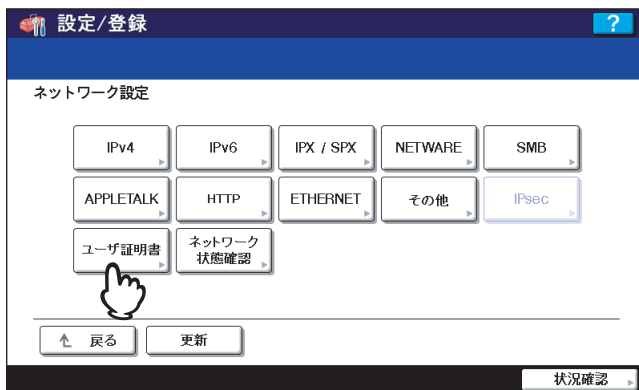
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

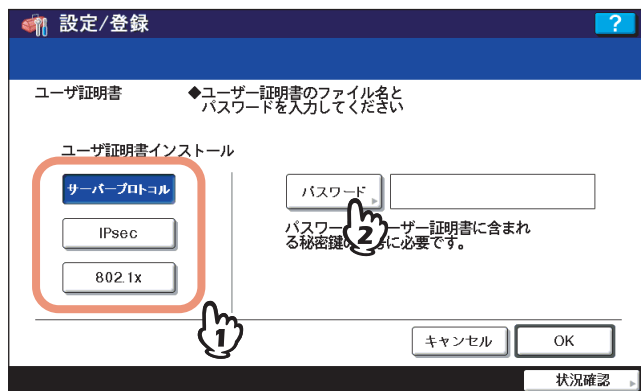
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 【ユーザ証明書】を押します。



ユーザ証明書画面が表示されます。

3 目的の証明書ボタン（[サーバープロトコル]、[IPsec] または [802.1X]）を押し、[パスワード] を押します。

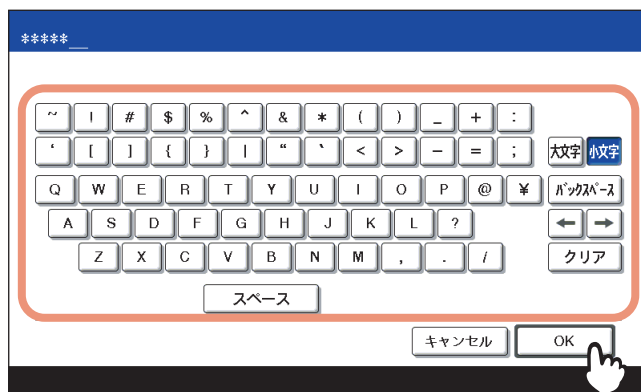


入力画面が表示されます。

補足

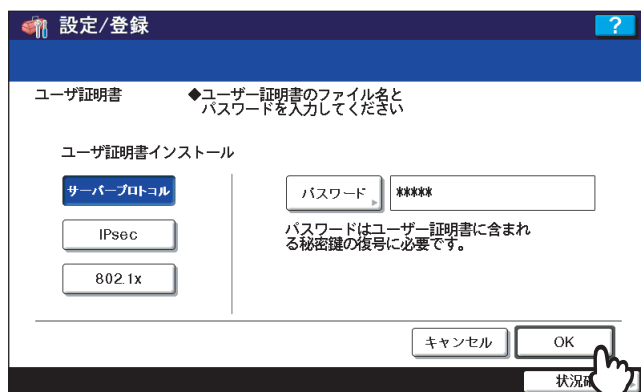
e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Series をお使いの場合は、[サーバープロトコル] の代わりに [Server Protocol] が表示されます。

4 文字入力画面およびテンキーから証明書のパスワードを入力し、[OK] を押します。



入力したパスワードは、[パスワード] ボックスに*（アスタリスク）で表示されます。

5 [OK] を押します。



管理者設定メニューに戻り、設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ ネットワーク状態確認

ネットワーク状態確認では、Ping機能とTraceroute機能を使用できます。

Ping機能では、本機からネットワーク上の各種サーバーへの接続状態を確認することができます。また、Traceroute機能では、目的のサーバーまでのネットワーク経路を表示できます。

1 管理者設定メニューの [ネットワーク設定] を押します。



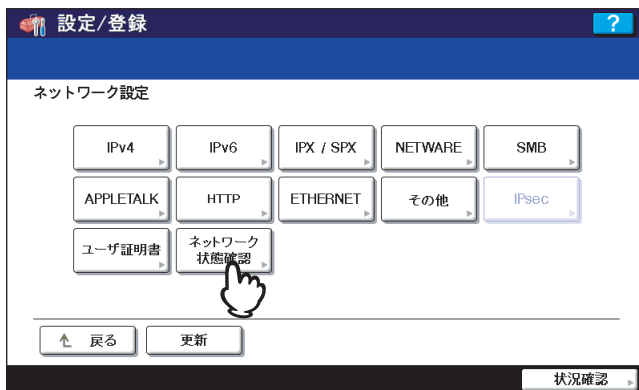
ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

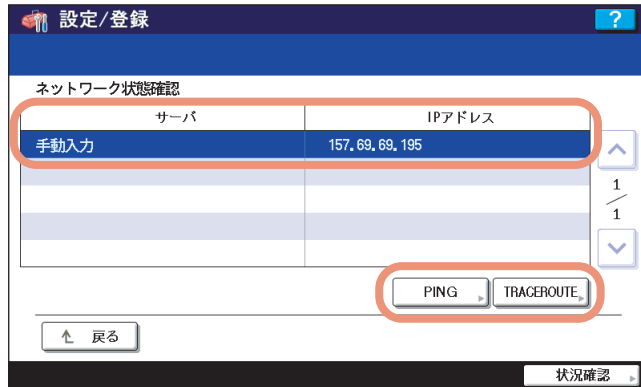
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [ネットワーク状態確認] を押します。



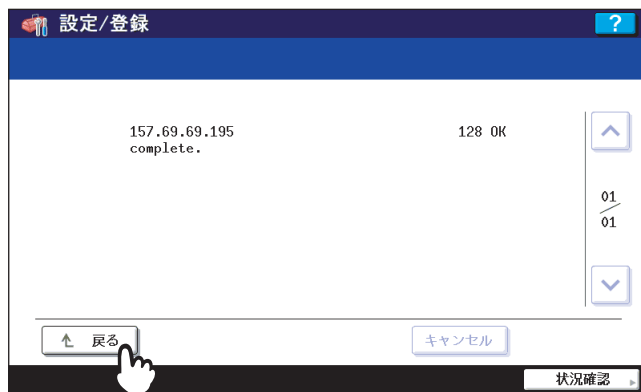
ネットワーク状態確認画面が表示されます。

3 目的のサーバーを選択し、[PING] または [TRACEROUTE] を押します。

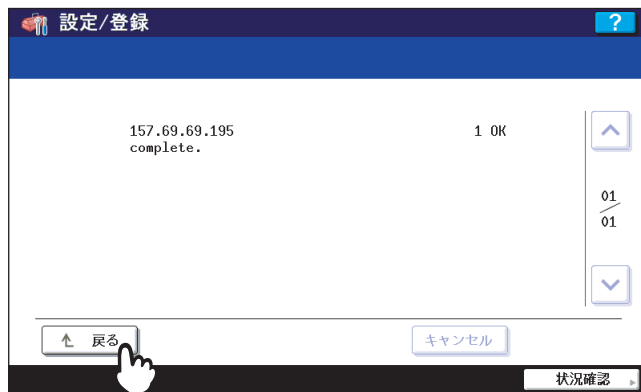


実行結果が表示されます。

Pingを実行した場合、「IPアドレス 128 (TTL : Time to live) 固定 OK/NG」が表示されます。



Tracerouteを実行した場合、「IPアドレス 1~128 (TTL : Time to live) OK/NG」が表示されます。



注意

サーバーに到達可能なときは、実行結果のサーバーはIPアドレスで表示されますが、何らかの理由でサーバーに到達できない場合は、実行結果はホスト名で表示されます。

補足

目的のサーバーを選択する方法は、2つあります。

設定されている各種サーバーを表示一覧から選択する場合：

表示できるサーバーおよび対応プロトコルは、以下のとおりです。

- プライマリDNSサーバー (IPv4/IPv6)
- セカンダリDNSサーバー (IPv4/IPv6)
- プライマリWINSサーバー (IPv4)
- セカンダリWINSサーバー (IPv4)
- SMTPサーバー (IPv4/IPv6)

- POP3サーバー (IPv4/IPv6)
- プライマリSNTPサーバー (IPv4/IPv6)
- セカンダリSNTPサーバー (IPv4/IPv6)
- LDAPサーバー 1
- LDAPサーバー 2
- LDAPサーバー 3
- LDAPサーバー 4
- LDAPサーバー 5
- リモートサーバー 1
- リモートサーバー 2

手動で目的のサーバーを指定する場合：

サーバー名または、IPv4アドレス、IPv6アドレスを手入力します。手動入力欄を押すと、タッチパネルに文字入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

注意

TopAccessの「共有フォルダに保管」でリモートサーバー 1/リモートサーバー 2のネットワークパスにWINS名を入力した場合は、表示一覧からそれらのサーバーを選択してネットワーク状態確認操作を実行することはできません。この場合には、リモートサーバー 1/リモートサーバー 2のIPアドレスを手動で入力し、実行してください。

4 [戻る] を押します。

ネットワーク設定メニューに戻ります。

コピー設定

最大コピー部数、自動両面モード、優先ソートモードなどのコピー操作に関する初期設定を変更します。

1 管理者設定メニューの【コピー設定】を押します。



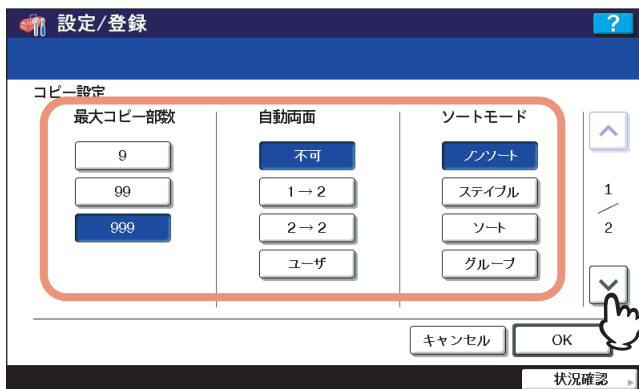
コピー設定画面が表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 下記項目を設定し、 を押します。



最大コピー部数：許可する最大コピー部数のボタンを押します。

補足

設定できる最大コピー部数は、以下のとおりです。

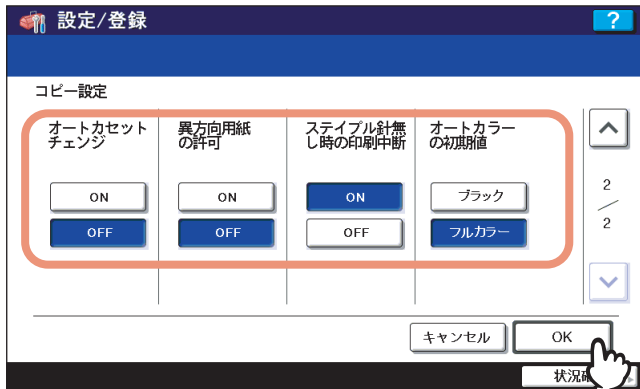
- e-STUDIO855 Seriesまたはe-STUDIO6530C Seriesをお使いの場合：9999部
- e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合：999部

自動両面：自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときに初期値として適用される両面コピー設定を選択します。

- ・ [不可]：両面コピー設定を [片面→片面] に設定します。
- ・ [1->2]：両面コピー設定を [片面→両面] に設定します。
- ・ [2->2]：両面コピー設定を [両面→両面] に設定します。
- ・ [ユーザ]：自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときに、両面コピー設定の選択画面が自動的に表示されます。

ソートモード：初期設定のソートモードを設定します。ステイプルを選択時は左上にステイプルが初期値になります。ステイプルはオプションのフィニッシャが必要です。

3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



オートカセットチェンジ：コピー操作を行う際に給紙元のカセットを手動で指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。

[ON] にすると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。[自動用紙選択] を押してコピー操作を行う際は、この機能は常に有効となります。[自動用紙選択] の詳細は、**コピーガイド**を参照してください。

異方向用紙の許可：[ON] にすると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。

補足

コピー中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のとおりです。

A4サイズ用紙にコピー中にオートカセットチェンジする場合の例です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	[自動用紙選択] 指定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの用紙を給紙	A4およびA4-Rの用紙を給紙
ON	OFF	A4の用紙を給紙	A4の用紙を給紙
OFF	ON	A4およびA4-Rの用紙を給紙	—
OFF	OFF	A4の用紙を給紙	—

ステイプル針無し時の印刷中断：[ON] を選択すると、ステイプル針切れを起こした場合、印刷を中断します。[OFF] を選択した場合は、ステイプル針切れが起きても、ステイプルせずに印刷を続行します。ステイプルはオプションのフィニッシャが必要です。

オートカラーの初期値：オートカラーコピー時の初期値モードを設定します。

注意

[オートカラーの初期値] は、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

ファクス設定

FAXユニットや回線増設ユニット（オプション）が装着されていない場合は、[記録モード]の「切り捨て印刷」および「縮小印刷」の設定のみ行えます。その他のファクス設定のメニューについては、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAX ユニット取扱説明書**を参照してください。

補 足

- FAXユニット（オプション）が装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクスによる原稿受信に適用されます。
- e-STUDIO455 Seriesまたは-STUDIO855 Seriesをお使いの場合、[ファクス設定]はスキャナキット（オプション）またはプリンタ/スキャナキット（オプション）が装着されている場合にのみ有効です。

■ 記録モードの設定

□ 切り捨て印刷と縮小印刷を設定する

インターネットファクスにより受信した原稿の印刷設定を行います。印刷には、切り捨て印刷と縮小印刷の2つの設定があります。

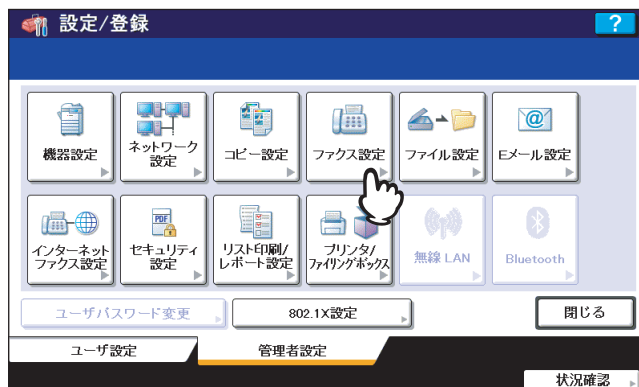
切り捨て印刷: ON、OFF

- ON :原稿が印刷範囲を超えた場合、超えた長さが10mm以下であれば用紙印刷範囲を超える印刷範囲は切り捨てられます。
 - OFF: 受信原稿の長さが用紙印刷範囲を超える場合は、2枚の用紙に分割して印刷されます。
- *切り捨て印刷の詳細設定については、サービスエンジニアにお尋ねください。

縮小印刷: ON、OFF

- ON :受信原稿が、記録紙より長い場合は、記録紙に収まるように縦方向に90%縮小し、記録紙に収まるよう印刷します。
- OFF: 受信原稿が、記録紙の印刷範囲より長い場合は、2枚の用紙に分割して印刷されます。

1 管理者設定メニューの「ファクス設定」を押します。



ファクス設定画面が表示されます。

補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、「管理者設定メニューに入る」(P.71)を参照してください。

2 「記録モード」を押します。



記録モードの設定画面が表示されます。

3 「切り捨て印刷」の [ON] または [OFF]、「縮小印刷」の [ON] または [OFF] を押し、[OK] を押します。



登録した項目は、システム設定リストで確認することができます。
P.202 「リスト印字例」

ファイル設定

本機の共有フォルダに保存されたファイルを、自動的に削除することができます。ハードディスク空き容量を確保するため、定期的に保存ファイルを削除したい場合に設定します。

1 管理者設定メニューの [ファイル設定] を押します。



メンテナンス画面が表示されます。

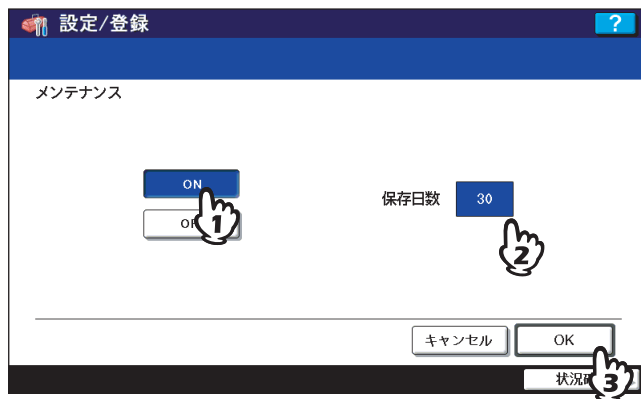
補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

[P.71 「管理者設定メニューに入る」](#)

2 保存ファイルの自動削除を有効にします。

- 1) [ON] を押します。
- 2) 保存したファイルを自動的に削除するまでの日数をテンキーから入力します。
1から99日まで入力することができます。操作パネルの [クリア] ボタンを押すと、入力した値を消して入力し直すことができます。
- 3) [OK] を押し、設定を保存します。



補足

[OFF] を選択した場合は、そのまま [OK] を押し、ファイル設定を終了してください。

Eメール設定

このメニューでは、以下の項目を設定します。

注意

e-STUDIO455 Seriesまたは-STUDIO855 Seriesをお使いの場合、[Eメール設定]はスキャナキット（オプション）またはプリンタ/スキャナキット（オプション）が装着されている場合にのみ有効です。

• Eメールメッセージのプロパティ

Eメール送信操作によって送信されるEメールメッセージの詳細を設定します。

以下の設定を行うことができます。

- 送信者アドレス
- 送信者名
- 本文

• Eメールの分割送信サイズ

指定した分割サイズでEメール送信ジョブを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。

• Eメールの本文送信

Eメールを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

このオプションは、e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

1 管理者設定メニューの [Eメール設定] を押します。



Eメール設定画面が表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 下記項目を設定し、[OK] を押します。

設定/登録

Eメール設定

送信者アドレス

送信者名

本文

本文送信

有効 無効

分割送信サイズ

分割無 1024

64 2048

128

256

512

キャンセル OK

状況確認

[送信者アドレス]：本機のEメールアドレスを入力します。

[送信者名]：本機の名称を入力します。

[本文]：Eメール送信時に初期値として入力される本文メッセージを入力します。

分割送信サイズ：目的の分割送信サイズボタンを押します。分割しない場合は、[分割無]を押します。

本文送信：本文を送信する場合は、[有効]を押します。送信しない場合は、[無効]を押します。

注意

- Eメール送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。
- [本文送信] は、e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

補足

[送信者アドレス]、[送信者名]、[本文] の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

インターネットファクス設定

このメニューでは、以下の項目を設定します。

注意

e-STUDIO455 Seriesまたは-STUDIO855 Seriesをお使いの場合、[インターネットファクス設定] はスキャナキット（オプション）またはプリンタ/スキャナキット（オプション）が装着されている場合にのみ有効です。

- **インターネットファクスのプロパティ**
インターネットファクスによって送信されるメッセージの詳細を設定します。
以下の設定を行うことができます。
 - 送信者アドレス
 - 送信者名
 - 本文
- **インターネットファクスの分割ページサイズ**
指定した分割ページサイズでインターネットファクスを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。
- **インターネットファクスの本文送信**
インターネットファクスを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

1 管理者設定メニューの [インターネットファクス設定] を押します。



インターネットファクス設定画面が表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 下記項目を設定し、[OK] を押します。

[送信者アドレス]：本機のEメールアドレスを入力します。

[送信者名]：本機の名称を入力します。

[本文]：本文メッセージを入力します。

分割ページサイズ：目的の分割ページサイズボタンを押します。分割しない場合は、[分割無]を押します。

本文送信：本文を送信する場合は、[有効]を押します。送信しない場合は、[無効]を押します。

注意

インターネットファクス送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。

補足

[送信者アドレス]、[送信者名]、[本文] の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

セキュリティ設定

本機でスキャンしたデータを暗号化PDFとして生成する際に適用する、暗号化設定の初期値を設定します。また、暗号化PDF強制モードの有効/無効を切り替えます。

補足

本セキュリティ設定は、共有フォルダ/USBに保管操作およびEメール送信操作に適用します。

1 管理者設定メニューの【セキュリティ設定】を押します。



PDFセキュリティ設定画面が表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 暗号化PDFを生成する際に適用する初期値を設定し、[OK] を押します。

[ユーザーパスワード]：暗号化PDFを開くために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、ユーザーパスワードは設定されていません。

ユーザーパスワードに認証コードを使用：ユーザー認証のユーザー名をユーザーパスワードに使用する場合は、[有効] を押します。ユーザー認証のユーザー名を使用せず、ここで設定するユーザーパスワードを使用する場合は、[無効] を押します。

[マスタパスワード]：PDFの暗号化設定を変更するために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、マスタパスワードは設定されていません。

暗号化レベル：生成するPDFの暗号化レベルを選択します。

- [128bit AES]：Acrobat 7.0、PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。
- [128bit RC4]：Acrobat 5.0、PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。
- [40bit RC4]：Acrobat 3.0、PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。

強制暗号化：本機でスキャンしたデータを出力する際に、強制的に暗号化PDFのみを許可する場合は、[有効] を押します。他のファイル形式（JPEGやTIFFなど）を許可する場合は、[無効] を押します。

権限：暗号化PDFに対する権限を選択します。

- 印刷：印刷を許可します。
- 文書の変更：文書の変更を許可します。
- 内容の抽出：内容のコピーと抽出を許可します。
- アクセシビリティ：アクセシビリティを有効にします。

補 足

[ユーザーパスワード] および [マスタパスワード] を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

注 意

- ユーザーパスワードとマスタパスワードに同じパスワードを設定することはできません。
- ユーザーパスワード、マスタパスワードともに1文字以上32文字以下で設定してください。入力したパスワードは、「*」で表示されます。
- ユーザーパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合は、ユーザはパスワードを変更することはできません。
- マスタパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合は、ユーザは暗号化レベルおよび権限を変更することはできません。
- [40bitRC4] を選択した状態で、[内容の抽出] または [アクセシビリティ] の一方を選択しても、両方の設定が有効になり、また一方を取り消しても両方が無効になります。
- 強制暗号化モードを [有効] に設定すると、暗号化PDF以外のファイル形式（JPEGやTIFFなど）を本機から出力することは禁止されます。また、暗号化PDFを生成できない以下の共有フォルダに保管機能は、使用できなくなります。
 - コピー&ファイル
 - ファクス&ファイル
 - インターネットファクス&ファイル
 - ネットワークファクス&ファイル

レポート出力設定

このメニューでは、以下のレポートの出力設定を行います。

• 通信記録出力

本機では、2種類の通信管理記録が出力できます。通信管理記録は自動的に印刷するか手動で印刷するか選択できます。「自動的に印刷する」を選択した場合、送信管理記録、受信管理記録を何回通信後に印刷するかを設定することができます。

補 足

管理記録は設定した通信数を超えると古いものから削除されます。TopAccess（管理者モード）からCSVファイルとしてエクスポートし、ファイルにすると新しいものから100件の管理記録を保存することができます。

• 通信結果表

すべての通信終了後に、通信結果表を印刷することができます。通信タイプごとに、通信結果表を印刷する状態を選択することができます。

• 通信受付表

通信受付表の設定では、本機のメールボックスに原稿を受信したときに通信受付表を印刷するかどうかを設定します。この設定は、以下のメールボックス通信ごとに通信受付表を印刷するかどうかを設定できます。

- **中継子局**：中継局として親局から中継送信を受信したとき
- **ローカル**：本機のメールボックスに原稿を予約したとき
- **リモート**：他のファクス機から本機のメールボックスに原稿を予約したとき

注 意

e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesでは、スキャナキット（オプション）またはプリンタ／スキャナキット（オプション）が装着されている場合、またはFAXユニット（オプション）が装着されている場合にのみ、[通信記録出力]は有効です。

1 管理者設定メニューの [リスト印刷/レポート設定] を押します。



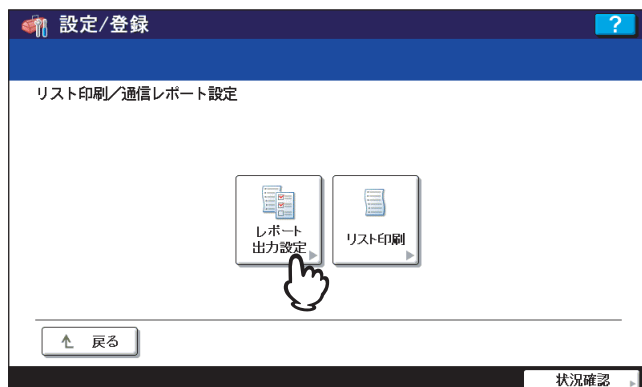
リスト印刷／通信レポート設定メニューが表示されます。

補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

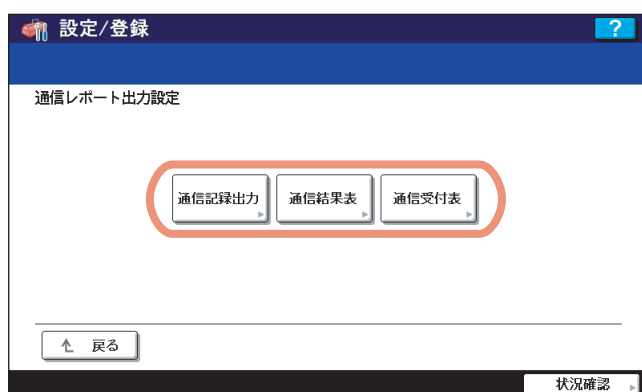
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [レポート出力設定] を押します。



通信レポート出力設定メニューが表示されます。

3 設定したいレポート出力に応じて、操作を続けます。



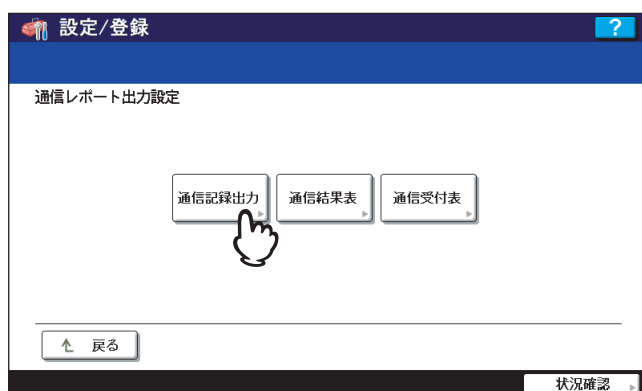
📖 P.144 「通信記録出力を設定する」

📖 P.145 「通信結果表を設定する」

📖 P.147 「通信受付表を設定する」

通信記録出力を設定する

1 [通信記録出力] を押します。



通信記録出力画面が表示されます。

2 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



自動印刷：送信管理記録と受信管理記録を自動的に印刷したい場合に [ON] を押します。[ON] を押すと指定回数の通信が終了すると自動的に送信管理記録、受信管理記録を印刷します。

送信管理記録：送信管理記録に印刷する送信回数を指定する回数ボタンを押します。

受信管理記録：受信管理記録に印刷する受信回数を指定する回数ボタンを押します。

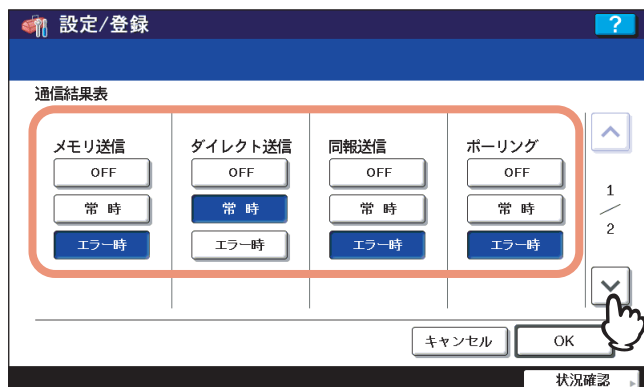
通信結果表を設定する

1 [通信結果表] を押します。



通信結果表画面が表示されます。

2 各通信結果表を印刷する状態を設定し、 を押します。



[OFF]：通信結果表を印刷しない場合に押します。

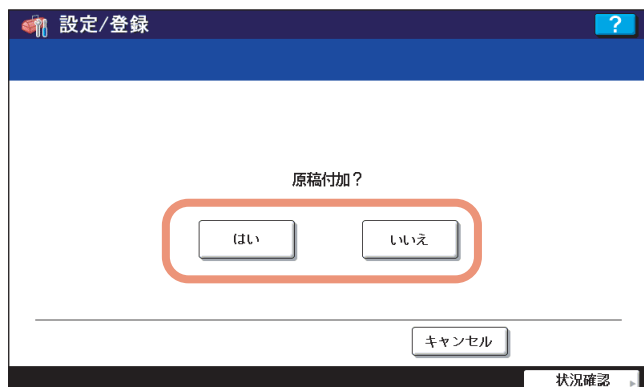
[常時]：通信結果表を常に印刷する場合に押します。

[エラー時]：通信エラーが発生したときに印刷する場合に押します。

注意

「ダイレクト送信」および「ポーリング」はFAXユニット(オプション)が装着されている場合のみ設定できます。

「メモリ送信」または「同報送信」で「常時」または「エラー時」を選択した場合には、タッチパネルに「原稿付加？」と表示されます。送信した原稿の最初のページを付加して通信結果表を印刷したい場合は、「はい」を押します。原稿を付加しない場合は、「いいえ」を押します。



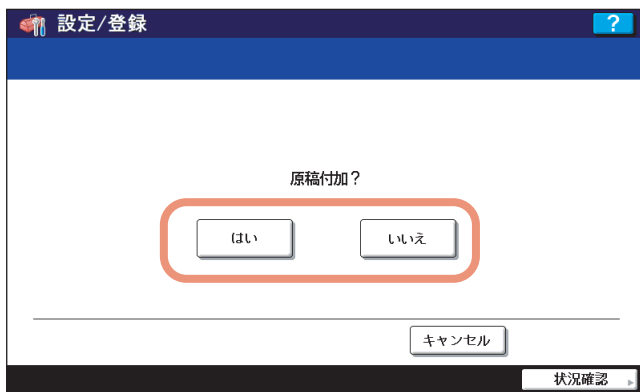
3 各通信結果表を印刷する状態を設定し、[OK] を押します。



注意

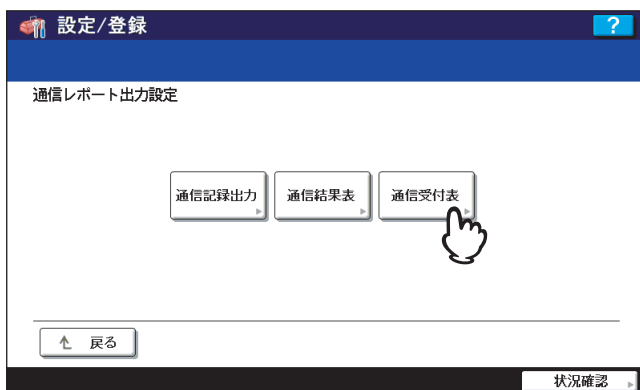
「中継親局」、「中継子局」および「中継孫局」はFAXユニット (オプション) が装着されている場合のみ設定できます。

各ボタンで「常時」または「エラー時」を選択した場合には、タッチパネルに「原稿付加？」と表示されます。送信した原稿の最初のページを付加して通信結果表を印刷したい場合は、「はい」を押します。原稿を付加しない場合は、「いいえ」を押します。



通信受付表を設定する

1 「通信受付表」を押します。



通信受付表画面が表示されます。

2 各通信受付表を印刷するかどうかを設定し、[OK] を押します。



中継子局：親局から中継送信を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。

ローカル：本機のメールアドレスにローカルからの文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。

リモート：本機のメールアドレスに他の機からリモートで文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。

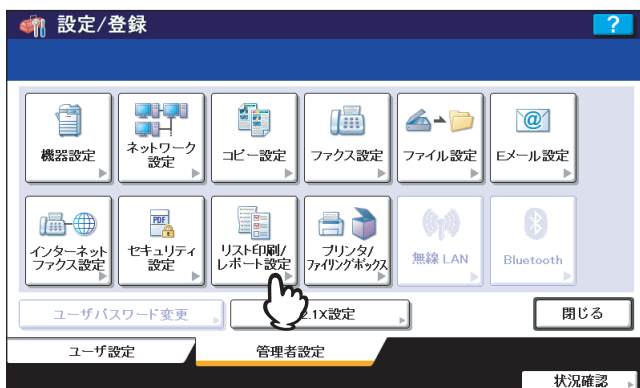
リスト印刷

NIC設定ページ、システム設定リスト、PS3とPCLフォントのリストを印刷します。

* 各リストの印字例は、以下のページを参照してください。

📖 P.202 「リスト印字例」

1 管理者設定メニューの [リスト印刷/レポート設定] を押します。



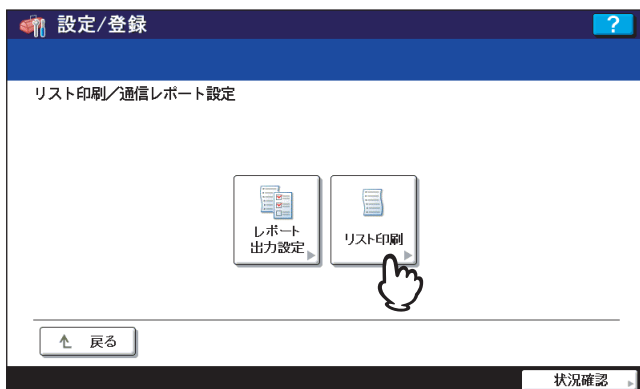
リスト印刷/通信レポート設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

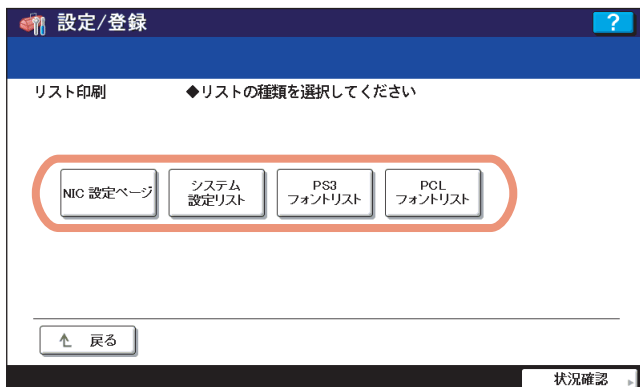
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 [リスト印刷] を押します。



リスト印刷画面が表示されます。

3 印刷したいリストボタンを押します。



選択したリストが印字されます。

プリンタ／ファイリングボックス設定

印刷ジョブまたはファイリングボックス文書の印刷に適用するプリンタ設定を設定します。

1 管理者設定メニューの【プリンタ/ファイリングボックス】を押します。



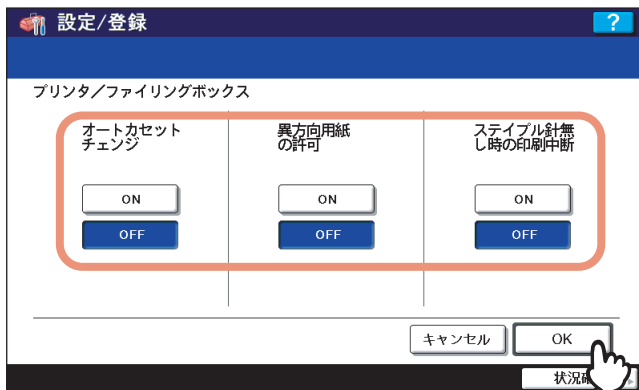
プリンタ/ファイリングボックス画面が表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 必要に応じて下記項目を設定し、【OK】を押します。



オートカセットチェンジ：印刷を行う際に用紙の給紙元に特定のカセットを指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。

[ON] にすると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。用紙の給紙方法で【自動カセット選択】を選択して印刷を行う際は、この機能は常に有効となります。プリンタのプロパティ画面の詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

異方向用紙の許可：[ON] にすると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。

補足

印刷中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のとおりです。

A4サイズの内紙に印刷中にオートカセットチェンジする場合の例です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	[自動カセット選択] 指定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの内紙を給紙	A4およびA4-Rの内紙を給紙
ON	OFF	A4の内紙を給紙	A4の内紙を給紙
OFF	ON	A4およびA4-Rの内紙を給紙	—
OFF	OFF	A4の内紙を給紙	—

ステイプル針無し時の印刷中断：[ON] を選択すると、ステイプル針切れを起こした場合、印刷を中断します。[OFF] を選択した場合は、ステイプル針切れが起きても、ステイプルせずに印刷を続行します。

無線LANモジュール（オプション）が装着されている場合は、[無線LAN] から無線LANモジュールの設定を行うことができます。無線LAN設定については、**GN-1050無線LANモジュール取扱説明書**を参照してください。

Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合は、[Bluetooth] からBluetoothモジュールの設定を行うことができます。Bluetooth設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。

ユーザパスワード変更

本機で内部認証機能を使用している際に、ユーザが設定されている認証パスワードを忘れてしまった場合などに、管理者メニューからそのユーザのパスワードを変更できます。

1 管理者設定メニューの「ユーザパスワード変更」を押します。



パスワード変更画面が表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

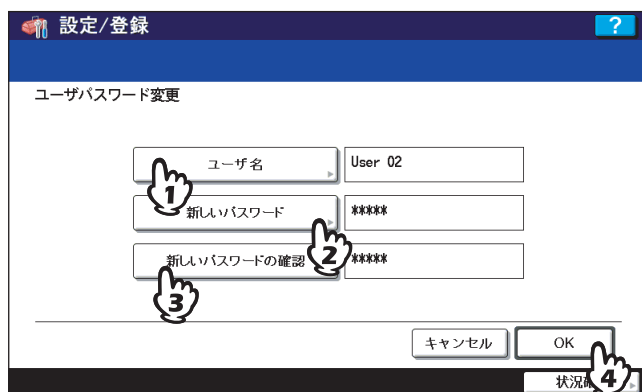
📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

注意

「ユーザパスワード変更」は、内部認証機能が有効な場合のみ使用できます。内部認証機能を有効に設定するには、TopAccessから操作します。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

2 ユーザパスワードを変更します。

- 1) 「ユーザ名」を押して、認証パスワードを変更するユーザ名を入力します。
- 2) 「新しいパスワード」を押して、新しいパスワードを入力します。
- 3) 「新しいパスワードの確認」を押して、新しいパスワードを再度入力します。
- 4) 「OK」を押して、新しいパスワードを保存します。



補足

- 上記ボタン（「ユーザ名」、「新しいパスワード」および「新しいパスワードの確認」）を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、「OK」を押して入力を確定します。
- 「新しいパスワード」および「新しいパスワードの確認」ボックスに入力されたパスワードは、*（アスタリスク）で表示されます。

有線LAN環境における802.1X認証を設定します。

本機が対応する認証方式は、以下のとおりです。

- EAP-MSCHAP v2
- EAP-MD5
- EAP-TLS
- PEAP
 - 内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
 - EAP-MSCHAP v2
- EAP-TTLS
 - 内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
 - PAP
 - CHAP
 - EAP-MSCHAP v2
 - EAP-MD5

802.1X認証機能を有効にするには、必要に応じてTopAccessで証明書を本機にインストールします。インストールが必要な証明書は以下のとおりです。

認証方式	内部認証方式	CA証明書	ユーザ証明書
EAP-MSCHAP v2	—	—	—
EAP-MD5	—	—	—
EAP-TLS	—	要	要
PEAP	EAP-MSCHAP v2	要	—
EAP-TTLS	PAP	要	—
	CHAP	要	—
	EAP-MD5	要	—
	EAP-MSCHAP v2	要	—

補足

証明書のインストール方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

選択する認証方式によって、設定方法は異なります。

■ 802.1X認証をセットアップする

1 管理者設定メニューの [802.1X設定] を押します。



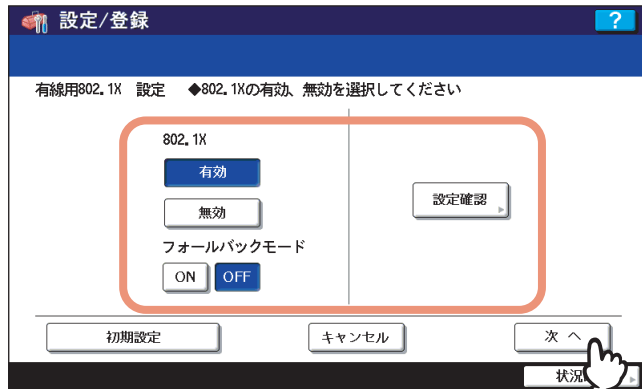
有線用802.1X設定画面が表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.71 「管理者設定メニューに入る」

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



802.1X：802.1X認証を有効にする場合は、[有効] を押します。802.1X認証を無効にする場合は、[無効] を押します。

フォールバックモード：802.1X対応の認証スイッチが見つからなかったときに、自動的に802.1X認証を無効にする場合は、[ON] を選択します。

【設定確認】：現在の設定と認証状態を確認します。

【初期設定】：802.1Xの設定を工場出荷時の状態に戻します。

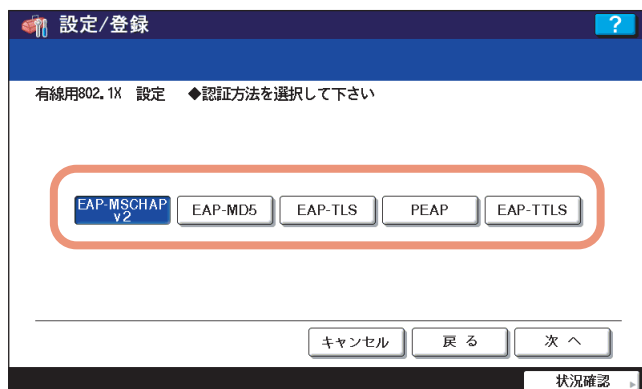
注意

【設定確認】 およびフォールバックモードは、802.1X認証を有効にすると使用できます。

補足

802.1X認証を「有効」から「無効」に切り替えた場合は、[次へ] を押し、設定内容の確認画面で[更新] を押して、設定を終了してください。

3 設定したい802.1X認証に応じて、操作を続けます。



📖 P.155 「EAP-MSCHAP v2を設定する」

📖 P.156 「EAP-MD5を設定する」

📖 P.157 「EAP-TLSを設定する」

📖 P.159 「PEAPを設定する」

📖 P.161 「EAP-TTLSを設定する」

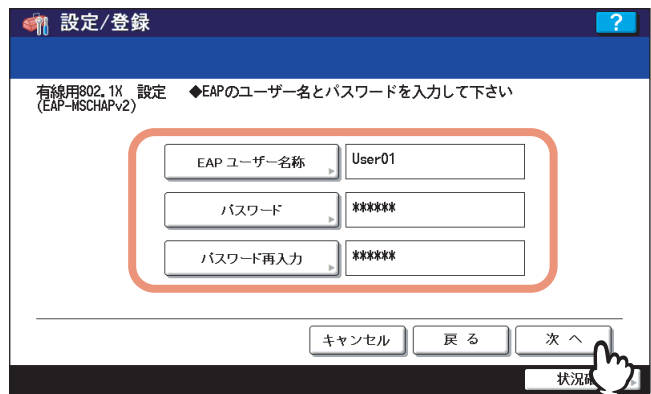
□ EAP-MSCHAP v2を設定する

1 [EAP-MSCHAP v2] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-MSCHAP v2) 画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名称] : EAPユーザ名を入力します。

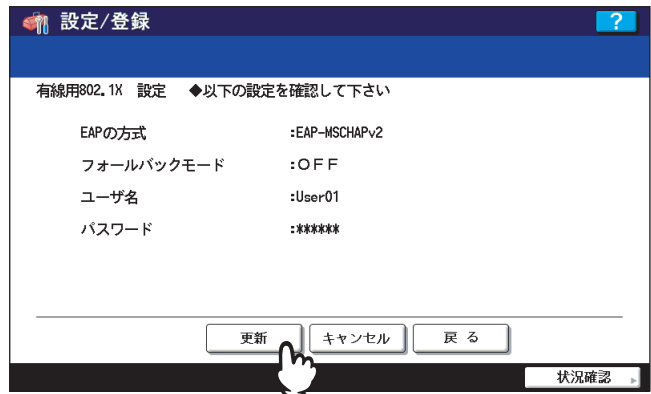
[パスワード] : 認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力] : 認証パスワードを再入力します。

補足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

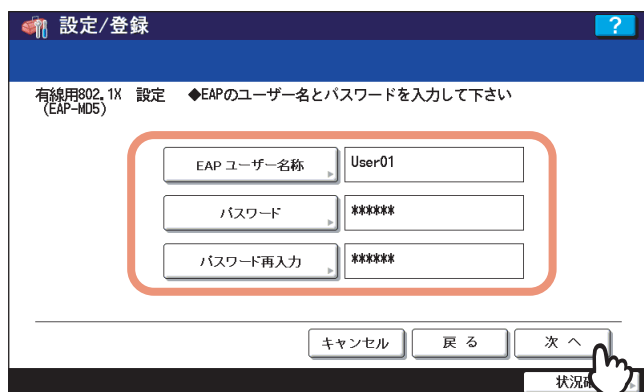
□ EAP-MD5を設定する

1 [EAP-MD5] を選択し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（EAP-MD5）画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名称]：EAPユーザ名を入力します。

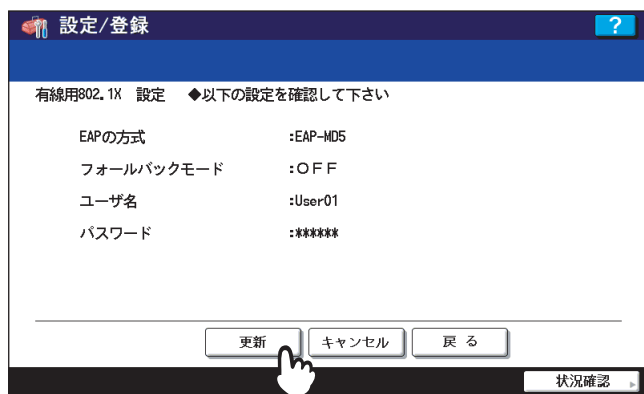
[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

補 足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK]を押して入力を確定します。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

□ EAP-TLSを設定する

注意

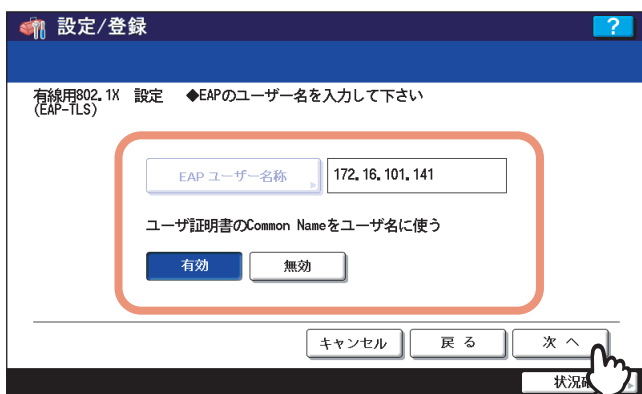
認証機能を設定する前に、CA証明書およびユーザ証明書を本機にインストールしてください。インストール方法は、**TopAccessガイド**を参照してください。

1 [EAP-TLS] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（EAP-TLS）画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名称]：EAPユーザ名を入力します。

ユーザー証明書のCommon Nameをユーザ名に使う：本機にインストールされているユーザ証明書のCommon Name（コモンネーム）をEAPユーザ名に設定する場合は、**[有効]**を押します。

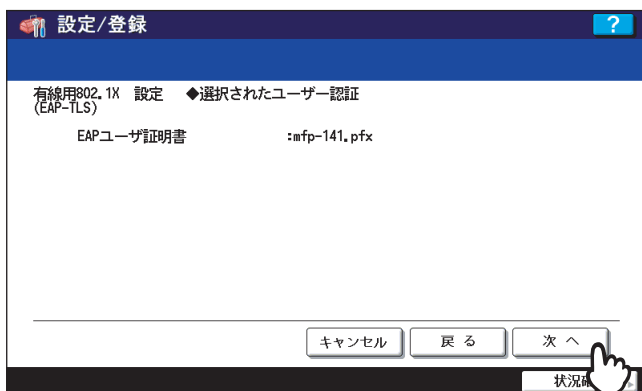
注意

「ユーザー証明書のCommon Nameをユーザ名に使う」を**[有効]**に設定すると、**[EAPユーザー名称]**を入力することはできません。

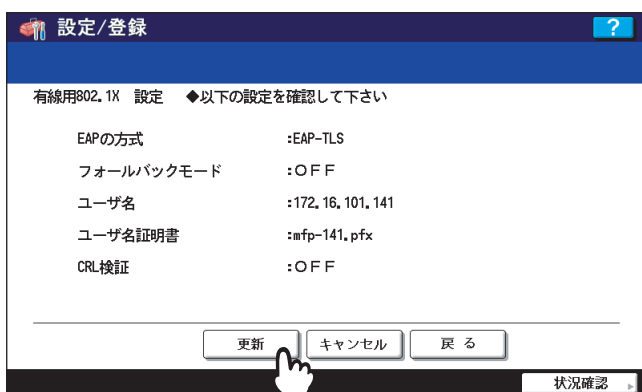
補足

[EAPユーザー名称]を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、**[OK]**を押して入力を確定します。

- 3 本機にインストールされているユーザ証明書が表示されます。内容を確認し、[次へ] を押します。



- 4 設定内容を確認し、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

「CRL検証」には、CRL（Certificate Revocation List；証明書失効リスト）の有効／無効が表示されます。CRLを使用するには、TopAccessのセキュリティ設定でCRLファイルを本機にアップロードする必要があります。また、CRLの有効／無効の切り替えもTopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

□ PEAPを設定する

注意

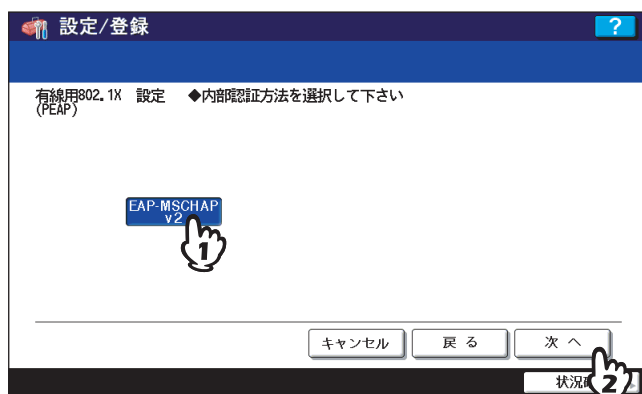
- 認証機能を設定する前に、CA証明書を本機にインストールしてください。インストール方法は、**TopAccessガイド**を参照してください。
- Windows Server 2008では、PEAPは使用できません。

1 [PEAP] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (PEAP) 画面が表示されます。

2 内部認証方式に [EAP-MSCHAP v2] を選択し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-MSCHAP v2) 画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、[次へ] を押します。

[EAPユーザー名称]：EAPユーザ名を入力します。

[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

補足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK]を押して入力を確定します。

4 設定内容を確認し、[更新] を押します。

設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

「CRL検証」には、CRL（Certificate Revocation List；証明書失効リスト）の有効／無効が表示されます。CRLを使用するには、TopAccessのセキュリティ設定でCRLファイルを本機にアップロードする必要があります。また、CRLの有効／無効の切り替えもTopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

□ EAP-TTLSを設定する

注意

認証機能を設定する前に、CA証明書を本機にインストールしてください。インストール方法は、**TopAccessガイド**を参照してください。

1 [EAP-TTLS] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-TTLS) 画面が表示されます。

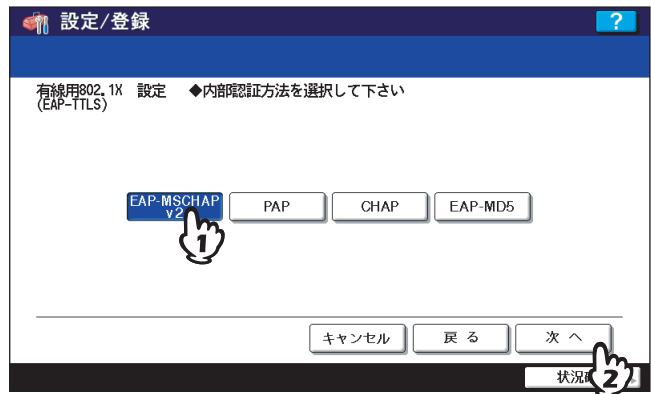
2 設定したい内部認証方式に応じて、操作を続けます。



- 📖 P.161 「内部認証にEAP-MSCHAP v2を設定する」
- 📖 P.163 「内部認証にPAPを設定する」
- 📖 P.164 「内部認証にCHAPを設定する」
- 📖 P.166 「内部認証にEAP-MD5を設定する」

内部認証にEAP-MSCHAP v2を設定する

1 [EAP-MSCHAP v2] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-MSCHAP v2) 画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。

[EAPユーザー名称]：EAPユーザ名を入力します。

[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

補足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK]を押して入力を確定します。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。

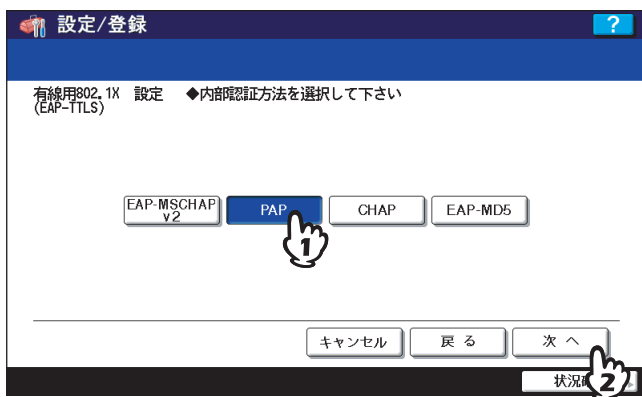
設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

「CRL検証」には、CRL（Certificate Revocation List；証明書失効リスト）の有効／無効が表示されます。CRLを使用するには、TopAccessのセキュリティ設定でCRLファイルを本機にアップロードする必要があります。また、CRLの有効／無効の切り替えもTopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

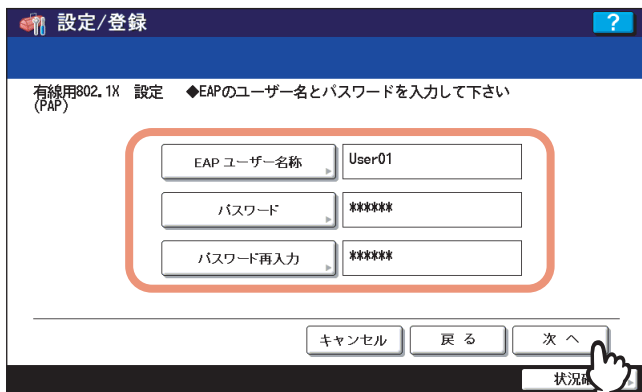
内部認証にPAPを設定する

1 [PAP] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (PAP) 画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名称]：EAPユーザ名を入力します。

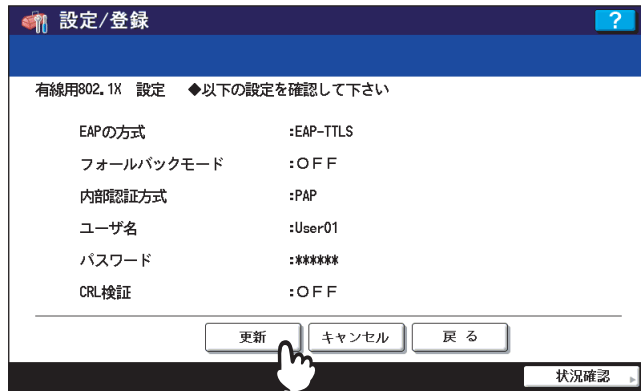
[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

補足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK]を押して入力を確定します。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

「CRL検証」には、CRL（Certificate Revocation List；証明書失効リスト）の有効／無効が表示されます。CRLを使用するには、TopAccessのセキュリティ設定でCRLファイルを本機にアップロードする必要があります。また、CRLの有効／無効の切り替えもTopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

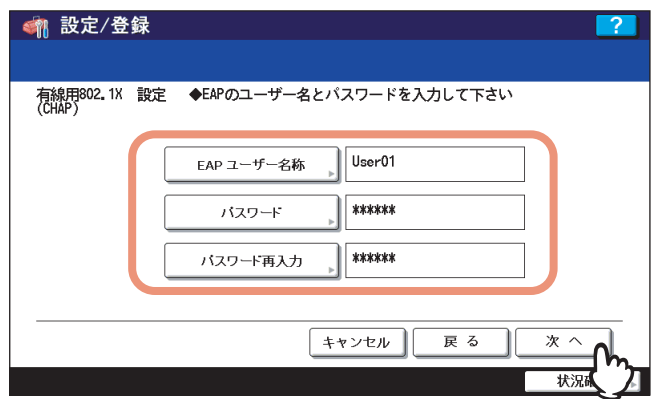
内部認証にCHAPを設定する

1 [CHAP] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（CHAP）画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。

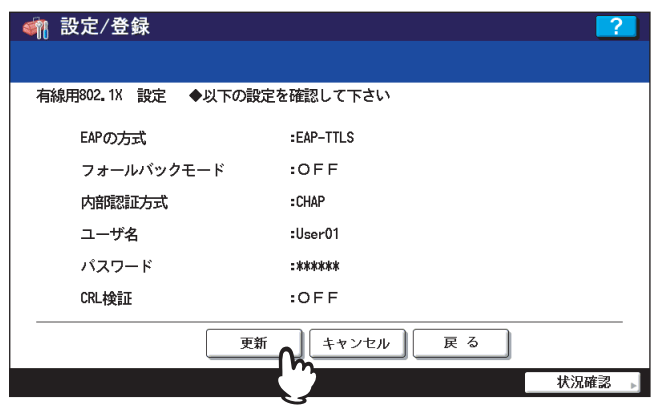


- [EAPユーザー名称] : EAPユーザ名を入力します。
- [パスワード] : 認証パスワードを入力します。
- [パスワード再入力] : 認証パスワードを再入力します。

補足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK]を押して入力を確定します。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

「CRL検証」には、CRL (Certificate Revocation List ; 証明書失効リスト) の有効/無効が表示されます。CRLを使用するには、TopAccessのセキュリティ設定でCRLファイルを本機にアップロードする必要があります。また、CRLの有効/無効の切り替えもTopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

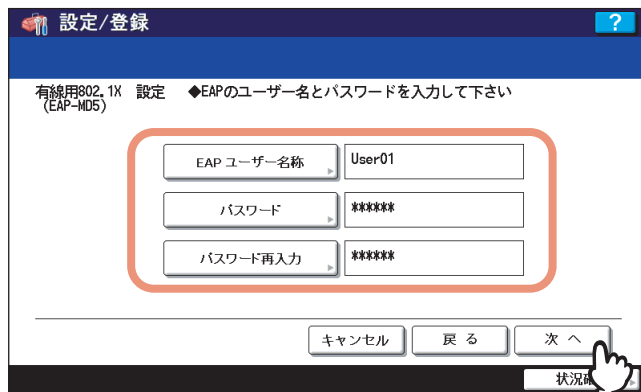
内部認証にEAP-MD5を設定する

1 [EAP-MD5] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（EAP-MD5）画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名称]：EAPユーザ名を入力します。

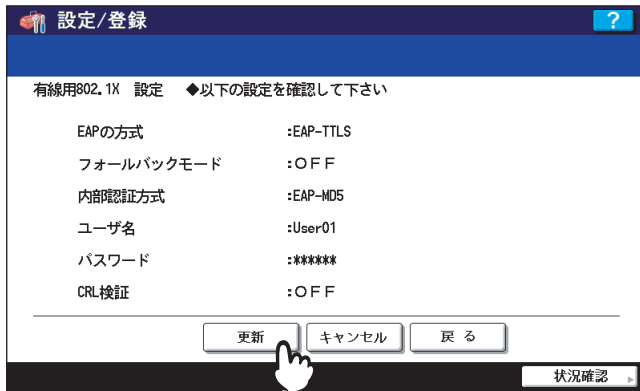
[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

補足

上記の各ボタンを押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK]を押して入力を確定します。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

「CRL検証」には、CRL（Certificate Revocation List；証明書失効リスト）の有効／無効が表示されます。CRLを使用するには、TopAccessのセキュリティ設定でCRLファイルを本機にアップロードする必要があります。また、CRLの有効／無効の切り替えもTopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

□ エラーメッセージについて

802.1X認証に関して、以下のエラーメッセージがタッチパネルに表示される場合があります。

エラーメッセージ	原因
[802.1X] 認証サーバがスイッチに接続できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> • RADIUSサーバーが停止している • RADIUSサーバーが正しく設定されていない • 認証スイッチなどのオーセンティケータの不具合
[802.1X] 認証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 間違ったユーザ名やパスワードを入力した • アップロードされた証明書が間違っている
[802.1X] 認証なしにフォールバックしました。	802.1X認証対応の認証スイッチが見つからなかったが、フォールバック機能によりネットワーク通信を開始している

カウンタの管理

トータルカウンタ	170
トータルカウンタ印刷	175
部門管理カウンタ	176
部門管理	182
部門管理設定メニューに入る	182
部門管理リストの印刷	184
部門管理の有効／無効	185
全部門コードカウンタのクリア	186
全部門コードの削除	187
新しい部門コードの登録	188
部門コードの変更	191
部門コードの削除	194
部門カウンタのクリア	195
全部門一括制限	197
ブラック無制限	199
ユーザパスワード変更	200

トータルカウンタ

この機能では、以下のトータルカウント値を表示します。

- **プリントカウンタ**

本機の出カトータルカウント値を表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。

- **コピーカウンタ**：コピー操作で印刷された枚数を表示します。
- **ファクスカウンタ**：ファクス受信で印刷した枚数を表示します。
- **プリンタカウンタ**：印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
- **リストカウンタ**：システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

- **スキャンカウンタ**

本機でスキャンした原稿のトータルカウント値を表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。

- **コピーカウンタ**：コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
- **ファクスカウンタ**：ファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
- **ネットワークカウンタ**：スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

注意

トータルカウンタをクリアすることはできません。

- 1 操作パネルの **「カウンタ」** ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。
- 2 **「トータルカウンタ」** を押します。



トータルカウンタメニューが表示されます。

- 3 表示したいカウンタに応じて、操作を続けます。

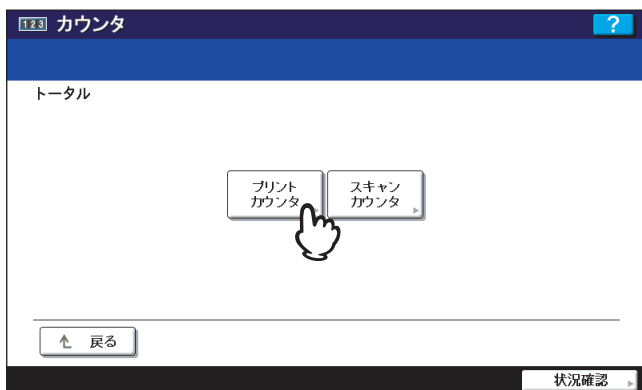


📖 P.171 「プリントカウンタを表示する」

📖 P.172 「スキャンカウンタを表示する」

プリントカウンタを表示する

1 [プリントカウンタ] を押します。



2 プリントカウンタが表示されます。

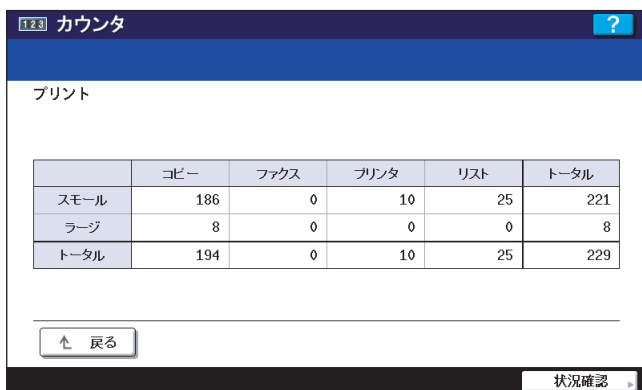
e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



補足

e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合は、手順3に進んでください。

e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



3 目的のボタンを選択します。



- コピー枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- 印刷枚数を表示するには、[プリンタ] を押します。
- リスト枚数を表示するには、[リスト] を押します。

スキャンカウンタを表示する

1 [スキャンカウンタ] を押します。



2 スキャンカウンタが表示されます。

e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合

	フルカラー	2色/モノカラー	ブラック	トータル
コピー	297	1	252	550
ファクス	0	0	331	331
ネットワーク	25	0	336	361
トータル	322	1	919	1242

↑ 戻る

状況確認

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合

	カラー	ブラック	トータル
コピー	-	283	283
ファクス	-	21	21
ネットワーク	3	19	22
トータル	3	323	326

↑ 戻る

状況確認

補足

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合は、手順3に進んでください。

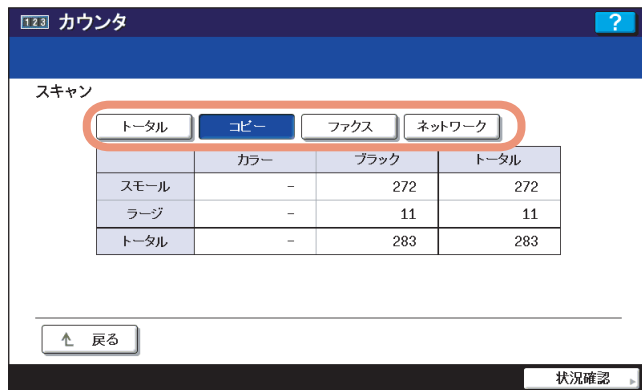
e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合

	コピー	ファクス	ネットワーク	トータル
スモール	1146	17	3	1166
ラージ	24	1	6	31
トータル	1170	18	9	1197

↑ 戻る

状況確認

3 目的のボタンを選択します。

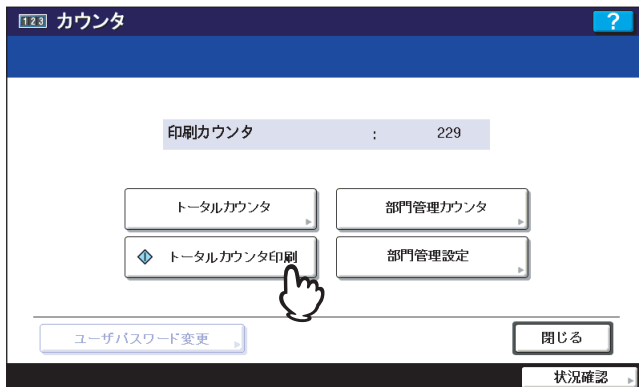


- コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ネットワーク] を押します。

トータルカウンタ印刷

トータルカウンタリストを印刷します。

- 1 操作パネルの [カウンタ] ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。
- 2 [トータルカウンタ印刷] を押します。



- 本機が部門管理されていない場合は、トータルカウンタリストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとトータルカウンタリストが印刷されます。

補足

トータルカウンタリストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。

📖 P.202 「トータルカウンタリスト」

部門管理カウンタ

この機能では、以下の部門管理カウンタ値を表示します。

注意

部門管理カウンタは、部門管理を有効にしている場合に利用できます。

📖 P.182 「部門管理」

• 部門プリントカウンタ

出力紙のカウント値を部門コードごとに表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。

- **コピーカウンタ**：コピー操作で印刷された枚数を表示します。
- **ファクスカウンタ**：ファクス受信で印刷した枚数を表示します。
- **プリンタカウンタ**：印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
- **リストカウンタ**：システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

補足

サービスマンコード設定で、コピー／ファクス／プリンタ／スキャン／リスト印刷の部門管理機能を個別に無効に選択できます。詳しくはサービスエンジニアにお問い合わせください。

• 部門スキャンカウンタ

本機でスキャンした原稿の枚数を部門コードごとに表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。

- **コピーカウンタ**：コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
- **ファクスカウンタ**：ファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
- **ネットワークカウンタ**：スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

• 部門ファクス通信カウンタ

ファクス／インターネットファクス送信および受信の通信回数を部門コードごとに表示します。ファクス通信カウンタには、以下のカウンタがあります。

- **送信**：ファクス送信の通信回数を表示します。
- **受信**：ファクスポーリング受信の通信回数を表示します。

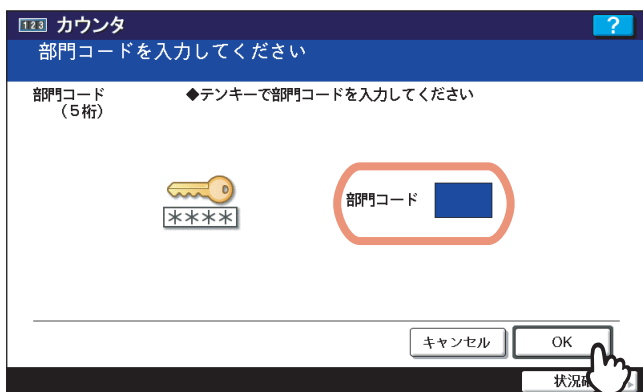
1 操作パネルの [カウンタ] ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。

2 [部門管理カウンタ] を押します。

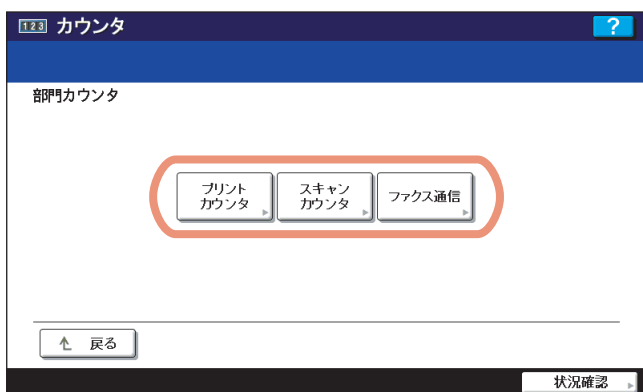


部門コードの入力画面が表示されます。

3 テンキーで部門コードを入力し、[OK] を押します。



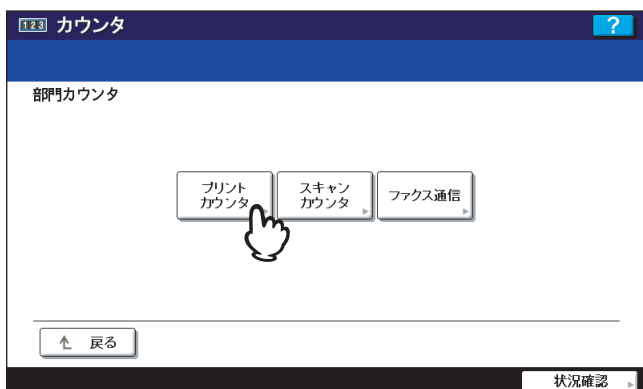
4 表示したいカウンタに応じて、操作を続けます。



- 📖 P.177 「部門プリントカウンタを表示する」
- 📖 P.179 「部門スキャンカウンタを表示する」
- 📖 P.181 「部門ファクス送信カウンタを表示する」

部門プリントカウンタを表示する

1 「プリントカウンタ」を押します。



2 指定した部門のプリントカウンタが表示されます。 e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合

123 カウンタ ?

トータル コピー ファクス プリンタ リスト

	フルカラー	2色/モノカラー	ブラック	トータル
コピー	0	0	0	0
ファクス	0	0	0	0
プリンタ	0	0	0	0
リスト	0	0	0	0
トータル	0	0	0	0

戻る 状況確認

補足

e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合は、手順3に進んでください。

e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合

123 カウンタ ?

プリント

	コピー	ファクス	プリンタ	リスト	トータル
スモール	0	0	0	0	0
ラージ	0	0	0	0	0
トータル	0	0	0	0	0

戻る 状況確認

3 目的のボタンを選択します。

123 カウンタ ?

コピー

トータル コピー ファクス プリンタ リスト

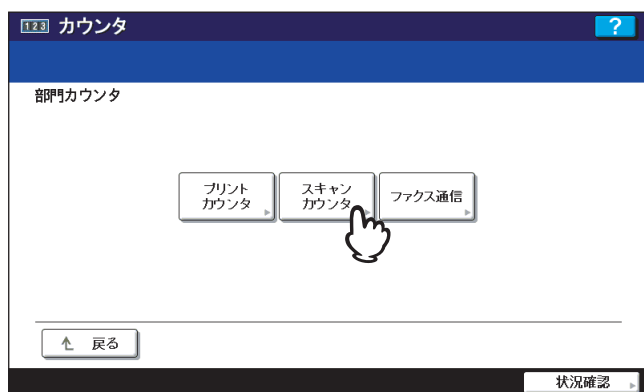
	フルカラー	2色/モノカラー	ブラック	トータル
スモール	0	0	0	0
ラージ	0	0	0	0
トータル	0	0	0	0

戻る 状況確認

- コピー枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- 印刷枚数を表示するには、[プリンタ] を押します。
- リスト枚数を表示するには、[リスト] を押します。

部門スキャンカウンタを表示する

- 1 [スキャンカウンタ] を押します。



2 指定した部門のスキャンカウンタが表示されます。
e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合

123 カウンタ ?

スキャン

	フルカラー	2色/モノカラー	ブラック	トータル
コピー	0	0	0	0
ファクス	0	0	0	0
ネットワーク	0	0	0	0
トータル	0	0	0	0

↑ 戻る

状況確認

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合

123 カウンタ ?

スキャン

トータル コピー ファクス ネットワーク

	カラー	ブラック	トータル
コピー	-	0	0
ファクス	-	0	0
ネットワーク	0	0	0
トータル	0	0	0

↑ 戻る

状況確認

補 足

e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合は、手順3に進んでください。

e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合

123 カウンタ ?

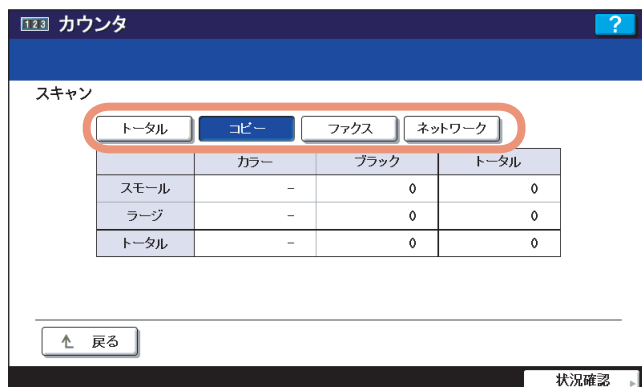
スキャン

	コピー	ファクス	ネットワーク	トータル
スモール	0	0	0	0
ラージ	0	0	0	0
トータル	0	0	0	0

↑ 戻る

状況確認

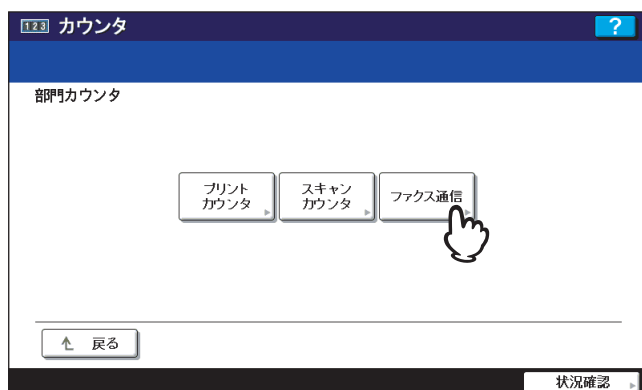
3 目的のボタンを選択します。



- コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ネットワーク] を押します。

部門ファクス送信カウンタを表示する

1 [ファクス通信] を押します。



2 指定した部門のファクス通信カウンタが表示されます。



■ 部門管理設定メニューに入る

利用目的に応じた分類で部門コードを設定し、カウンタ値を管理することができます。1000部門まで登録することができます。

部門コードを管理するには、装置の管理者パスワードを知っている必要があります。設置場所の管理責任者が部門コードの管理を行うことをお勧めします。

注意

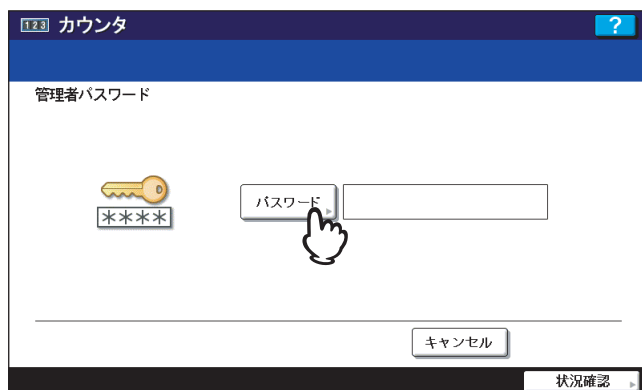
ユーザ管理設定が有効になっている場合、アカウントマネージャ権限を持ったユーザ名でログインすると管理者パスワード画面は表示されず、そのまま部門管理設定メニューが表示されます。

- 1 操作パネルの [カウンタ] ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。
- 2 [部門管理設定] を押します。



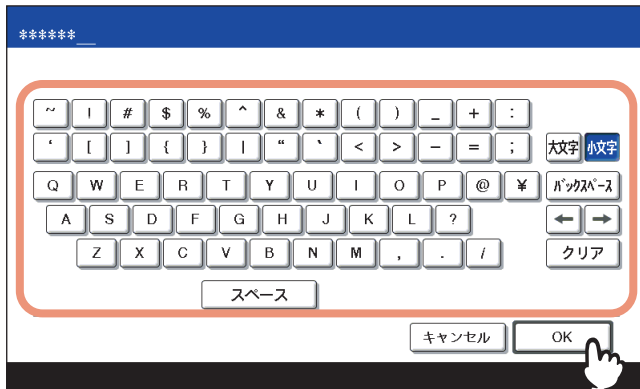
管理者パスワード画面が表示されます。

- 3 [パスワード] を押します。



パスワードの入力画面が表示されます。

4 文字入力画面およびテンキーで管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。



部門管理設定メニューが表示されます。

補足

管理者パスワードを変更したことがない場合は、工場出荷時のパスワード「123456」を入力します。

注意

誤ったパスワードを3回続けて入力すると、30秒間本機の操作ができなくなります。この場合には、30秒間待ち、操作可能になったらパスワードを再度入力してください。

5 必要な操作を続けて行います。



- 📖 P.184 「部門管理リストの印刷」
- 📖 P.185 「部門管理の有効／無効」
- 📖 P.186 「全部門コードカウンタのクリア」
- 📖 P.187 「全部門コードの削除」
- 📖 P.188 「新しい部門コードの登録」
- 📖 P.191 「部門コードの変更」
- 📖 P.194 「部門コードの削除」
- 📖 P.195 「部門カウンタのクリア」
- 📖 P.197 「全部門一括制限」
- 📖 P.199 「ブラック無制限」

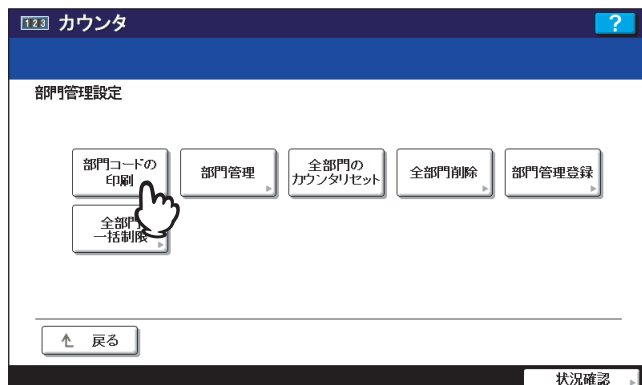
注意

- 「部門管理」および「部門管理登録」を除いたメニューは、1つ以上の部門コードを登録し、部門管理を有効に設定した後に使用できます。
- 「ブラック無制限」は、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

■ 部門管理リストの印刷

登録されている部門コードと各部門のカウンタ値を印刷します。

1 部門管理設定メニューで、[部門コードの印刷] を押します。



印刷を開始します。

補 足

- 部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」
- 部門管理リストには、部門コードとカウンタ値が1枚に2件ずつ印刷されます。部門コードの出力例については、以下のページを参照してください。
📖 P.203 「部門管理リスト」

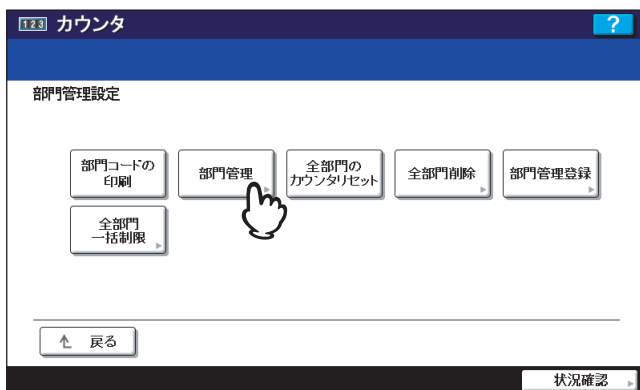
■ 部門管理の有効／無効

初期設定では、部門管理は無効になっています。部門ごとにカウンタを管理したい場合は、部門管理を有効に設定します。部門管理を有効にすると、操作パネルからコピーやスキャン、ファクス送信、ファイリングボックスの操作などを行うときに部門コードの入力画面を表示し、本機の操作を部門ごとに管理することができます。また、部門管理を有効にすると、コンピュータからの印刷操作も部門ごとに管理することができます。

注意

- [部門管理] は、1 つ以上の部門コードを登録後に有効になります。部門管理を有効にする前に、必要な部門コードの登録を行ってください。
 ④ P.188 「新しい部門コードの登録」
- コンピュータからの印刷を部門管理する場合、印刷時に部門コードの入力を必須にするか、または部門コードが入力されていないなくても印刷を許可するかをTopAccessを使って設定することができます。TopAccessから印刷操作の部門管理強制を設定する方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- 部門管理機能は、Web Serviceスキャンをサポートしていません。部門管理機能が有効なときに実行されたWeb Serviceスキャンジョブは、常に「部門カウンタの番号-1001、部門名称-未定義」にカウントされます。

1 部門管理設定メニューで、[部門管理] を押します。



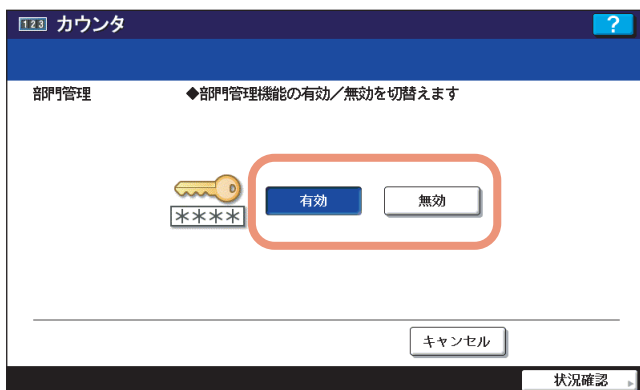
部門管理画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

④ P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 部門管理を有効にするときは、[有効] を押します。部門管理を無効にするときは、[無効] を押します。



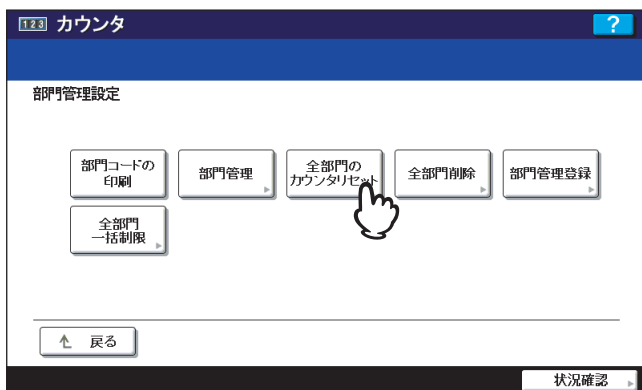
■ 全部門コードカウンタのクリア

全部門のカウンタ値をクリアします。

注意

- 部門コードを有効にしているときに、この操作を行うことができます。
- 部門カウンタをクリアするだけで、トータルカウンタはクリアしません。

1 部門管理設定メニューで、[全部門のカウンタリセット] を押します。



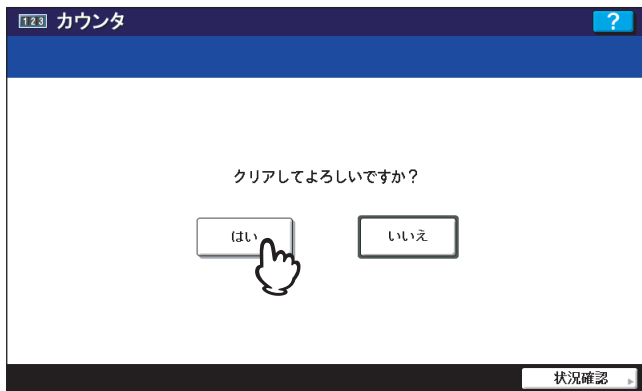
リセットの確認画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 [はい] を押して部門カウンタをクリアします。



部門カウンタのクリアを中止するときは、[いいえ] を押します。

■ 全部門コードの削除

登録したすべての部門コードを削除します。

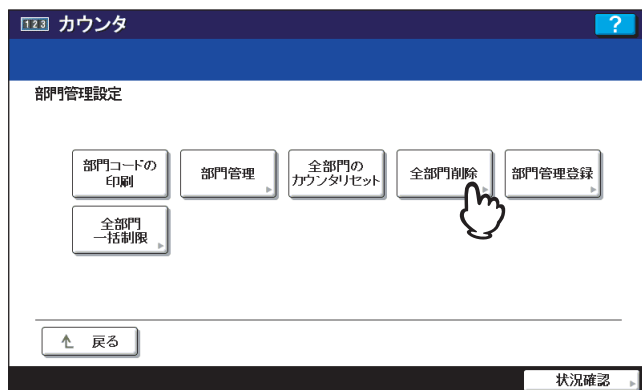
注意

[全部門削除] は、部門管理を有効にし、かつ1つ以上の部門コードを登録後に有効になります。

📖 P.185 「部門管理の有効/無効」

📖 P.188 「新しい部門コードの登録」

1 部門管理設定メニューで、[全部門削除] を押します。



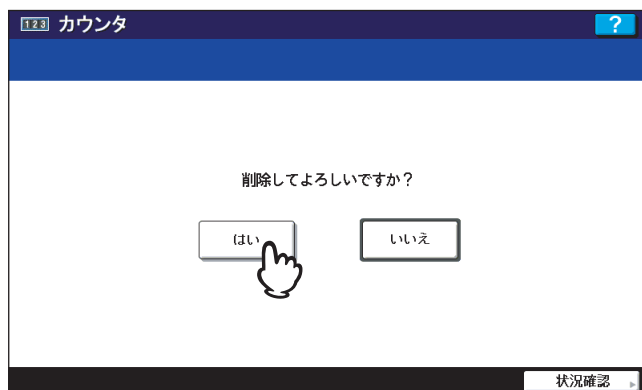
削除確認画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 [はい] を押して全部門コードを削除します。



全部門コードの削除を中止するときは、[いいえ] を押します。

■ 新しい部門コードの登録

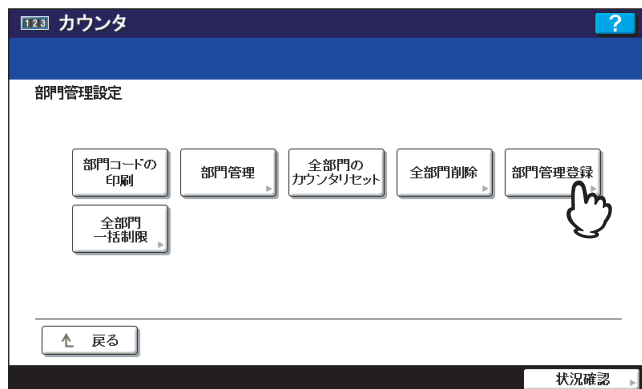
新しい部門コードを追加します。

注意

部門コードを登録したら、部門管理設定を有効にしてください。

📖 P.185 「部門管理の有効／無効」

1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。



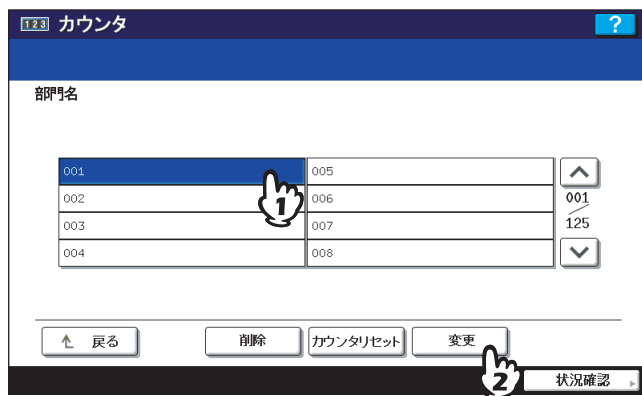
部門コード画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 部門を登録する空きボタンを押して、[変更] を押します。



入力画面が表示されます。

補足

タッチパネルに部門を登録できる空きボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

3 文字入力画面およびテンキーから部門名を入力し、[OK] を押します。



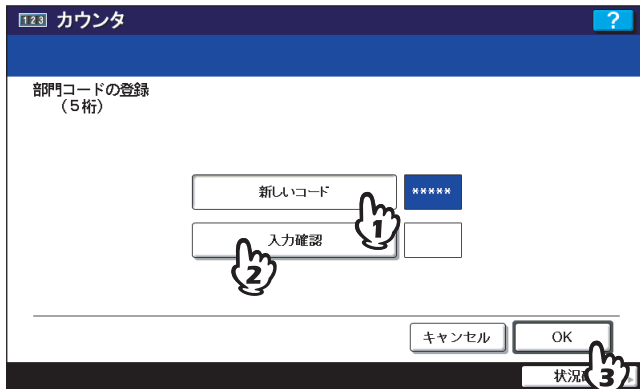
部門コードの登録画面が表示されます。

補足

文字入力のしかたの詳細は、**クイックスタートガイド**を参照してください。
 また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
[P.225 「区点コード表」](#)

4 部門コードを設定します。

- 1) [新しいコード] を押し、テンキーから5桁の部門コードを入力します。
- 2) [入力確認] を押し、テンキーから5桁の部門コードを再度入力します。
- 3) [OK] を押し、部門コードを保存します。



リミテーション画面が表示されます。

補足

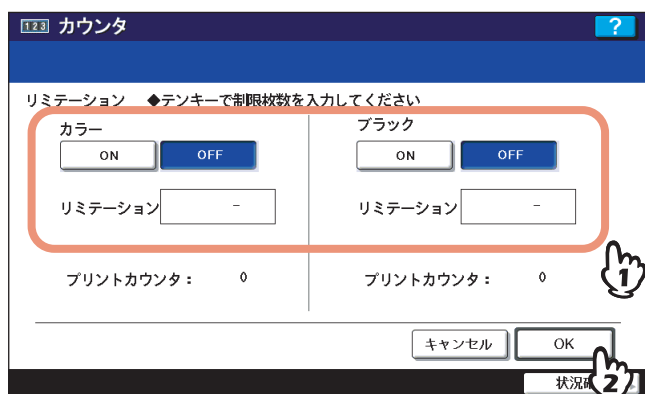
- コードを入力すると、[新しいコード] および [入力確認] のボックスに* (アスタリスク) が表示されます。
- コードをクリアし再度入力したい場合は、操作パネルの [クリア] ボタンを押します。

注意

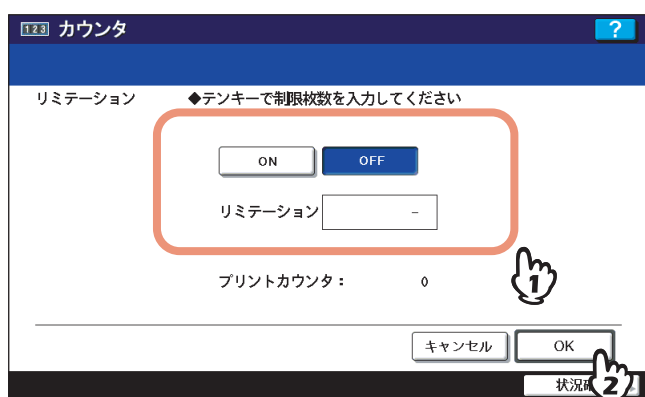
部門コードは5桁で入力してください。(「00000」は入力できません。)

5 必要に応じて部門コードの出力制限を設定し、[OK] を押します。

e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



カラー：この部門コードのカラー出力を制限する場合は、[ON] を押します。[ON] を選択した場合は、「リミテーション」欄に、テンキーからこの部門コードに許される最大出力数を入力します。99,999,999まで入力できます。出力数を制限しない場合は、[OFF] を押します。

ブラック：この部門コードのモノクロ出力を制限する場合は、[ON] を押します。[ON] を選択した場合は、「リミテーション」欄に、テンキーからこの部門コードに許される最大出力数を入力します。99,999,999まで入力できます。出力数を制限しない場合は、[OFF] を押します。

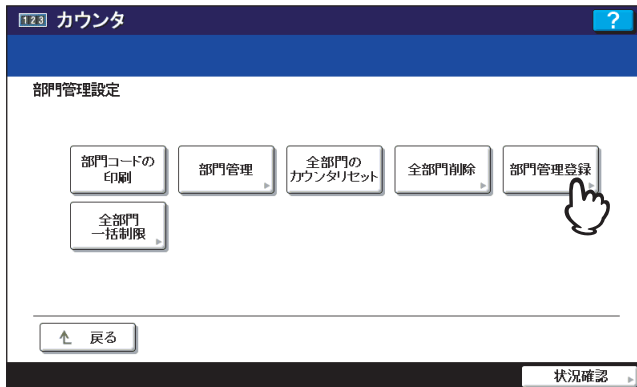
注意

- [カラー] は、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ設定できます。
- リミテーションを「0」に設定すると、出力できなくなります。
- 印刷中に印刷枚数がリミテーションを超えた場合は、ジョブを即座に中止することができないため、設定値を数枚超えて印刷され、カウントされる場合があります。
- e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesでブラック無制限機能 (P.199) が有効になっている場合は、ブラックリミテーションを設定することはできません。

■ 部門コードの変更

登録済みの部門コードを編集します。

1 部門管理設定メニューから、[部門管理登録] を押します。



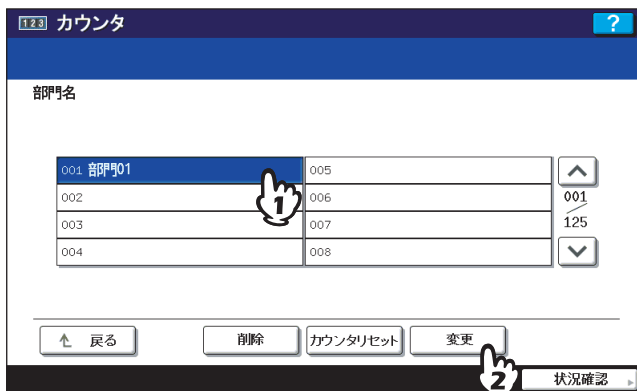
部門コード画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 編集したい部門ボタンを押して、[変更] を押します。

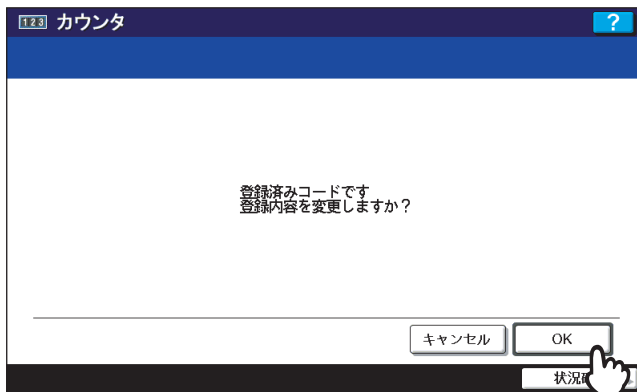


タッチパネルに「登録済みのコードです。登録内容を変更しますか?」と表示されます。

補足

タッチパネルに目的の部門ボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

3 [OK] を押します。



入力画面が表示されます。

4 文字入力画面およびテンキーから部門名を入力し、[OK] を押します。



部門コードの変更画面が表示されます。

補足

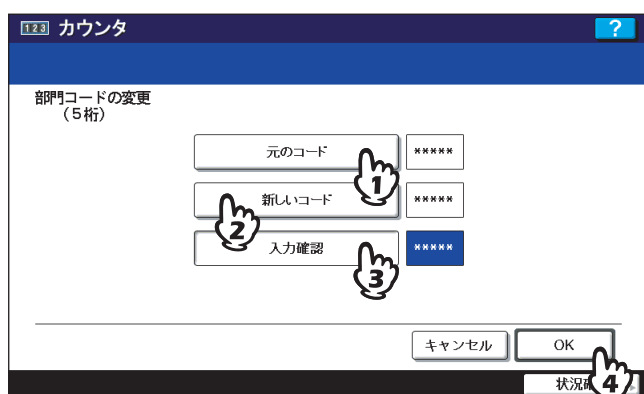
文字入力のしかたの詳細は、**クイックスタートガイド**を参照してください。

また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。

[P.225 「区点コード表」](#)

5 部門コードを変更します。

- 1) [元のコード] を押し、テンキーから現在の部門コードを入力します。
- 2) [新しいコード] を押し、テンキーから新しい部門コードを入力します。
- 3) [入力確認] を押し、テンキーから新しい部門コードを再度入力します。
- 4) [OK] を押して、部門コードを保存します。



リミテーション画面が表示されます。

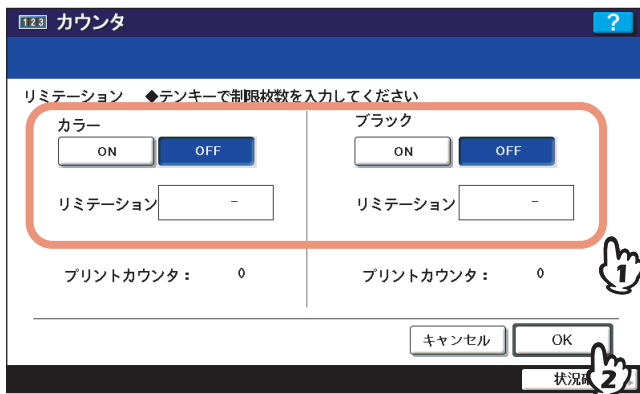
補足

- コードを入力すると、[元のコード]、[新しいコード] および [入力確認] の各ボックスに*（アスタリスク）が表示されます。
- コードをクリアし再度入力したい場合は、操作パネルの [クリア] ボタンを押します。

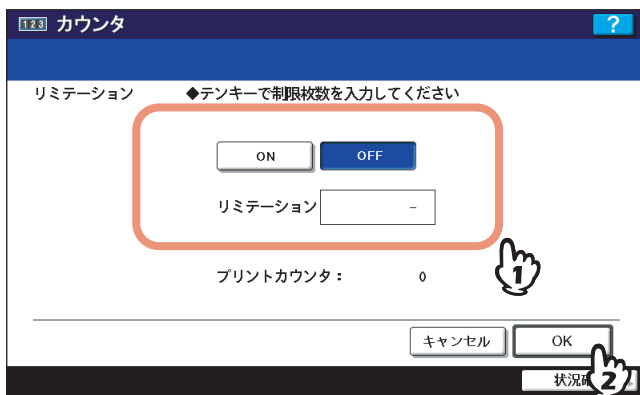
注意

部門コードは5桁で入力してください。（「00000」は入力できません。）

6 必要に応じて部門コードの出力制限を設定し、[OK] を押します。
e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合

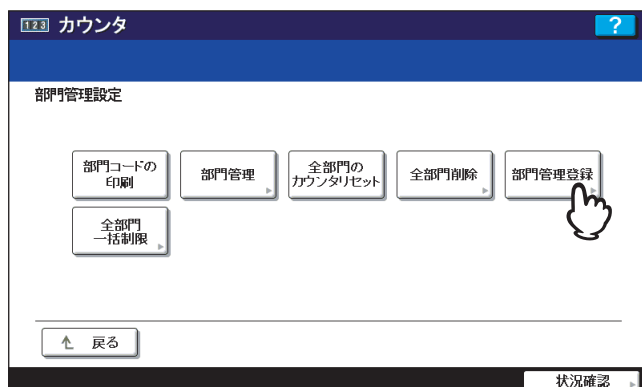


各項目の説明については、以下の操作の手順5を参照してください。
P.188 「新しい部門コードの登録」

■ 部門コードの削除

登録済みの部門コードを削除します。

1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。



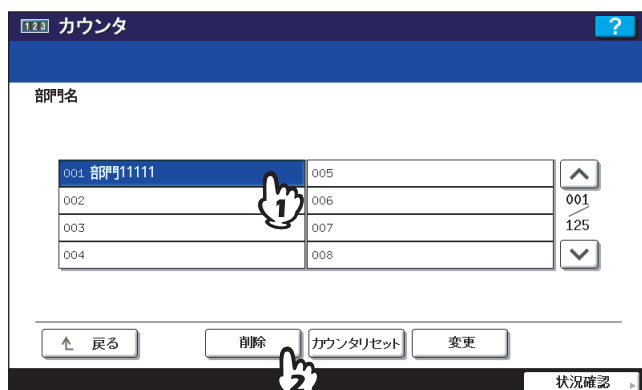
部門コード画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 削除したい部門ボタンを押して [削除] を押します。

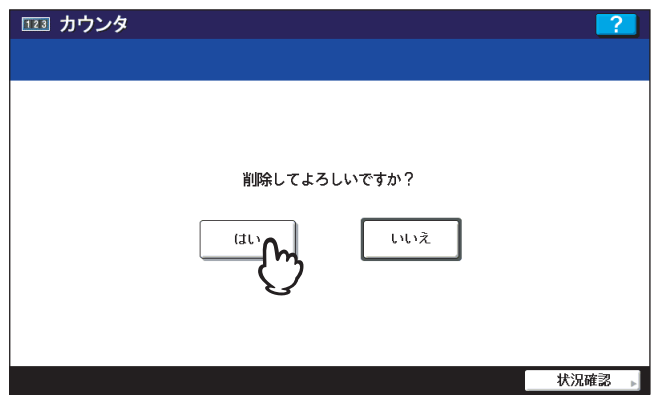


削除確認画面が表示されます。

補足

タッチパネルに目的の部門がない場合は、 を押して次の画面を表示します。

3 [はい] を押します。



部門コードが削除されます。

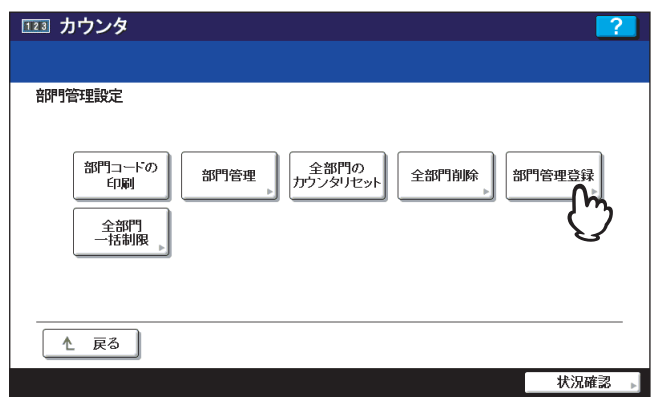
補足

部門コードの削除を中止するときは、[いいえ] を押します。

■ 部門カウンタのクリア

特定の部門コードのカウンタだけをリセットします。

1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。



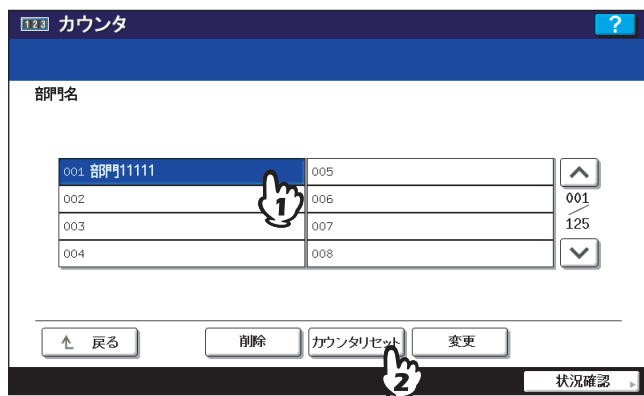
部門コード画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 カウンタをクリアしたい部門ボタンを押して、[カウンタリセット] を押します。

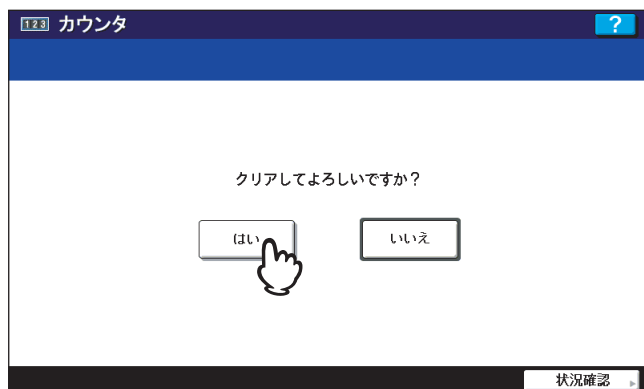


削除確認画面が表示されます。

補足

タッチパネルに目的の部門ボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

3 [はい] を押します。



部門コードのカウンタがクリアされます。

補足

部門カウンタのクリアを中止するときは、[いいえ] を押します。

■ 全部門一括制限

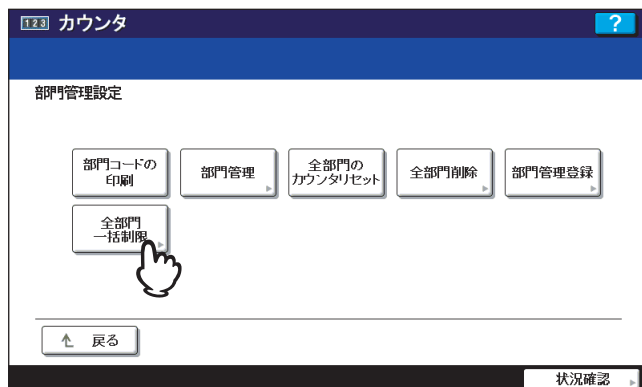
全部門の出力制限を一括して設定します。出力制限を [ON] にした場合は、全部門から出力ができなくなります。出力制限を [OFF] にした場合は、全部門からの出力を無制限にします。

補 足

全部門一括制限で [ON] を選択した場合は、全部門コードのリミテーション設定を [ON] にし、「リミテーション」欄の設定を「0」に設定します。各部門のリミテーション設定を変更したい場合は、リミテーション設定を部門コードの変更から行います。

📖 P.191 「部門コードの変更」

1 部門管理設定メニューで、[全部門一括制限] を押します。



全部門一括制限画面が表示されます。

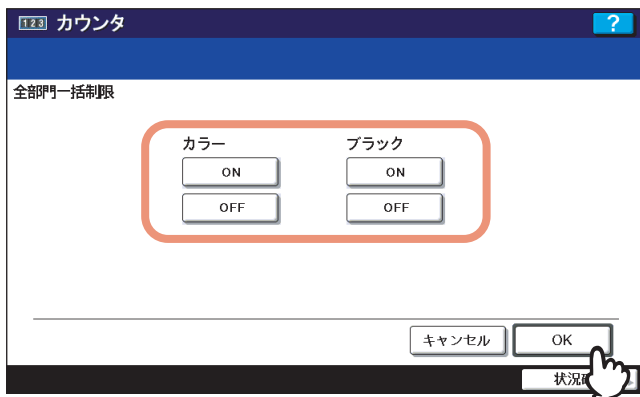
補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

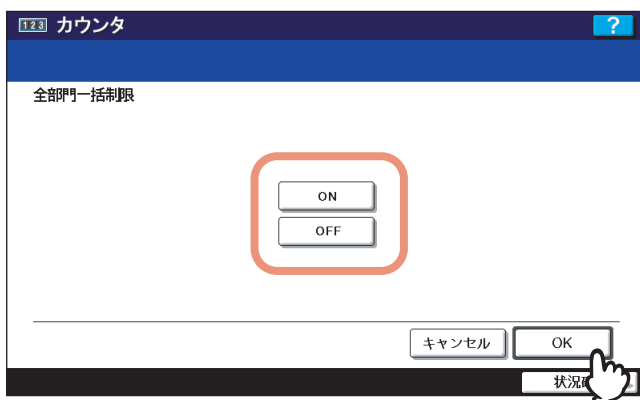
📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 必要に応じて、下記項目を設定します。

e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合



e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合



カラー：全部門のカラー出力を不許可にする場合は、[ON] を押します。カラー出力数を無制限にする場合は、[OFF] を押します。

ブラック：全部門のモノクロ出力を不許可にする場合は、[ON] を押します。モノクロ出力数を無制限にする場合は、[OFF] を押します。

注意

- [カラー] は、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ設定できます。
- e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesでブラック無制限機能が有効になっている場合は、モノクロ出力の一括制限を設定することはできません。

3 [OK] を押します。

全部門のリミテーションを変更します。[OK] を押すと、設定が適用されるまでタッチパネルに「おまちください」と表示されます。

補足

設定の適用は、登録されている部門コードの数によって時間がかかることがあります。

■ ブラック無制限

カラー出力のみを部門管理する場合は、ブラック無制限を有効にします。カラー出力時には部門コードの入力が必要になります。モノクロ出力は無制限になるので、モノクロ出力のカウンタは部門コードごとにカウントしなくなります。このメニューは、e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ表示されます。

1 部門管理設定メニューで、[ブラック無制限] を押します。



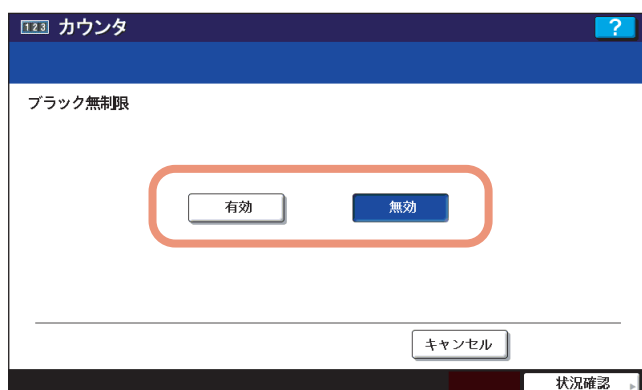
ブラック無制限画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.182 「部門管理設定メニューに入る」

2 ブラック無制限を有効にするときは、[有効] を押します。ブラック無制限を無効にするときは、[無効] を押します。

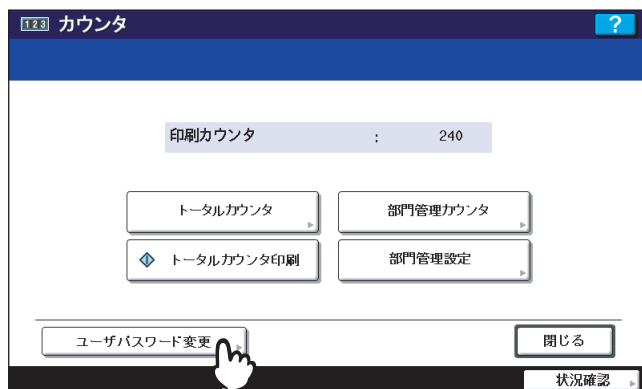


ブラック無制限の設定を保存します。

ユーザパスワード変更

本機で内部認証機能を使用している際に、ユーザは認証画面で入力した認証パスワードをこのメニューから変更できます。

- 1 操作パネルの [カウンタ] ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。
- 2 [ユーザパスワード変更] を押します。



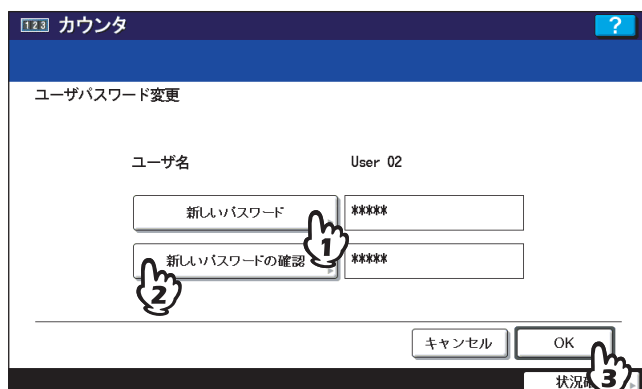
ユーザパスワード変更画面が表示されます。

注意

[ユーザパスワード変更] は、内部認証機能が有効な場合のみ使用できます。

3 ユーザパスワードを変更します。

- 1) [新しいパスワード] を押して、新しいパスワードを入力します。
- 2) [新しいパスワードの確認] を押して、新しいパスワードを再度入力します。
- 3) [OK] を押して、新しいパスワードを保存します。



ユーザ認証画面に戻ります。

補足

- 上記ボタン ([新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認]) を押すと、入力画面が表示されます。文字入力画面およびテンキーを使って値を入力し、[OK] を押して入力を確定します。
- [新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認] ボックスに入力されたパスワードは、* (アスタリスク) で表示されます。

付録

リスト印字例	202
トータルカウンタリスト.....	202
部門管理リスト.....	203
アドレス帳登録リスト.....	204
グループ登録リスト.....	205
システム設定リスト（ユーザ）.....	206
NIC設定ページ.....	207
システム設定リスト（管理者）.....	210
PS3フォントリスト.....	223
PCLフォントリスト.....	224
区点コード表	225

リスト印字例

■ トータルカウンタリスト

トータルカウンタリストの出力例 (e-STUDIO4520C Series)

トータルカウンタリスト				
		出力時刻	: '09-05-15 20:47	
		S/N	: 0987654321	
プリントカウンタ				
トータル	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
コピー	99999	99999	99999	299996
ファクス	99999	99999	99999	299996
プリンタ	99999	99999	99999	299996
リスト	99999	99999	99999	299996
トータル	399996	399996	399996	1199988
コピー				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999
ファクス設定				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999
プリンタ				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999
リスト				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	
スキャンカウンタ				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル

■ 部門管理リスト

部門管理リストの出力例 (e-STUDIO4520C Series)

部門番号		部門名	
D	1	00001	
<p>部門管理リスト 出力時刻 : '09-05-15 20:47</p>			
<p>プリントカウンタ</p>			
フルカラー			
	コピー	プリンタ	トータル
スモール	99999	99999	199998
ラージ	99999	99999	199998
	199998	199998	399996
			リミテーション
			-
2色/単色 カラー			
	コピー	プリンタ	トータル
スモール	99999	99999	199998
ラージ	99999	99999	199998
	199998	199998	399996
ブラック			
	コピー	ファクス	プリンタ
スモール	99999	99999	99999
ラージ	99999	99999	99999
	199998	199998	199998
			リスト
			99999
			99999
			799992
			リミテーション
			-
ファクス送受信		スキャンカウンタ	
	送信	受信	
スモール	99999	99999	
ラージ	99999	99999	
	199998	199998	
			フルカラー
			コピー
			ネットワーク
			99999
			99999
			199998
			2色/単色 カラー
			コピー
			ネットワーク
			99999
			99999
			199998
			ブラック
			コピー
			ファクス
			ネットワーク
			99999
			99999
			199998
			199998
			199998
部門番号		部門名	
D	2	00002	
<p>プリントカウンタ</p>			
フルカラー			
	コピー	プリンタ	トータル
スモール	99999	99999	199998
ラージ	99999	99999	199998
	199998	199998	399996

■ アドレス帳登録リスト

アドレス帳登録リスト出力例

番号	宛先名	電話番号/メールアドレス	海外指定	送信方法	回線指定	ECM	ATT
001	USER01	0000000001 ✉user01@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
002	USER01	0000000002 ✉user02@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
003	USER01	0000000003 ✉user03@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
004	USER01	0000000004 ✉user04@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
005	USER01	0000000005 ✉user05@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
006	USER01	0000000006 ✉user06@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
007	USER01	0000000007 ✉user07@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
008	USER01	0000000008 ✉user08@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
009	USER01	0000000009 ✉user09@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
010	USER01	0000000010 ✉user10@abcd.com	OFF	メモリ		OFF	0
011	USER01	0000000011 ✉user11@abcd.com	OFF				
	USER01						

アドレス帳登録リスト

出力時刻 : '09-05-15 20:47

電話番号1 : 9999999999

電話番号2 : 9999999990

局名 : MFP_04998820

■ グループ登録リスト

グループ登録リストの出力例

番号	グループ名称	アドレス帳
001	GROUP01	001 ☒001 ☒002 ☒003 ☒004 005 ☒005 006 ☒006 ☒007 007 008 ☒008 009 ☒009 010 ☒010 ☒011 ☒012 ☒013 014 ☒014 015 ☒015 016 ☒016 017 ☒017 018 ☒018 019 ☒019 020 ☒020
002	GROUP02	005 007 009 ☒015 ☒060 ☒065
003	GROUP03	005 ☒005 ☒006 ☒006 ☒007 ☒009

☒ メールアドレス
☒ ファクス番号

■ システム設定リスト (ユーザ)

システム設定リスト (ユーザ) の出力例 (e-STUDIO4520C Series)

システム設定リスト			
S/N	: 0987654321	出力時刻	: '09-05-15 20:47
F/W Ver.	: T380SY0J020	電話番号 1	: 9999999999
M-ROM Ver.	: 380M-014	電話番号 2	: 9999999990
S-ROM Ver.	: 380S-01	局名	: MFP_04998820
一般			
トータルカウンタ	: 9999		
カセット			
1段目カセット	: A4		
2段目カセット	: A3		
3段目カセット	: A4-R		
4段目カセット	: B5		
オートクリア	: 45		
コピー設定			
濃度調整 (カラー)	: 手動		
濃度調整 (ブラック)	: 自動		
カラーモード	: ブラック		
両面時の画像の向き	: 無効		
手差し用紙	: 普通紙		
カラー原稿モード	: 文字/写真		
ブラック原稿モード	: 文字/写真		
オートカラー時の原稿モード	: 文字/写真		
白紙ページ除去判定レベル	: 0		
オートカラー判定レベル	: 0		
2 IN 1 / 4 IN 1	: 横書き		
マガジンソート	: 左開き		
ブック両面	: 左開き		
スキャン設定			
カラーモード	: ブラック		
圧縮率	: 標準		
オートカラー時モノクロページ濃度調整	: 3		
画像回転	: 0		
両面	: 片面		
オートカラー時のブラック画質	: 標準		
プレビュー表示設定	: OFF		
初期プレビュー表示設定			
白紙ページ除去判定			

■ NIC設定ページ

NIC設定ページの出力例

```

=====
Unit Serial No      : 04998820              Version : T000SY00000
Network Address    : 00:40:af:7e:28:55
Network Topology   : Ethernet              Connector: RJ45
Network Mode       : Auto

Novell Network Information                enabled
Print Server Name      : MFP_04998820
Password Defined       :
Search Root not defined
Directory Services Tree : ORG
Directory Services Context : dept1.org
Scan Rate              : 5
Frame Type             : Auto Sense

TCP/IP Network Information for IPv4        enabled
Address Mode           : Static IP
IP Address             : 10.10.70.120
Subnet Mask            : 255.255.255.0
Default Gateway        : 10.10.70.1
Primary DNS Server     : 0.0.0.0
DNS Name               :
Host Name              : MFP-04998820
Primary WINS Server    : 0.0.0.0
NetBios Name          : MFP-04998820

IPP Network Information                    enabled
IPP without SSL        : http://10.10.70.120:631/Print
IPP with SSL           : https://10.10.70.120:443/Print

AppleTalk Network Information              enabled
AppleTalk Printer Name: MFP_00C67861
AppleTalk Zone         : *
AppleTalk Type         : LaserWriter
AppleTalk Frame Type   : 802.2 SNAP On 802.3

=====
Novell Connection Information
File Server Name: NWSRV
Queue Name: MFP_QUEUE
AppleTalk Connection In

```

Unit Serial No	本機のシリアル番号
Version	本機のシステムバージョン
Network Address	本機のMACアドレス
Network Topology	ネットワークタイプ
Connector	接続タイプ
Network Mode	ネットワークモード
Novell Network Information	
Print Server Name	本機のNovellプリンタ名
Password Defined	パスワード設定の有無
Search Root	本機のサーチルート設定
Directory Services Tree	本機のNDSツリー設定
Directory Service Context	本機のNDSコンテキスト設定
Scan Rate	本機のスキャンレート設定
Frame Type	本機のフレームタイプ設定
TCP/IP Network Information for IPv4	
Address Mode	本機のTCP/IPアドレスモード設定
IP Address	本機のIPアドレス
Subnet Mask	本機のサブネットマスク
Default Gateway	本機のゲートウェイアドレス

Primary DNS Server	本機の優先DNSサーバーアドレス設定
DNS Name	本機のDNS名
Host Name	本機のホスト名
Primary WINS Server	本機の優先WINSサーバーアドレス設定
NetBIOS Name	本機のNetBIOS名
IPP Network Information	
IPP without SSL	本機のIPP印刷用URL
IPP with SSL	本機のSSL対応IPP印刷用URL
AppleTalk Network Information	
AppleTalk Printer Name	本機のAppleTalkプリンタ名
AppleTalk Zone	本機のAppleTalkゾーン設定
AppleTalk Type	本機のAppleTalkプリンタタイプ
AppleTalk Frame Type	本機のAppleTalkフレームタイプ
Novell Connection Information	
File System Server Name	接続しているNetWareファイルサーバー名
Queue Name	接続しているNetWareキュー名
AppleTalk Connection Information	
AppleTalk Printer Name	本機のAppleTalkプリンタ名
Raw Socket Connection Information	
Port Number	Raw印刷用のポート番号
TCP/IP Network Information for IPv6	
LLMNR	LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコル設定
Link Local Address	本機のリンクローカルアドレス
Address Mode	本機のIPv6アドレスモード設定
IP Address *1	本機のIPv6アドレス
Prefix Length *1	IPv6アドレスのプレフィックス
Default Gateway *1	本機のゲートウェイアドレス
Use DHCPv6 Server Option *2	DHCP (オプション) 設定： IPv6 (手動/ステートフル自動設定) 設定
DHCPv6 Server for IP Address *3	DHCP (IPアドレス) 設定： IPv6 (手動/ステートフル自動設定) 設定
DHCPv6 Server for Option *3	DHCP (オプション) 設定： IPv6 (手動/ステートフル自動設定) 設定
Keep Config at Changing setting Router *4	設定保存機能： IPv6 (自動設定) 設定
DHCPv6 Server for IP Address (M flags) *4	DHCP (IPアドレス) 設定： IPv6 (自動設定) 設定
DHCPv6 Server for Option (O flags) *4	DHCP (オプション) 設定： IPv6 (自動設定) 設定

IP Address (RA 1) *4 Prefix (RA 1) Default Gateway (RA 1)	ルーターから通知された 本機のIPv6アドレス プレフィックス デフォルトゲートウェイ
IP Address (RA 2) *4 Prefix (RA 2) Default Gateway (RA 2)	
IP Address (RA 3) *4 Prefix (RA 3) Default Gateway (RA 3)	
IP Address (RA 4) *4 Prefix (RA 4) Default Gateway (RA 4)	
IP Address (RA 5) *4 Prefix (RA 5) Default Gateway (RA 5)	
IP Address (RA 6) *4 Prefix (RA 6) Default Gateway (RA 6)	
IP Address (RA 7) *4 Prefix (RA 7) Default Gateway (RA 7)	
Primary IPv6 DNS Server	プライマリIPv6 DNSサーバーのIPv6アドレス
Secondary IPv6 DNS Server	セカンダリIPv6 DNSサーバーのIPv6アドレス

- *1 「IP Address」、「Prefix Length」、「Default Gateway」は、アドレスモード設定で「手動」または「ステートフル」が選択されている場合のみ印字されます。
- *2 「Use DHCPv6 Server Option」は、アドレスモード設定で「手動」が選択されている場合のみ印字されます。
- *3 「DHCPv6 Server for IP Address」、「DHCPv6 Server for Option」は、アドレスモード設定で「ステートフル」が選択されている場合のみ印字されます。
- *4 「Keep Config at Changing setting Router」、「DHCPv6 Server for IP Address (M flags)」、「DHCPv6 Server for Option (O flags)」、「IP Address (RA 1~7)」、「Prefix (RA 1~7)」、「Default Gateway (RA 1~7)」は、アドレスモード設定で「ステートレス」が選択されている場合のみ印字されます。

■ システム設定リスト（管理者）

システム設定リスト（管理者）の出力例（e-STUDIO4520C Series）

システム設定リスト		
S/N	: 0987654321	出力時刻 : '09-05-15 20:47
F/W Ver.	: T380SY0J020	電話番号1 : 9999999999
M-ROM Ver.	: 380M-014	電話番号2 : 9999999990
S-ROM Ver.	: 380S-01	局名 : MFP_04998820
一般		
トータルカウンタ	: 9999	
メインメモリ/ページメモリサイズ	: 512 MB / 256 MB	
カセット		
1段目カセット	: A4	
2段目カセット	: A3	
3段目カセット	: A4-R	
4段目カセット	: B5	
大容量給紙装置	: A4	
オートクリア	: 45	
節電モード設定		
ウィークリータイマー	ON OFF	
タイマ設定 日曜日	: 00:00 24:00	
タイマ設定 月曜日	: 00:00 24:00	
タイマ設定 火曜日	: 00:00 24:00	
タイマ設定 水曜日	: 00:00 24:00	
タイマ設定 木曜日	: 00:00 24:00	
タイマ設定 金曜日	: 00:00 24:00	
タイマ設定 土曜日	: 00:00 24:00	
自動節電時間	: 15	
自動オフ時間	: 60	
ポップアップ		
カセット	: 有効	
紙詰り解除後の印刷	: 無効	
コピー設定		
濃度調整（カラー）	: 手動	
濃度調整（ブラック）	: 自動	
カラーモード	: ブラック	
両面時の画像の向き	: 無効	
手差し用紙	: 普通紙	
カラー原稿モード	: 文字	
ブラック原稿モード	: 文字	
モノカラー原稿モード	: 文字	

管理者設定メニューから出力したシステム設定リストには、すべての機能の設定一覧が印刷されます。次の表では、管理者のシステム設定リストに印刷される項目と説明、およびユーザのシステム設定リストにも印刷される項目を確認できます。

一般

リスト項目	説明	ユーザ
トータルカウンタ	トータルカウンタ値	○
メインメモリ/ページメモリサイズ*1	メインメモリ/ページメモリのサイズ	×
カセット-1段目カセット	1段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-2段目カセット*2	2段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-3段目カセット*3	3段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-4段目カセット*4	4段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置*5	大容量給紙装置に設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置（外付け）*6	大容量給紙装置（外付け）に設定された用紙サイズ	○
オートクリア	一定時間操作されていない場合に、タッチパネルで行った操作をクリアし初期画面に戻す時間（秒）	○
節電モード設定-ウィークリータイマー	日曜日から土曜日までの各日の節電モードに入る時間、および節電モードから復帰する時間	×
節電モード設定-自動節電時間	自動節電モードに入る時間（分）	×

一般

リスト項目	説明	ユーザ
節電モード設定-自動オフ時間	自動オフモードに入る時間（分）	×

- *1 e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。
- *2 「2段目カセット」は2段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。
- *3 「3段目カセット」は3段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。
- *4 「4段目カセット」は4段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。
- *5 「大容量給紙装置」は大容量給紙装置が装着されている場合のみ印字されます。
- *6 「大容量給紙装置（外付け）」は大容量給紙装置（外付け）が装着されている場合のみ印字されます。

ポップアップ

リスト項目	説明	ユーザ
カセット	カセットポップアップの有効/無効	×
紙詰り解除後の印刷	紙づまり解除後の印刷ポップアップの有効/無効	×

コピー設定

リスト項目	説明	ユーザ
濃度調整（カラー）*1	カラーコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整（ブラック）*1	ブラックコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整 *2	コピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
カラーモード *1	コピー時に初期設定として適用されるカラーモード	○
両面時の画像の向き	両面時の画像の向き設定の有効/無効	○
手差し用紙	コピー時に初期設定として適用される手差しトレイの用紙タイプ	○
インサータ裏表紙の反転 *3	インサータ裏表紙の反転設定の有効/無効	○
タブ幅設定-カセット-タブ幅設定 *3	カセットのタブ幅設定	○
タブ幅設定-カセット-シフト幅 *3	カセットのシフト幅設定	○
タブ幅設定-手差し用紙-タブ幅設定 *3	手差し用紙のタブ幅設定	○
タブ幅設定-手差し用紙-シフト幅 *3	手差し用紙のシフト幅設定	○
カラー原稿モード *1	カラーコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
ブラック原稿モード	ブラックコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
原稿モード *2	コピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
オートカラー時の原稿モード *1	オートカラーコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
白紙ページ除去判定レベル *4	白紙除去判定レベルの設定値	○
オートカラー判定レベル *1	オートカラー判定レベルの設定値	○
2IN1/4IN1	2IN1/4IN1コピー時に初期設定として適用される2IN1/4IN1の設定	○
マガジンソート	マガジンソートコピー時初期設定として適用されるマガジンソートコピーの設定	○
ブック両面	ブック両面コピー時に初期設定として適用されるブック両面の設定	○
最大コピー部数	指定できる最大コピー部数	×
自動両面	コピー時に初期設定として適用される両面コピーの設定	×
ソートモード	コピー時に初期設定として適用されるソートモード	×
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジ機能の有効/無効	×

コピー設定

リスト項目	説明	ユーザ
ステイブル針無し時の印刷中断	ステイブル切れ時の印刷中断機能の有効/無効	×
オートカラーの初期値 ^{*1}	オートカラーの初期値モード	×

*1 e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

*2 e-STUDIO455 Seriesまたはe-STUDIO855 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

*3 e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

*4 e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Series、e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

スキャン設定

リスト項目	説明	ユーザ
カラーモード ^{*1}	スキャン時に初期設定として適用されるカラーモード	○
圧縮率	圧縮率の設定	○
オートカラー時モノクロページ濃度調整 ^{*1}	スキャン時に初期設定として適用される閾値	○
画像回転	スキャン時に初期設定として適用される回転設定	○
両面	スキャン時に初期設定として適用される両面スキャン設定	○
オートカラー時のブラック画質 ^{*1}	オートカラー時スキャン時に白黒スキャンに適用される画質モード	○
プレビュー表示設定 ^{*2}	プレビュー機能の有効/無効	○
初期プレビュー表示設定 ^{*2}	プレビュー画面の表示設定	○
白紙ページ除去判定レベル ^{*1}	白紙除去判定レベルの設定値	○
オートカラー判定レベル ^{*1}	オートカラー判定レベルの設定値	○
カラー - 解像度 ^{*1}	カラー時スキャン時に初期設定として適用される解像度	○
カラー - 原稿モード ^{*1}	カラー時スキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
カラー - 濃度調整 ^{*1}	カラー時スキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
カラー - 下地調整 ^{*1}	カラー時スキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
グレースケール - 解像度 ^{*1}	グレースケール時スキャン時に初期設定として適用される解像度	○
グレースケール - 濃度調整 ^{*1}	グレースケール時スキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
グレースケール - 下地調整 ^{*1}	グレースケール時スキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
ブラック - 解像度 ^{*1}	ブラック時スキャン時に初期設定として適用される解像度	○
ブラック - 原稿モード ^{*1}	ブラック時スキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
ブラック - 濃度調整 ^{*1}	ブラック時スキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
ブラック - 下地調整 ^{*1}	ブラック時スキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
解像度 ^{*3}	スキャン時に初期設定として適用される解像度	○
原稿モード ^{*3}	スキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
濃度調整 ^{*3}	スキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
下地調整 ^{*3}	スキャン時に初期設定として適用される下地調整	○

*1 e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO4520C Series、e-STUDIO455 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

*2 e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

*3 e-STUDIO855 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
ファクスROMバージョン	ファクスROMのバージョン	○
解像度	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される解像度	○
原稿モード	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される原稿モード	○
濃度調整	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される濃度調整	○
送信方法 *1	ファクス送信時に初期設定として適用される送信方法	○
発信元記録	発信元記録の有効/無効	○
受信元記録	受信元記録の有効/無効	○
ECM *1	ECMの有効/無効	○
初期設定-リング音量 *1	電話着信時のリング音量レベル	×
初期設定-モニタ音量 *1	ファクス通信時のモニタ音量レベル	×
初期設定-終了音量 *1	ファクス通信完了時の終了音量レベル	×
初期設定-受信方法 *1	ファクスの受信方法	×
初期設定-呼出し回数 *1	ファクス受信時の呼び出し回数	×
初期設定-リモート受信 *1	リモート受信の有効/無効	×
初期設定-ダイヤルタイプ *1	回線1のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤルタイプ (回線2) *2	回線2のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤルイン *1	ダイヤルインの有効/無効	×
初期設定-FAX *1	ダイヤルイン使用時の本機のファクス番号	×
初期設定-TEL *1	ダイヤルイン用電話番号	×
回線2設定 *2	回線2設定	×
回線2設定-開始時刻 *2	回線2の時刻指定使用時の開始時刻	×
回線2設定-終了時刻 *2	回線2の時刻指定使用時の終了時刻	×
記録モード-切り捨て印刷	切り捨て印刷の有効/無効	×
記録モード-縮小印刷	縮小印刷の有効/無効	×
記録モード-両面印刷 *1	両面印刷の有効/無効	×
記録モード-縦横交互排紙 *1	縦横交互排紙の有効/無効	×
復活送信 *1	復活送信の有効/無効	×
復活送信-保持時刻 *1	復活送信有効時の保持時刻 (時間)	×
ファクス受信転送 - エージェント1 *1	ファクス受信転送のエージェント	×
ファクス受信転送-エージェント2 *1	ファクス受信転送のエージェント	×

*1 FAXユニット (オプション) が装着されている場合のみ印字します。

*2 FAXユニットおよび回線増設ユニット (オプション) が装着されている場合のみ印字します。

ファイリングボックス設定

リスト項目	説明	ユーザ
印刷画像モード*1	ファイリングボックス印刷に適用される印刷画質モード	○

*1 e-STUDIO6530C Seriesまたはe-STUDIO4520C Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

ファイル設定

リスト項目	説明	ユーザ
メンテナンス	メンテナンスの有効/無効	×
保存日数	メンテナンス有効時に適用される保存日数	×

Eメール設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割送信サイズ	Eメール送信に適用される分割送信サイズ	×
送信者アドレス	Eメール送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	Eメール送信に適用される送信者名	×
リトライ回数	Eメール送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	Eメール送信に適用されるリトライ間隔	×
アドレス指定方法	Eメール送信に適用される宛先の指定方法	×
Bcc送信アドレス表示	Bccアドレス表示の有効/無効	×

インターネットファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割ページサイズ	インターネットファクス送信に適用される分割ページサイズ	×
本文送信	インターネットファクス送信時の本文送信の有効/無効	×
送信者アドレス	インターネットファクス送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	インターネットファクス送信に適用される送信者名	×
インターネットファクス受信転送-エージェント1	インターネットファクス受信転送のエージェント	×
インターネットファクス受信転送-エージェント2	インターネットファクス受信転送のエージェント	×
リトライ回数	インターネットファクス送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	インターネットファクス送信に適用されるリトライ間隔	×

通信レポート設定

リスト項目	説明	ユーザ
通信管理記録設定-自動印刷	通信管理記録の自動出力の有効/無効	×
通信管理記録設定-送信管理記録	通信管理記録に印字される送信管理記録件数	×
通信管理記録設定-受信管理記録	通信管理記録に印字される受信管理記録件数	×
通信結果表-メモリ送信	メモリ送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ダイレクト送信*1	ダイレクト送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-同報送信	同報送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ポーリング*1	ポーリング通信結果表の印字設定	×

通信レポート設定

リスト項目	説明	ユーザ
通信結果表-中継親局 *1	中継親局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継子局 *1	中継子局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継孫局 *1	中継孫局通信結果表の印字設定	×
通信受付表-ローカル	本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-リモート	他のデバイスから本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-中継子局	他のデバイスから本機のメールボックスに送られてきた文書の中継転送した際の通信受付表印刷の有無	×

*1 FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ印字されます。

プリンタ／ファイリングボックス設定

リスト項目	説明	ユーザ
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジの有効／無効	×
異方向用紙の許可	異方向用紙の許可の有効／無効	×
ステイプル針無し時の印刷中断	ステイプル切れ時の印刷中断の有効／無効	×

有線802.1X設定

リスト項目	説明	ユーザ
802.1X使用	有線802.1X認証の有効／無効	×
フォールバックモード	フォールバックモードの有効／無効	×
フォールバックリトライ回数	フォールバック機能のリトライ回数	×
EAPメソッド	設定されているEAPメソッド	×

無線LAN設定

リスト項目	説明	ユーザ
無線LAN	無線LANの有効／無効	×

注意

無線LAN設定は、無線LANモジュール（オプション）が装着されている場合のみ印字されます。

BLUETOOTH設定

リスト項目	説明	ユーザ
BLUETOOTH	Bluetoothの有効／無効	×
BLUETOOTH名	本機のBluetooth名	×
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレス	×
検索の許可	Bluetooth検索の許可機能の有無	×
セキュリティ	セキュリティの有無	×
PIN	本機のPIN番号	×
データの暗号化	データ暗号化の有無	×

注意

BLUETOOTH設定は、Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合のみ印字されます。

ネットワーク設定-ネットワーク製品名-一般

リスト項目	説明	ユーザ
ETHERNET通信速度 全/半二重設定	送信速度の設定	×

ネットワーク設定-ネットワーク-TCP/IP

リスト項目	説明	ユーザ
アドレス設定方法	IPアドレスの取得方法	×
IPアドレス	本機のIPアドレス	×
サブネットマスク	本機のサブネットアドレス	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×

ネットワーク設定-ネットワーク-IPv6

リスト項目	説明	ユーザ
IPv6使用	IPv6の有効/無効	×
LLMNR	LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコルの有効/無効	×
アドレス設定方法	IPv6アドレスの取得方法	×
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレス	×
IPアドレス	本機のIPv6アドレス	×
プレフィックス長	IPv6アドレスのプレフィックス長	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×
DHCPv6使用（設定取得）	DHCPv6使用（設定取得）の有効/無効	×
ステートレス設定保持	ステートレス設定保持の有効/無効	×
ステートフル使用（IPアドレス取得 Mフラグ）	ステートフル使用（IPアドレス取得 Mフラグ）の有効/無効	×
ステートフル使用（設定取得 Oフラグ）	ステートフル使用（設定取得 Oフラグ）の有効/無効	×

ネットワーク設定-ネットワーク-IPv6

リスト項目	説明	ユーザ
IPアドレス1	ルーターから通知された IPv6アドレス プレフィックス長 ゲートウェイ	×
プレフィックス長1		×
ゲートウェイ1		×
IPアドレス2		×
プレフィックス長2		×
ゲートウェイ2		×
IPアドレス3		×
プレフィックス長3		×
ゲートウェイ3		×
IPアドレス4		×
プレフィックス長4		×
ゲートウェイ4		×
IPアドレス5		×
プレフィックス長5		×
ゲートウェイ5		×
IPアドレス6		×
プレフィックス長6		×
ゲートウェイ6		×
IPアドレス7		×
プレフィックス長7		×
ゲートウェイ7		×
ステートフル使用（IPアドレス取得）	ステートフル使用（IPアドレス取得）の 有効／無効	×
ステートフル使用（設定取得）	ステートフル使用（設定取得）の有効／無効	×

ネットワーク設定-ネットワーク-IPX/SPX

リスト項目	説明	ユーザ
IPX/SPX使用	IPX/SPXの有効／無効	×
フレームタイプ	フレームタイプ設定	×

ネットワーク設定-ネットワーク-APPLETALK

リスト項目	説明	ユーザ
APPLE TALK使用	AppleTalkの有効／無効	×
デバイス名	本機のAppleTalk名	×
ゾーン名	AppleTalkゾーン名	×

ネットワーク設定-セッション-LDAPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LDAP使用	LDAPの有効／無効	×

ネットワーク設定-セッション-LDAPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SSL使用	LDAP SSLの有効/無効	×

ネットワーク設定-セッション-DNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DNS使用	DNSの有効/無効	×
プライマリDNSサーバーアドレス	プライマリDNSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス	×
プライマリDNSサーバーアドレス (IPv6)	プライマリDNSサーバーのIPv6アドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス (IPv6)	セカンダリDNSサーバーのIPv6アドレス	×

ネットワーク設定-セッション-DDNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DDNS使用	DDNSの有効/無効	×
ホスト名	本機のホスト名	×
ドメイン名	本機のドメイン名	×
セキュリティ方式	本機のセキュリティ方式	×

ネットワーク設定-セッション-SMBセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SMBサーバプロトコル	SMBの有効/無効	×
IPv6使用	IPv6の有効/無効	×
NETBIOS名	本機のNetBIOS名	×
ログオン	ログオン設定	×
ワークグループ	本機のワークグループ	×
ドメイン	本機のドメイン名	×
プライマリドメインコントローラ	プライマリドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
バックアップドメインコントローラ	バックアップドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
デバイス名	本機のドメインデバイス名	×
プライマリWINSサーバーアドレス	プライマリWINSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリWINSサーバーアドレス	セカンダリWINSサーバーのIPアドレス	×
SMBサーバのSMB署名	SMBサーバーのSMB署名の設定	×
SMBクライアントのSMB署名	SMBクライアントのSMB署名の設定	×

ネットワーク設定-セッション-NETWAREセッション

リスト項目	説明	ユーザ
バインダリサーバー使用	バインダリモードの有効/無効	×
NDS使用	NDSモードの有効/無効	×
サービスコンテキスト	NDSコンテキスト	×
サービスツリー	NDSツリー	×
優先サーバー	優先サーバー名	×

ネットワーク設定-セッション-BONJOURセッション

リスト項目	説明	ユーザ
BONJOUR使用	Bonjourの有効/無効	×
LINK-LOCALホスト名	本機のDNS名	×
サービス名	本機のBonjourサービス名	×

ネットワーク設定-セッション-LLTDセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LLTD使用	LLTD (Link Layer Topology Discovery) の有効/無効	×
デバイス名	ネットワークマップに表示されるデバイス名	×

ネットワーク設定-セッション-SLPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SLP使用	SLP (Service Location Protocol) の有効/無効	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-HTTPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
HTTPサーバー使用	本機HTTPサーバーの有効/無効	×
プライマリポート番号	HTTPネットワークサービスのプライマリポート番号	×
セカンダリポート番号	HTTPネットワークサービスのセカンダリポート番号	×
SSL使用	HTTP SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	HTTP SSLのポート番号	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-SMTPクライアントネットワークサービス

説明	リスト項目	ユーザ
SMTPクライアント使用	SMTPクライアント機能の有効/無効	×
認証	SMTP認証の有効/無効	×
POP BEFORE SMTP	POP Before SMTP機能の有効/無効	×
SMTPサーバーアドレス	SMTPサーバーのIPアドレス	×
ログイン名	SMTP認証に使用するログイン名	×
ポート番号	EメールやインターネットファクスをSMTPサーバーに送る際に使用するポート番号	×
SSL使用	SMTP SSLの有効/無効	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-SMTPサーバーネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SMTPサーバー使用	SMTPサーバー機能の有効/無効	×
ポート番号	本機がSMTP受信する際に使用するポート番号	×
Eメール転送使用	オフランプゲートウェイの有効/無効	×
オフランプセキュリティ	オフランプセキュリティの有効/無効	×
オフランプ印刷	オフランプ印刷の有効/無効	×
Eメールアドレス	SMTPサーバー機能が有効の場合に適用する本機のEメールアドレス	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-POP3ネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
POP3クライアント使用	POP3クライアント機能の有効/無効	×
POP3サーバーアドレス	POP3サーバーのホスト名またはIPアドレス	×
認証	POP3認証の有効/無効	×
ログインタイプ	POP3ログインタイプ	×
アカウント名	本機用Eメールアカウントのアカウント名	×
ポーリングレート	POP3サーバーに新着メッセージを確認する間隔(分)	×
ポート番号	POP3サーバーにアクセスする際に使用するポート番号	×
SSL使用	POP3 SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	POP3 SSLのポート番号	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-FTPクライアントネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
ポート番号(初期値)	本機からFTPサーバーにアクセスする際に初期設定として使用するポート番号	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-FTPサーバーネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
FTPサーバー使用	FTPサーバー機能の有効/無効	×
ポート番号(初期値)	本機でFTPを使用してデータを受信する際に初期設定として使用するポート番号	×
SSL使用	FTP SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	FTP SSLのポート番号	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-SNMPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SNMP使用	SNMPの有効/無効	×
リードコミュニティ	リードコミュニティ名	×
SNMP V3使用	SNMP V3の有効/無効	×
SNMP V3トラップ使用	SNMP V3トラップの有効/無効	×
認証トラップ使用	認証トラップの有効/無効	×
警告トラップ使用	警告トラップの有効/無効	×
トラップ送信先1	トラップ送信先のIPアドレス(最大10先まで)	×
IPトラップコミュニティ	IPトラップコミュニティ名	×
IPXトラップアドレス	IPXトラップアドレス	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-SNTP設定

リスト項目	説明	ユーザ
SNTP使用	SNTPの有効/無効	×
プライマリSNTPアドレス	プライマリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
セカンダリSNTPサーバーアドレス	セカンダリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
ポート番号	SNTPのポート番号	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-SNTP設定

リスト項目	説明	ユーザ
ポーリングレート	SNTPサーバーに時間設定を確認する間隔（時間）	×

ネットワーク設定-ネットワークサービス-WEB SERVICES設定

リスト項目	説明	ユーザ
フレンドリーネーム（表示名）	本機の表示名	×
WEB SERVICESプリント	Web Serviceプリントの有効／無効	×
プリンタ名	本機のプリンタ名	×
プリンタ情報	本機のプリンタ情報	×
WEB SERVICESスキャン	Web Serviceスキャンの有効／無効	×
スキャナ名	本機のスキャナ名	×
スキャナ情報	本機のスキャナ情報	×

ネットワーク設定-フィルタリング

リスト項目	説明	ユーザ
IPフィルタリング使用	IPフィルタリング機能の有効／無効	×
MACアドレスフィルタリング使用	MACアドレスフィルタリングの有効／無効	×

ネットワーク設定-プリントサービス設定-RAW TCP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
RAW TCP印刷使用	Raw TCP印刷の有効／無効	×
ポート番号	Raw TCP印刷のポート番号	×

ネットワーク設定-プリントサービス設定-LPD印刷

リスト項目	説明	ユーザ
LPD印刷使用	LPD印刷の有効／無効	×
ポート番号	LPD印刷のポート番号	×
LPDバナー	バナーページ印刷の有効／無効	×

ネットワーク設定-プリントサービス設定-IPP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
IPP印刷使用	IPP印刷の有効／無効	×
IPPポート80使用	ポート80を使用したIPP印刷の有効／無効	×
ポート番号	IPP印刷のポート番号	×
URL	IPP印刷用のURL	×
管理者名	すべての文書の削除を許可する管理者名	×
認証	IPP印刷時の認証の有効／無効	×
ユーザ名	認証に使用するユーザ名	×
SSL使用	IPP SSLの有効／無効	×
SSLポート番号	IPP SSLのポート番号	×
SSL URL	SSLを使用したIPP印刷用のURL	×

ネットワーク設定-プリントサービス設定-FTP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
FTP印刷使用	FTP印刷の有効/無効	×
ユーザ名	FTP印刷のユーザ名	×
パスワード	FTP印刷のパスワード	×
ポート番号	FTP印刷のポート番号	×

ネットワーク設定-プリントサービス設定-NETWARE印刷

リスト項目	説明	ユーザ
ログイン名	NetWareファイルサーバーのログイン名	×
パスワード	NetWareファイルサーバーのパスワード	×
印刷キューポーリングレート	NetWareファイルサーバーからの印刷ジョブの取得間隔（秒）	×

ネットワーク設定-プリントサービス設定-Eメール印刷

リスト項目	説明	ユーザ
ヘッダ印刷	Eメールヘッダの印刷の有無	×
本文印刷	Eメール本文の印刷の有無	×
Eメール本文最大印刷枚数	Eメール本文の最大印刷枚数	×
エラーメッセージの出力	エラーメッセージ印刷の有効/無効	×
エラーメール転送をする	エラーメール転送の有効/無効	×
エラーメールの転送先アドレス	エラーメールが転送されるEメールアドレス	×
分割受信	分割受信したEメール印刷の有効/無効	×
分割受信待ち時間	分割受信したEメールを印刷する場合に印刷を開始する前に次の分割メッセージが届くまで待つ時間（分）	×
MDNリプライ	MDNリプライの有効/無効	×

PS3フォントリスト

PS3フォントリストの出力例

TOSHIBA	e-STUDIO2830C	Page:1
AlbertusMT-Light	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
AlbertusMT	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
AlbertusMT-Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
AntiqueOlive-Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
AntiqueOlive-Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
AntiqueOlive-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
AntiqueOlive-Compact	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Apple-Chancery	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
ArialMT	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Arial-ItalicMT	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Arial-BoldMT	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Arial-BoldItalicMT	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
AvantGarde-Book	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
AvantGarde-BookOblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
AvantGarde-Demi	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
AvantGarde-DemiOblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Bodoni	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Bodoni-Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Bodoni-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Bodoni-BoldItalic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Bodoni-Poster	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Bodoni-PosterCompressed	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Bookman-Light	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Bookman-LightItalic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Bookman-Demi	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Bookman-DemiItalic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Candid	©.↓.* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; = > ? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [\] ^ _ ` a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z { } ~ ¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ § ¨ © ª « ¬ ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿	
Chicago	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Clarendon-Light	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Clarendon	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Clarendon-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
CooperBlack	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
CooperBlack-Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Copperplate-ThirtyTwoBC	THE QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG	
Copperplate-ThirtyThreeBC	THE QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG	
Coronet-Regular	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Courier	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Courier-Oblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Courier-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Courier-BoldOblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
Eurostile	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Eurostile-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Eurostile-ExtendedTwo	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Eurostile-BoldExtendedTwo	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
Geneva	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
GillSans-Light	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
GillSans-LightItalic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	

■ PCLフォントリスト

PCLフォントリストの出力例

TOSHIBA		e-STUDIO2830C		Page:1
		Internal PCL Font List		
0	Courier	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
1	CG-Times	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
2	CG-Times Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
3	CG-Times Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
4	CG-Times Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
5	CG Omega	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
6	CG Omega Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
7	CG Omega Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
8	CG Omega Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
9	Coronet	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
10	Clarendon Condensed	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
11	Univers Medium	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
12	Univers Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
13	Univers Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
14	Univers Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
15	Univers Medium Condensed	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
16	Univers Condensed Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
17	Univers Medium Condensed Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
18	Univers Condensed Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
19	Antique Olive	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
20	Antique Olive Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
21	Antique Olive Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
22	Garamond Antiqua	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
23	Garamond Halbfett	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
24	Garamond Kursiv	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
25	Garamond Kursiv Halbfett	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
26	Marigold	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
27	Albertus Medium	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
28	Albertus Extra Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
29	Arial	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
30	Arial Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
31	Arial Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
32	Arial Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
33	Times New Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
34	Times New Roman Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
35	Times New Roman Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
36	Times New Roman Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
37	Helvetica	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
38	Helvetica-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
39	Helvetica-Oblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
40	Helvetica-BoldOblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
41	Helvetica-Narrow	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
42	Helvetica-Narrow-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
43	Helvetica-Narrow-Oblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
44	Helvetica-Narrow-BoldOblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
45	Palatino-Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
46	Palatino-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog	The quick brown fox jumps over the lazy dog	

区点コード表

以下の表に記載されているコードが本機で使用できる区点コードです。
 文字入力画面で「区点コード」を押すと、区点コードを入力する画面が表示されます。区点コードは、以下の表の左行と横列の番号を組み合わせた桁の番号から成ります。
 例) 院：テンキーで「70」と入力し、「変換」を押す。

記号	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010										
011	!	”	、	。	、	..	・	—	；	?
012	∖	>	ゞ	//	全	々	メ	○	—	—
013	-	/	\	~	//		'	'
014	“	”	()	[]	[]	{	}
015	<	>	《	》	「	」	『	』	[]
016	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤
017	≥	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
018	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▼	▽	※	〒
021	→	←	↑	↓	≡					
031								0	1	2
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036					a	b	c	d	e	
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
041	お	かさ	あが	い	い	う	う	え	え	お
042	お	かさ	あが	い	い	う	う	え	え	お
043	そ	た	だ	ち	ぢ	つ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば
045	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ
046	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	や	や	ゆ
047	ゆ	よ	よ	み	り	る	れ	ろ	わ	わ
048	み	ゑ	を	ん						
050		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ツ	ヅ	テ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ポ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ
057	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
058	キ	エ	ヲ	ヴ	カ	ケ	ヅ			
060		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I
061	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T
062	Υ	Φ	X	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										a
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
あ	160	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢
	161	葵	漚	蕪	握	渥	旭	葦	芦	鰲
	162	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	綯	綾
	163	鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗	案
	164	鞍	杏							闇
い	164		以	伊	位	依	偉	困	夷	委
	165	威	尉	惟	慰	易	偉	困	夷	委
	166	移	維	緯	胃	衣	謂	違	遺	醫
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壳	逸

記号	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
168	稻	茨	芋	鰯	允	印				
169	稻	引	飲	淫	胤	蔭				
170		院	陰	隱	韻	吋				
う	170							右	宇	烏
	171	迂	雨	卯	鵝	窺	丑	碓	白	渦
	172	唄	蔚	蔚	鰻	姥	厖	浦	瓜	閨
	173	云	運	雲						
え	173				荏	餌	叡	營	嬰	影
	174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎
	175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	調
	176	閱	援	厭	円	園	堰	燿	燿	延
	177	掩	援	沿	演	炎	焔	燿	燿	猿
	178	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	燿		
お	178								於	汚
	179	凹	央	奥	往	応				
	180		押	旺	横	欧	毆	王	翁	襖
	181	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	
か	182									下
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茹	荷	華
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	葩	葩	蚊	俄
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賈	雅	俄
	188	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪
	189	恢	懷	戒	拐	改				
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪
	191	蟹	開	階	貝	凱	凱	外	咳	害
	192	慨	概	涯	碍	蓋	劫	該	該	駭
	193	馨	蛙	垣	柿	蛻	鈎	劃	嚇	各
	194	拡	攪	格	核	殼	獲	確	獲	覺
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	學	岳	峯
	196	顎	掛	笠	椋	櫃	梶	緬	滷	割
	197	恰	括	活	濯	滑	葛	緬	轄	劇
	198	叶	花	樺	鞆	株	兜	電	蒲	釜
	199	嗜	鴨	栢	茅	萱				
	200		粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒
	201	勸	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬
	202	幹	幹	感	憾	憾	換	敢	柑	監
	203	款	款	汗	漢	潤	淮	環	甘	桓
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞
	205	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓
	206	館	館	丸	含	岸	巖	玩	癩	眼
	207	贖	雁	頑	顏	願				
き	207						企	伎	危	喜
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮
	209	旗	既	期	棋	棄				
	210		機	歸	毅	氣	汽	畿	折	季
	211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢
	212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬
	213	犧	疑	祗	義	蟻	誼	議	掬	鞠
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸
	217	究	窮	笈	級	糾	給	給	旧	牛
	218	巨	拒	拋	舉	渠	虛	許	距	鋸
	219	禦	魚	亨	亨	京				
	220		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協
	221	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐
	222	挾	教	喬	況	狂	狹	矯	胸	奔
	223	騫	鄉	鏡	響	饗	驚	仰	凝	竟
	224	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋

1~3 桁目	4桁目										
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
く	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	226										九
	227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駢
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	掘	窟	脊	靴	黠	讒	熊	隈	羶
	230		掘	窟	脊	靴	黠	讒	熊	隈	羶
	231	栗	線	桑	歛	歛	君	君	薰	訓	群
	232	郡									
け	232		卦	契	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	珪	型	契	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	234	携	敬	景	桂	徑	恵	慶	稽	系	綫
	235	繫	野	莖	荆	蚩	計	詣	警	警	頸
	236	鶉	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	際	桁
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	238	俟	倦	健	兼	拳	捲	劍	喧	園	堅
	239	建	憲	懸	拳	捲	劍	喧	園	堅	嫌
	240		檢	權	牽	軒	遣	鍵	減	源	玄
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	減	源	玄
	242	齧	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	脰	言	諺	限						
こ	243					乎	個	古	呼	固	
	244	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯	湖	孤
	245	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鉅	雇
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後
	247	御	悟	梧	檣	瑚	暮	語	誤	護	誦
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候				功
	249	効	厚	向	向	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	254	紅	絃	絞	綱	耕	考	肱	腔	膝	膏
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	腔	鉅
	256	砒	鋼	閭	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻
	258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甌
	259	忽	惚	骨	拍	込					
	260		此	昆	今	困	坤	壘	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	根	困	坤	壘	婚	恨	懇	
さ	261										些
	262	佐	又	陵	嵯	左	差	查	沙	磋	砂
	263	詐	鎖	妻	宰	挫	才	債	催	再	最
	264	哉	塞	宰	宰	才	祭	齋	裁	歲	濟
	265	災	采	犀	碎	彩	祭	齋	裁	菜	裁
	266	載	際	劑	在	材	罪	財	牙	坂	阪
	267	堺	神	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	268	昨	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
	270		察	搦	擦	札	殺	薩	雜	臯	山
	271	鯖	捌	鑄	絞	血	晒	傘	參	參	山
272	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	
273	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘				
し	273							仕	仔	伺	
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姊	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	支	私	糸
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児
	279	字	寺	持	持	時					
	280		滋	治	治	時	璽	痔	磁	示	而
	281	耳	次	滋	時	夕	鹿	式	識	鳴	竺
	282	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	283	濕	漆	疾	質	實	部	篠	偲	柴	芝
	284	屢	蕊	編	舍	謝	射	捨	赦	斜	煮
	285	社	紗	綺	寫	車	射	捨	赦	斜	煮
	286	尺	杓	灼	爵	酌	積	蛇	若	寂	弱
	287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	殊	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	呪	壽	授	
289	綬	需	囚	収	周						

1~3 桁目	4桁目										
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
す	290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	291	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	292	輞	週	茜	酬	集	醜	什	住	充	十
	293	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔
	294	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術
	295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	298	署	書	署	除	傷	償				
	299	恕	鋤	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	嬰
	300		娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠
	301	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠
	302	彰	承	抄	招	小	捷	昇	昌	昭	晶
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦
	304	照	症	省	硝	礁	祥	裳	章	詠	粧
	305	紹	肖	曹	醬	鉦	衝	鍾	障	鞘	詔
	306	詳	象	賞	響	鉦	鐘	鐘	障	鞘	詔
	307	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
	308	情	擾	条	杖	淨	狀	壘	穰	蒸	讓
	309	釀	錠	囑	壇	飾					
	310		拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食
	311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審
	312	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申
	313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	王
	315	尋	甚	盡	腎	訊	迅	陣	鞞		
	せ	315									誨
		316	須	詐	囑	厨	逗	吹	垂	帥	推
		317	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘
		318	瑞	髓	崇	嵩	數	樞	趨	錐	錘
319		梟	管	願	雀	裾					
320			澄	摺	寸						
320						世	瀨	畝	是	凄	制
321		勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	樓
322		栖	正	清	性	生	盛	精	聖	聲	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	石	拙	
326	接	撰	折	設	窃	跡	蹟	雪	舌	絶	
327	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	
328	扇	撰	栓	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎	
329	煽	旋	穿	箭	線						
330		織	羨	菜	綫	船	薦	詮	踐	然	
331	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸		
332	全	禪	繕	膳	糗						
そ	332					噌	塑	岨	措	曾	
	333	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	粗	素	
	334	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	叢	
	335	倉	喪	壯	奏	爽	宋	僧	匠	叢	
	336	搜	掃	挿	搦	早	曹	曹	巢	槍	
	337	漕	燥	争	瘦	相	窓	曹	巢	槍	
	338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騷	像	增	憎					
	340		臧	臧	贈	造	促	側	則	即	息
	341	捉	束	測	足	速	俗	屬	賊	族	統
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	343	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	情	打
	344	柁	舵	帶	陀	駄	驛	體	堆	對	耐
	345	岱	帶	待	怠	退	戴	隊	泰	滯	胎
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	麗	題	鷹	瀧	隴	卓	啄	
348	宅	托	扨	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	
349	諾	苜	夙	朔	只						
350		叩	但	達	辰	奪	誰	巽	豎	辿	
351	棚	谷	狸	鷄	辰	誰	丹	單	嘆	坦	
352	担	探	旦	歎	淡	濕	炭	短	端	筆	
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛				斷	
354	暖	檀	段	男							

	4桁目										
	1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ち	354						値	知	地	弛	恥
	355	智	池	痴	稚	置	致	知	遲	馳	築
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	耐	尉	駐	樗	瀟		猪	芋	貯
	359	丁	兆	涓	喋	龍					
	360		帖	帳	疔	弔	張	彫	徵	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	脹	腸	蝶
	362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	涉
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363							津	墜	椎	
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	掴	俣	
	365	漬	柘	辻	罵	綴	鏝	椿	潰	壺	
	366	孀	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	366						亨	低	停	偵	
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	庭	廷	弟	
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	締	
	369	艇	訂	諦	蹄	遁					
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	
	371	的	笛	適	鎗	溺	哲	徹	撤	鞞	
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	
	373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と	373								兎	吐
		374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
375		賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	
376		怒	倒	党	凍	刀	唐	塔	塘	套	
377		宕	島	嶋	悼	灯	搭	桃	塘	棟	
378		盜	淘	湯	涛	灯	燈	當	痘	袴	
379		答	筒	糖	統	到					
380			董	蕩	藤	討	臘	豆	踏	逃	
381		鐘	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	
382		懂	撞	洞	腫	童	胴	苟	道	銅	
な	382	懂	撞	洞	腫	童	胴	苟	道	銅	
	383	鴉	囿	得	德	特	禿	禿	篤	毒	
	384	独	誦	析	橡	凸	突	椽	屈	篤	
	385	寅	酉	静	順	屯	悃	敦	沌	遁	
	386	頓	吞	墨							
	386					奈	那	内	乍	屈	
	387	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	暇	南	
	388	軟	難	汝							
	に	388				二	尼	弑	迹	匂	肉
		389	虹	廿	日	乳	入				
390			如	尿	菲	任	妊	忍	認		
ぬねの	390								濡	襦	
	391	衿	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	
	392	粘	乃	迺	之	莖	囊	惱	濃	能	
	393	腦	膿	農	覗	蚤					
は	393					巴	把	播	霸	杷	
	394	波	派	琶	破	婆	芭	芭	播	杷	
	395	排	排	排	杯	盃	牌	肺	輩	配	
	396	倍	培	煤	煤	煤	背	狼	貫	陪	
	397	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	拍	
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	漠	
	399	爆	縛	莫	駁	麥					
	400		函	箱	裕	箸	髻	髻	櫛	肌	
	401	畑	皇	八	鉢	澆	髻	髻	隼	判	
	402	拔	筏	閱	鳩	鳩	鳩	隼	隼	判	
ひ	402	拔	筏	閱	鳩	鳩	隼	隼	判		
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	版	
	404	犯	班	畔	繁	般	販	範	采	煩	
	405	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	蕃		
	405									匪	
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	
	408	誹	費	避	非	飛	樋	備	備	尾	
	409	枇	毘	毘	眉	美					
	410		鼻	必	畢	匹	疋	髻	彦	膝	
ひ	410		鼻	必	畢	匹	疋	髻	彦	膝	
	411	肘	弼	纒	畢	標	水	瓢	票	表	
	412	百	謬	悞	彪	標	水	瓢	票	表	
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	鈎	蒜	
	414	蛭	鱒	品	彬	斌	濱				

	4桁目										
	1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ふ	415	敏	瓶								
	415			不	付	埠	夫	婦	富	富	布
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落
	419	伏	副	復	幅	服					
	420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	附	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	422							丙	併	兵	堀
へ	422						丙	併	兵	堀	
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	
	426	鞭								弁	
ほ	426		保	舗	鋪	圃	捕	步	甫	補	
	427	穂	募	墓	慕	募	暮	母	簿	輔	
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	傲	
	429	抱	捧	放	方	朋				庖	
	430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	
	431	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	貌	
	433	望	某	拐	冒	紡	紡	忘	謀	買	
	434	鉾	防	吠	類	紡	僕	卜	墨	撲	
	435	牧	睦	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	
ま	435	本	翻	凡	盆					奔	
	436						摩	磨	麻	妹	
	437	昧	枚	每	哩	摩	磨	膜	枕	誣	
	438	罇	榭	亦	俣	又	末	末	沫	迄	
	439	繭	廬	万	慢	滿					
みむ	440										
	440										
	441	蜜	湊	蓑	糗	未	魅	巳	箕	岬	
	442	夢	無	牟	矛	脈	妙	耗	民	眠	
め	442									娘	
	442									冥	
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	
	444	免	棉	綿	緬	面	麵			滅	
も	444									妄	
	444									妄	
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	摸	模	茂	
	446	目	空	勿	餅	尤	戾	蒙	儲	木	
	447	紋	門	匆						悶	
や	447										
	447										
	447										
	447										
ゆ	447										
	448	矢	厄	役	約	冶	夜	爺	耶	野	
	449	鏝								柳	
	449		愉	愈	油	癒				數	
よ	449		愉	愈	油	癒				數	
	450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猷	幽	
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ら	452									予	
	452									予	
	453	余	与	譽	輿	預	傭	幼	妖	庸	
	454	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	用	
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	誦	踊	陽	
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翼	淀		
り	456									羅	
	456									羅	
	457	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
る	458									利	
	458									利	
	459	履	李	梨	理	璃				立	
	460		裏	裡	里	離	陸	律	率	粒	
	461	葎	掠	略	劉	溜	流	留	硫	瞭	
	462	隆	龍	寮	侶	慮	旅	虜	了	稜	
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	獮	療	瞭	
	464	糧	良	諒	遠	量	陵	領	力	綠	
	465	厘	林	淋	隣	琳	臨	輪	隣	麟	
	466	瑠	壘	淚	累	類	令	伶	例	冷	
る	466	瑠	壘	淚	累	類	令	伶	例	冷	
	467	嶺	齡	玲	列	鈴	隸	裂	零	靈	
	468	齡	齡	歷	列	練	烈			戀	
	469	漣	煉	練	練	練				麟	
470		蓮	連	鍊	鍊						

	1～3		4桁目							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ろ	470				呂	魯	櫓	炉	賂	路
	471	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪
	472	牢	狼	箠	老	聾	聾	郎	六	麓
	473	肋	録	論						禄
わ	474			倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	475	粹	鷺	瓦	巨	鱈	託	蕨	腕	湾
	476	碗	腕							
第2水準漢字	480		弋	巧	丕	个	卍	丿	并	ノ
	481	乖	乘	亂	丁	豫	爭	舒	式	于
	482	巫	仗	一	六	仞	仞	仍	仄	仆
	483	仇	佻	佻	伉	伉	侏	侏	侏	侏
	484	侑	佻	佻	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	485	侑	佻	佻	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	486	侑	佻	佻	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	487	侑	佻	佻	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	488	侑	佻	佻	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	489	侑	佻	佻	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	490		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	491	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	492	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	493	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	494	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	495	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	496	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	497	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	498	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	499	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	500		勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	501	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	502	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	503	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	504	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	505	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	506	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	507	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	508	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	509	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	510	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	511	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	512	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	513	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	514	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	515	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	516	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	517	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	518	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	519	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	520	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	521	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	522	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	523	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	524	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	525	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	526	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	527	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	528	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	529	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
	530	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
531	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
532	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
533	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
534	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
535	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
536	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
537	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
538	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
539	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
540	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	
541	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	

	1～3		4桁目							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
542	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
543	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
544	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
545	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
546	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
547	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
548	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
549	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
550	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
551	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
552	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
553	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
554	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
555	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
556	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
557	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
558	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
559	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
560	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
561	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
562	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
563	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
564	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
565	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
566	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
567	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
568	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
569	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
570	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
571	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
572	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
573	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
574	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
575	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
576	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
577	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
578	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
579	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
580	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
581	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
582	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
583	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
584	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
585	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
586	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
587	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
588	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
589	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
590	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
591	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
592	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
593	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
594	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
595	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
596	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
597	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
598	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
599	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
600	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
601	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
602	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
603	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
604	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
605	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
606	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
607	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
608	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
609	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
610	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇

1~3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
611	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
612	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
613	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
614	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍
615	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍
616	毬	毬	毬	毬	毬	毬	毬	毬	毬	毬
617	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣
618	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾
619	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗
620										
621	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治
622	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚
623	涵	涵	涵	涵	涵	涵	涵	涵	涵	涵
624	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙
625	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙
626	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃
627	滉	滉	滉	滉	滉	滉	滉	滉	滉	滉
628	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
629	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
630										
631	潜	潜	潜	潜	潜	潜	潜	潜	潜	潜
632	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳
633	溏	溏	溏	溏	溏	溏	溏	溏	溏	溏
634	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏
635	激	激	激	激	激	激	激	激	激	激
636	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮
637	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照
638	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩
639	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨
640										
641	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲
642	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁
643	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
644	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗
645	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎
646	獼	獼	獼	獼	獼	獼	獼	獼	獼	獼
647	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅
648	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁
649	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧
650										
651	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷
652	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦
653	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎
654	豊	豊	豊	豊	豊	豊	豊	豊	豊	豊
655	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲
656	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲
657	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋
658	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
659										
660										
661	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖
662	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺
663	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
664	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽
665	瞠	瞠	瞠	瞠	瞠	瞠	瞠	瞠	瞠	瞠
666	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞
667	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌
668	砗	砗	砗	砗	砗	砗	砗	砗	砗	砗
669	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾
670										
671	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔
672	襖	襖	襖	襖	襖	襖	襖	襖	襖	襖
673	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇
674	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
675	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢
676	窳	窳	窳	窳	窳	窳	窳	窳	窳	窳
677	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
678	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
679	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭

1~3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
680		筐	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
681	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
682	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
683	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
684	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
685	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
686	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
687	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
688	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
689	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
690	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
691	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
692	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經
693	繼	繼	繼	繼	繼	繼	繼	繼	繼	繼
694	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘
695	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘
696	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘
697	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘
698	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘
699	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘	緘
700										
701	苦	苦	苦	苦	苦	苦	苦	苦	苦	苦
702	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈
703	羹	羹	羹	羹	羹	羹	羹	羹	羹	羹
704	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦
705	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙
706	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚
707	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿
708	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
709	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛
710										
711	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦
712	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔
713	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂
714	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂
715	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍
716	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
717	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷
718	莖	莖	莖	莖	莖	莖	莖	莖	莖	莖
719	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞
720										
721	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯
722	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫
723	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊
724	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊
725	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊
726	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊	蓊
727	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿
728										
729										
730										
731	蕘	蕘	蕘	蕘	蕘	蕘	蕘	蕘	蕘	蕘
732	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉
733	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉
734	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉
735	納	納	納	納	納	納	納	納	納	納
736	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
737	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀
738										
739										
740										
741	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤
742	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻
743	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶
744										
745	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒
746	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒	袒
747	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝
748										

1～3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
749	樓	禪	禪	擋	襪					
750		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	軍
751	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈
752	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈
753	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
754	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
755	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
756	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
757	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
758	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
759										
760										
761	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
762	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
763	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍
764	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍
765	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
766	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
767	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
768	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
769	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
770										
771	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
772	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
773	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
774	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛
775	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛
776	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛
777	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛
778	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓
779	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓
780										
781	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞
782	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
783	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭
784	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏
785	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏
786	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
787	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
788	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
789	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
790										
791	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼
792	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
793	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
794	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
795	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
796	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼
797	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼
798	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
799	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
800										
801	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
802	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋
803	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
804	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
805	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸
806	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸
807	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸
808	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
809	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
810										
811	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛
812	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛
813	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛
814	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
815	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
816	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
817	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮

1～3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
818	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體
819	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
820										
821	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮
822	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮
823	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
824	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
825	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
826	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
827	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
828	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
829	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓
830										
831	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓
832	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓
833	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓
834	粟	粟	粟	粟	粟	粟	粟	粟	粟	粟
835	麴	麴	麴	麴	麴	麴	麴	麴	麴	麴
836	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
837	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
838	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
839	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
840										

索引

数字

2IN1/4IN1	20, 23
[802.1X設定]	153
802.1X認証	153

A

[APPLETALK]	118, 119
APPLETALK使用	119

C

[CHAP]	164
--------------	-----

D

DHCP (IPアドレス)	108, 111
DHCP (オプション)	106, 108, 111

E

[EAP-MD5]	156, 166
[EAP-MSCHAP v2]	155, 159, 161
[EAP-TLS]	157
[EAP-TTLS]	161
[EAPユーザー名称]	155, 156, 157, 160, 162, 163, 165, 166
[ETHERNET]	122
Eメール	
分割送信サイズ	137
本文送信	137
メッセージのプロパティ	137
[Eメール確認]	67
[Eメール設定]	137

H

[HTTP]	120
HTTPサーバー使用	121

I

ID番号検索	62
[IPsec]	126
[IPv4]	101
[IPv6]	105, 107, 110
IPv6プロトコル	105, 108, 111
[IPX/SPX]	113
IPX/SPX使用	113
[IPアドレス]	103, 106
IPフィルタリング	124

L

LDAP使用	124
LLMNR	105, 108, 111

M

MACアドレスフィルタリング	124
----------------------	-----

N

NDS使用	115
[NetBIOS名]	117
[NETWARE]	114
NIC設定ページ	149, 207

P

[PAP]	163
PCLフォントリスト	149, 224
[PEAP]	159
PS3フォントリスト	149, 223

S

[SMB]	116
SMBプロトコル	117

[SNMPリードコミュニティ]	124
SSL使用	121

W

[WINSセカンダリ]	117
[WINSプライマリ]	117

あ

[明るさ調整]	13
圧縮率	26, 29
宛先	
検索	47
削除	45
登録	37
編集	43
アドレス設定方法	101
手動	105
ステートフル	111
ステートレス	108
アドレス帳	61
[アドレス帳]	37, 43, 45, 47, 48, 51, 54, 60, 63, 65
アドレス帳登録	38
[アドレス帳登録]	41
アドレス登録帳リスト	204
[アドレス帳リスト]	32
暗号化レベル	
128-bit AES	142
128-bit RC4	142
40-bit RC4	142

い

[位置合わせ]	15, 95
異方向用紙の許可	133, 150
インサータ挿入裏表紙の反転	22
印刷原稿モード	30
インターネットファクス	
分割ページサイズ	139
本文送信	139
プロパティ	139
[インターネットファクス設定]	139
インターネットプロトコル	117

う

[ウィークリータイマー]	83
--------------------	----

お

オートカセットチェンジ	133, 150
オートカラー原稿モード	20
オートカラー時のモノクロページ画質	27
オートカラー時モノクロページ濃度調整	27
オートカラーの初期値	133
オートカラー判定レベル	20, 27
[オートクリア]	9
[オプション]	99

か

会社名	39
解像度	24, 27, 28, 29
カウンタメニュー	169
[カウンタリセット]	196
[カセット]	34
カセット引き出し時紙サイズ確認	88
画像回転	26, 29
紙詰り解除後の印刷	88
カラー原稿モード	19
カラーモード	18, 26
管理者設定	69

[管理者メッセージ]	75	システム設定リスト (ユーザ)	206
き		システム設定リスト	149
[機器情報]	74	下地調整	27, 28, 29
機器設定		自動印刷	145
明るさ調整	13	[自動オフ]	85
位置合わせ	15, 95	[自動階調補正]	14, 90
オートクリア	9	自動階調補正	
オプション	99	1200dpi印刷	93
管理者パスワード変更	77	600dpi印刷	93
機器情報	73	コピー	91
言語切替	10	プリンタ	93
自動階調補正	14, 90	[自動節電]	84
白黒画面反転	11	自動両面	132
ステータスメッセージ	89	縮小印刷	135
節電モード	81	[受信]	40
トナーカートリッジ交換	16	受信管理記録	145
日時	79	受信ログ一覧	40
パネルキャリブレーション	97	[状況確認]	40
表示レベル	87	[情報]	75
ポップアップメッセージ	88	[初期設定]	
メール通知	75	802.1X認証	154
強制暗号化	142	IPセキュリティ	126
切り捨て印刷	135	初期プレビュー表示設定	27
[記録モード]	135	[白黒画面反転]	12
く		す	
グループ		[スキャン]	40
ID番号検索	61	[スキャンカウンタ]	172, 179
グループ検索	63	[スキャン設定]	25
削除	60	スキャンログ一覧	40
宛先の追加 (ID番号検索)	57	ステイプル針無し時の印刷中断	133, 150
宛先の追加 (宛先検索)	58	[ステータスメッセージ]	89
宛先の追加 (手動)	56	[スリープ/スーパースリープ]	86
検索	61	せ	
登録	51	姓	39
編集	54	[セカンダリポート番号]	121
[グループ検索]	64	[セキュリティ設定]	141
グループ登録	52	[セッション消去]	126
グループ登録リスト	205	[設置場所]	75
グループ編集	54	設定保存	108
[グループリスト]	33	[節電モード]	82
け		[全部門一括制限]	197
ゲートウェイ	103	[全部門削除]	187
[ゲートウェイ]	106	[全部門のカウンタリセット]	186
権限		そ	
アクセシビリティ	142	[送信]	40
印刷	142	送信管理記録	145
内容の抽出	142	[送信者アドレス]	138, 140
文書の変更	142	[送信者名]	138, 140
原稿モード	22, 24, 27, 28, 29	送信ログ一覧	40
[言語切替]	11	ソートモード	132
こ		[その他]	124
[コピー設定]	18, 132	た	
さ		ダイレクト送信	146
[サービスコンテキスト]	115	タブ幅設定	22
[サービスツリー]	115	ち	
[サービス電話番号]	75	中継親局	147
最大コピー部数	132	中継子局	147, 148
サブネットマスク	103	中継孫局	147
し		つ	
[システム設定リスト]	33	[通信受付表]	147
システム設定リスト (管理者)	210	[通信記録出力]	144

[通信結果表]	145	[部門管理カウンタ]	176
て		部門管理カウンタ	176
[デバイス名]	119	[部門管理設定]	182
電話番号	39	部門管理設定	
電話番号2	39	管理者でログオン	182
と		全部門一括制限	197
同報送信	146	全部門削除	187
トータルカウンタ	170	全部門のカウンタリセット	186
[トータルカウンタ]	170	部門カウンタリセット	195
トータルカウンタ印刷	175	部門管理	185
[トータルカウンタ印刷]	175	部門コード削除	194
[トナーカートリッジ交換]	16	部門コード登録	188
トナー切れ事前通知	89	部門コードの印刷	184
		部門コード変更	191
		ブラック無制限	199
		[部門管理登録]	188, 191, 194, 195
な		部門管理リスト	203
名	39	[部門コードの印刷]	184
に		[プライマリポート番号]	121
[日時]	79	ブラック原稿モード	19
ね		[ブラック無制限]	199
[ネットワーク状態確認]	129	フリガナ	39
ネットワーク設定		[プリンタ/ファイリングボックス]	150
AppleTalk	118	[プリントカウンタ]	171, 177
ETHERNET	122	フレームタイプ	113
HTTP	120	プレビュー設定	27
IPv6手動設定	104	[プレフィックス]	106
IPv6ステートフル	110	分割送信サイズ	138
IPv6ステートレス	107	分割ページサイズ	140
IPX/SPX	112	ほ	
IPセキュリティ	125	ポーリング	146
LDAP/SNMP/フィルタリング機能	123	[ポップアップ]	88
NetWare	114	ポリシー名	126
SMB	116	[本文]	138, 140
TCP/IP (IPv4)	100	本文送信	138, 140
ネットワーク状態確認	129	ま	
ユーザ証明書	127	マガジンソート	20, 23
の		[マスタパスワード]	142
濃度調整	21, 24, 27, 28, 29	め	
カラー	18	[メール通知]	76
ブラック	18	メモリ送信	146
は		ゆ	
バインダリサーバー使用	115	[ユーザ証明書]	127
白紙ページ除去判定レベル	20, 22, 27	ユーザ証明書のCommon Nameをユーザ名に使う	157
はじめに	1	ユーザ設定	7
[パスワード変更]	77	[ユーザパスワード]	142
[パネルキャリプレーション]	97	ユーザパスワードに認証コードを使用	142
ひ		[ユーザパスワード変更]	152, 200
備考	39	[優先サーバー]	115
[日付/時刻]	79	よ	
[日付表示形式]	80	用紙切れ通知	89
[表示レベル]	87	り	
ふ		[リスト印刷]	149
[ファイリングボックス]	30	[リスト印刷/レポート設定]	143, 149
[ファイル設定]	136	[リスト印刷]	31
[ファクス設定]	24, 134	リモート	148
[ファクス通信]	181	両面	26, 29
フォールバックモード	154	両面時の画像の向き	18, 21
付加機能	39	リンクローカルアドレス	105, 108, 111
部署名	39		
ブック両面	20, 23		
[部門管理]	185		

れ	
[レポート出力設定]	144
ろ	
□ーカル	148
□グオン	117

FC-5520C/6520C/6530C
FC-2330C/2830C/3520C/4520C
DP-2520/3570/4570
DP-6550/7550/8550
OMJ080016C0

東芝デジタル複合機
設定管理ガイド

<開発・製造元>

東芝テック株式会社

<販売元>

東芝テックビジネスソリューション株式会社

